WS016SH　取扱説明書　基本編

Ultra Mobile
WILLCOM **D4**

電話でのお問い合せの前に、ステップ

マニュアルで調べよう!

使い方がわからないときやトラブルの対策方法を知りたいときは、まずマニュアルを見てみましょう。

●取扱説明書　基本編（本書）　●取扱説明書　活用編（PDF）

『**はじめにお読みください**』（別冊）
25ページ

ホームページで調べよう!

インターネットに接続している場合、シャープやウィルコムのD4サポートページに情報が載っていないか見てみましょう。

● シャープD4ホームページ
http://www.sharp.co.jp/d4/

● シャープD4サポートページ
http://d4support.sharp.co.jp/

● ウィルコムホームページ
http://www.willcom-inc.com/

1、2をお試しください。

電話で問い合わせよう!

マニュアルやホームページで解決できなかったときは、
電話で問い合わせてみましょう。

● 操作方法などがわからないときは

シャープ「お客様相談センター」へ

0120-606-512

携帯電話・PHSからもかけられます。

受付時間:**月曜〜土曜　9:00〜18:00**
(日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く)

付属ソフトのお問い合わせ

『**取扱説明書　基本編**』(本書)　111ページ

● 株式会社ウィルコムのサービスに関するお問い合わせは

ウィルコムサービスセンターへ

●ご利用のお申し込み・お問い合わせ(無料)

ウィルコムの電話から ………………………………(局番なしの) 116

一般加入電話・携帯電話などから …0120-921-156

受付時間:**9:00〜19:00**(日・祝日を除く)

●データ通信に関するお問い合わせ(無料)

ウィルコムの電話から ………………………………(局番なしの) 157

一般加入電話・携帯電話などから …0120-921-157

受付時間:**9:00〜19:00**(日・祝日も受付)

修理に関するお問い合わせ

『**取扱説明書　基本編**』(本書)　170ページ

はじめに

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
付属の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

- 付属の説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  付属の説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- お客様または第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 停電・電力線上のノイズなどの外部要因、または天災・原因不明のネットワーク障害その他の不可抗力によりお客様または第三者が受けられた損害（データ損失、その他の直接・間接の損害）、またはそれらにより生じた故障もしくは不具合については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、この製品においてソフトウェアを使用された結果に関して、いかなる保証も致しかねますのであらかじめご了承ください。
  なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
- この製品は、使用誤りや静電気･電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障･修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
  重要な内容は、必ず microSD カード、書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどの記録媒体に記録し保管してください。
- この製品には、防水機能はありません。水をかけないでください。
  製品本体、バッテリーパック、AC アダプターなどは防水仕様ではありません。
  風呂場など湿気の多い場所や、雨などがかかるところでのご使用はおやめください。
  また、汗などの湿気により内部が腐食し故障となる場合もあります。
  調査の結果、これらの水漏れによる故障と判断した場合は、保証対象外となり修理ができないことがありますので、あらかじめご了承願います。
  なお、保証対象外となるため、修理ができる場合でも有料修理となります。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「**安全にお使いいただくために**」（☞9 ページ）を必ずお読みください。

ウィルコムの各種サービスについて

ウィルコムの各種サービスを利用するには、ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

詳しくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

- ●ご契約内容（加入、変更、引越等）
- ●オプションサービス
- ●この製品の紛失
- ●基本料金・通話料等
- ●サービスエリア
- ●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間： 9：00 ～ 19：00

（日・祝日を除く）

- この製品やウィルコムの電話から......................局番なしの 116（無料）
- 一般加入電話・携帯電話などから.....................0120-921-156（無料）

番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ

受付時間： 9：00 ～ 19：00

（日・祝日も受付）

- この製品やウィルコムの電話から......................局番なしの 157（無料）
- 一般加入電話・携帯電話などから......................0120-921-157（無料）

番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

もくじ

5 章　インターネット

6 章　ワンセグ

7 章　映像と音楽

8 章　設定

9 章　別売品について

10 章　付録

11 章　万一に備えて

12 章　故障かな？と思ったら

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 危険 人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。

 警告 人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

図表示の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

🛇 記号は、してはいけないことを表しています。

❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

■この製品の取り扱いについて

⚠ 警告

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、本体の電源を切り、バッテリーパックを外し、お買いあげの販売店または、シャープドキュメントシステム株式会社（☞ 170 ページ）にご連絡ください。

● 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まず電源プラグをコンセントから抜き、本体の電源を切り、バッテリーパックを外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

● AC アダプターや電源コード、バッテリーパックは、必ず指定のものをご使用ください。指定以外の AC アダプターや電源コード、バッテリーパックなどを使用すると、火災・事故の原因となります。

⚠ 警告

- 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。

- 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。
- 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。
  ただし、ワイヤレス LAN 装着のある航空機内において、この製品から当該ワイヤレス LAN システムに接続して使用する場合は、機内の指示に従ってください。

- 通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから十分離して携行および使用してください。

- 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、この製品を持ち込まないでください。
  - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

- 心臓の弱い方は、着信音の設定に注意してください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、このようなときは使用しないでください。

- 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

- microSD カードや W-SIM を取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。microSD カードや W-SIM を装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

- この製品の開口部（通風孔やカードスロット）などから内部に異物（金属片、液体、燃えやすいものなど）を入れないでください。火災・感電の原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

- 通風孔に付着したほこりやゴミをこまめに取り除いてください。通風孔にほこりをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

- 梱包で使用しているビニール袋は幼児の手の届く所に置かないでください。頭からかぶって鼻や口をふさぐと、窒息事故の原因となることがあります。

- ぬれた手で使用したり、まわりに水など液体の入った容器を置かないでください。中に水が入ると、火災・感電の原因となることがあります。

- 健康のために、次のことをお守りください。
  - ・連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分〜 15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
  - ・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。（操作場所の明るさの目安：500 ルクス）
  - ・明暗の差の大きい所では使用しないでください。
  - ・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
  - ・この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛み等が続く場合は、医師の診察を受けてください。
  - ・お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、この製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また、この製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

● 密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。通風孔をふさぐと、熱がこもり、火災の原因になることがあります。

● 硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

● 長時間にわたり製品底面をひざの上などに直接触れて使用しないでください。低温やけどをおこす恐れがあります。また、通風孔およびその周辺は放熱のため熱くなることがありますので、持ち運び時などにはご注意ください。

● ヘッドホンやヘッドセットを使用するときは、音量を上げ過ぎないでください。耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くと聴力に悪い影響を与える恐れがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で使ってください。

● ヘッドホンやヘッドセットをしたまま電源を入れたり切ったりしないでください。刺激音により聴力に悪い影響を与える恐れがあります。

■バッテリーパックの取り扱いについて

● 次のことをお守りください。
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。

・直射日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所（60℃以上）に放置しないでください。
・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏み付ける、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。
・外傷、変形の著しいバッテリーパックは使用しないでください。
・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。
・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。
・端子をショートさせないでください。
・金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

⚠ 警告

● 次のことをお守りください。
液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となります。
・電子レンジや高圧容器に入れないでください。
・海水や雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用をやめてください。
・バッテリーパックから液が漏れたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。
・液漏れ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。
・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

● バッテリーパックから漏れた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因となることがあります。

⚠ 注意

● 充電は必ず５～35℃の範囲で行ってください。液漏れ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。充電方法については、このバッテリーパックを取り付けて使用する製品の取扱説明書をご覧ください。
● 次のことをお守りください。感電やけが、事故の原因となることがあります。
・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
・乳幼児の手の届かない所に保管してください。

● バッテリーパックから漏れた液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● バッテリーパックを本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と感じたときは、バッテリーパックを本体に装着しないでお買いあげの販売店、またはシャープドキュメントシステム株式会社（☞ 170 ページ）にご持参ください。

■ AC アダプターの取り扱いについて

⚠ 警告

● この製品に接続する AC アダプターは、必ず付属の EA-UM1V を使用してください。他の AC アダプターは使用しないでください。
● 電源は AC100V のコンセントを使用してください。それ以外の電源で使用しないでください。付属の電源コードは AC100V 用（日本仕様）です。
● 付属の電源コードはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。
● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。

・AC アダプターおよび電源コードを水やその他の液体に浸けたり、ぬらしたりしないでください。

・AC アダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
・お客様による改造や分解・修理はしないでください。
・AC アダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたり、針金などの金属を差し込んだりしないでください。
・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 使用しないときには、安全のため、電源プラグをコンセントから外しておいてください。
● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、本体の電源を切り、バッテリーパックを外しお買いあげの販売店または「修理に関するお問い合わせ先」（☞170 ページ）までご連絡ください。

● 雷が鳴り始めたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 次のことをお守りください。火災や感電の原因となることがあります。
  - ・周囲温度5～35 ℃、湿度20～85%(非結露)の範囲でご使用ください。
  - ・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
  - ・ほこりの多い場所に置かないでください。
  - ・落下させたり衝撃を与えないでください。
  - ・つけ根部分を無理に曲げないでください。
  - ・重いものを載せないでください。
  - ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
  - ・布などでくるまないでください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠ 警告

- 付属の CD-ROM は、一般オーディオ用の CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

■ microSD カードやスタイラスペンの取り扱いについて

⚠ 注意

- microSD カードやスタイラスペンは、小さなお子様が誤って飲み込むことがないように、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

使用上のご注意とお手入れのしかた

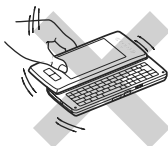
落としたり、踏んだりしないでください。
満員電車の中などでは、思わぬ強い衝撃や力が加わることがあります。
強い衝撃や圧力は、故障や破損の原因となります。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。
高温により、変形や故障の原因となります。

持ち運ぶときや使用しないときは、必ずビュースタイル（☞31 ページ）にして、付属のソフトケースに入れてください。
ソフトケースに入れずに持ち運ぶと、画面が割れたり傷ついたりします。

本体の上に書類などを載せないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
また、液晶画面の上に直接、本や書類などを置いたままにして長時間圧力がかかった状態にしないでください。表示がにじんだり破損の原因になります。

防水構造になっていませんので、水など液体がかかるところでの使用や保存は避けてください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

ほこりの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。
故障の原因となります。

表示部を開いた状態で表示部だけを持って移動したり、振り回したりしないでください。また、止まる位置まで起こした後は、表示部を無理に起こさないでください。
本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

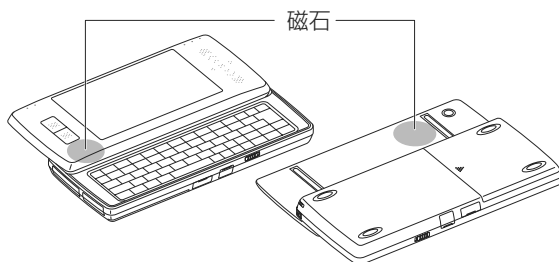
画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

スタイラスペンの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスペンのすべりが悪くなることがあります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

長時間使用していると（特に内蔵ワイヤレスLAN使用時やワンセグ受信時など）、この製品は温かくなりますが、故障ではありません。

この製品には磁石が埋め込まれています（右図の●部分）。磁気に弱いカード類（テレフォンカードや定期券など）を磁石の周囲に近づけないようにしてください。
カード類などに記録されているデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

● **内蔵カメラについて**

- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- レンズに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

● **USB コネクター／カードスロットについて**

- USB コネクターや microSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。
- USB コネクターや microSD カードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

● **液晶表示について**

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
- 画面タップの操作は、付属のスタイラスペンを使ってください。鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものは、使わないでください。

● **公衆の場で使用するときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。**

● **ハンドストラップについて**

ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されているハンドストラップ（市販品）を取り付けることができます。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなど、ストラップ取り付け穴に強い力を加えないでください。故障や破損の原因になります。

● この製品が持つ PHS 通信機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

● **OS のサポートに関するご注意**

- この製品では、プリインストールされている OS（日本語版）のみをサポートしています。
  Supported Operating System
  This model only supports the pre-installed Japanese language operating system; other operating systems are not supported.

● 著作権等に関するお願い

音楽用 CD 等各種 CD、TV 映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。

著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

Bluetooth およびワイヤレス LAN に関するご注意

・**電波法に基づく適合証明について**

この製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。

下記のことは行わないでください。法律で罰せられることがあります。

- この製品に内蔵の Bluetooth モジュールおよびワイヤレス LAN モジュールを分解、改造する。
- この製品のバッテリーパックを外した位置にあるラベルをはがす。
- Bluetooth およびワイヤレス LAN 搭載機器が使用する周波数帯は、本体に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①「2.4」　　　：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz 帯）。
②「FH/DS/OF」：変調方式を表します（FH-SS 方式 /DS-SS 方式 /OFDM 方式）。
③「1」　　　　：想定される与干渉距離を表します（約 10m）。
④「4」　　　　：想定される与干渉距離を表します（約 40m）。
⑤「■ ■ ■」　：2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

・**電波干渉に関するご注意**

この製品の Bluetooth およびワイヤレス LAN の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはこの製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカー）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）では、Bluetooth およびワイヤレス LAN を無効にしてください。

・**使用上のご注意**

この製品は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

ご注意

- **この製品は、総務省の技術基準に適合しています。**
- **この製品に付されている表示は、その証明マークです。**
- **表示マークの付された製品を総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。改造すると法律により罰せられます。**

Bluetooth についてのお願い

- この製品は、Bluetooth を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この製品で Bluetooth を使う場合、他のワイヤレス LAN 機器と 10m 以上離してください。10m 以内に他のワイヤレス LAN 機器がある場合は、ワイヤレス LAN 機器の電源を切ってください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、この製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる

悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
- ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のワイヤレス LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

---

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Aero、ReadyBoost、Windows Media、Internet Explorer、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Atom は、Intel Corporation の商標です。
- ShadowProtect Restoreは、米国およびその他の国におけるStorageCraft Technology Corporationの商標です。
- MBRINST は、日本およびその他の国における株式会社ネットジャパンの商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- microSD ロゴは商標です。

- Bluetooth is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.
- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners. Bluetooth QD ID B013880/B010568

Bluetooth®

- Bluetooth は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- StationMobile は、株式会社ピクセラの商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ株式会社）の商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様へのお願い

本製品をご使用いただく前に、下記の契約書をよくお読みください。

お客様が購入された「本製品」にプリインストール または 添付されていますシャープオリジナルソフトウェア(以下「本ソフトウェア」と記載します)をご使用いただく前に下記の契約書をよくお読みください。 本契約書にご同意いただけない場合には、本製品を未使用 ・本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを未開封のまま本製品をお求めになった販売店にご返却ください。
お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。本契約書にご同意いただいた方のみ、本ソフトウェアをご使用いただくことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

シャープ株式会社（以下「弊社」と記載します）は、お客様（法人または個人のいずれであるかを問いません）に、本製品にプリインストールまたは添付されている「本ソフトウェア」を使用する権利を下記条項に基づき許諾します。お客様が本製品を使用された場合、または本ソフトウェアのパッケージを開封された場合には、下記契約書のすべてにご同意いただいたものといたします。

1. 著作権

(1) お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを日本国内で使用する、非独占的な権利を本契約に基づき取得します。
(2) お客様は、本ソフトウェアを、本製品のみでご使用いただけます。
(3) お客様は、本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的においてのみ本ソフトウェアの全部または一部を一部数に限り複製することができます。ただし、本ソフトウェアの複製物を記録した媒体（フロッピーディスク、CD-ROM 等）が本製品に添付されている場合には、お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。この場合、お客様は本ソフトウェアのバックアップまたは保存の目的で、本製品に添付された当該複製物を取り扱うものとします。

2. 権利の許諾

(1) 本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属 又は 第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。したがってお客様は、本ソフトウェアを他の著作物と同様に扱わなければなりません。
(2) 本ソフトウェアとともにお客様に提供されるマニュアルおよび取扱説明書等の関連資料（以下「関連資料」と記載します）の著作権は、弊社に帰属し、これら関連資料は日本の著作権法その他関連して適用される法律等によって保護されています。お客様はこれら関連資料を複製することはできません。

3. 制限事項

(1) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
(2) お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアの使用、全部または一部を複製、改変等をすることはできません。
(3) お客様は、本ソフトウェアおよび関連資料に付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去することはできません。上記（2）に基づき本ソフトウェアを複製する場合には、本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示も同時に複製するものとします。
(4) お客様は、本ソフトウェアを第三者に使用許諾、貸与またはリースすることはできません。

4. 本ソフトウェアの譲渡

お客様は、下記のすべての条件を満たした場合に限り、本ソフトウェアの本契約に基づく使用権を第三者に譲渡することができます。

i) お客様が本契約書、本ソフトウェアを含む本製品、本ソフトウェアのすべての複製物およびその記録媒体、ならびに関連資料を含む本製品のすべてを譲渡し、これらを一切保持しないこと。
ii) 譲受人が本契約に同意していること。

5. 限定保証

(1) 弊社は、本ソフトウェアに関していかなる保証も行いません。したがって、本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。
(2) 上記（1）にかかわらず、お客様が必要事項を記入した 別添のユーザー登録／愛用者カードまたはオンラインユーザー登録を弊社まで返送された場合において、最初にご購入されたお客様が本製品をご購入された後1年以内に、弊社が本ソフトウェアの誤り（バグ）を修正した場合には、弊社はお客様に対して、修正されたソフトウェア、修正のためのソフトウェア（以下、これらのソフトウェアを「修正ソフトウェア」と記載します）、またはこのような修正に関する情報を提供いたします。ただし、修正ソフトウェアまたはこのような修正に関する情報の提供の必要性、提供時期、提供方法等に関しては、すべて弊社の裁量により決定させていただきます。お客様に提供された修正ソフトウェアは本ソフトウェアとみなします。
(3) 本ソフトウェアの記録媒体に物理的欠陥（ただし、プログラムおよび／またはデータの読み出しが不可能な場合に限ります）があり、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合、最初のお客様が本製品を購入された日から14日以内に本製品の保証書を添えてお求めになった販売店に当該記録媒体を返却された場合には、弊社は無償で当該記録媒体を同等の記録媒体と交換するものとします。

本項の規定をもって本ソフトウェアの記録媒体に関する弊社の保証のすべてといたします。

6. 責任の制限

(1) 弊社は、いかなる場合も、お客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、一切責任を負いません。
(2) いかなる場合においても、本契約に基づく弊社の責任はお客様が実際にお支払いになった本製品の代金のうち本ソフトウェアの代金相当額をその上限とします。

7. 契約の期間

本契約は、お客様が本製品を使用されたとき、または 本ソフトウェアの記録媒体のパッケージを開封されたとき発効し、下記8. により本契約が終了するまで有効であるものとします。

8. 契約の終了

(1) お客様は、書面により事前に弊社まで通知することにより、いつでも本契約を終了させることができます。
(2) 弊社は、お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、お客様に対し何らの通知・催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。
(3) 上記（2）の場合、弊社は、お客様によって被った損害をお客様に請求することができます。
(4) お客様は、本契約が終了したときは、直ちに本ソフトウェアおよびそのすべての複製物ならびに関連資料を破棄するものとします。

9. その他

(1) お客様は、いかなる方法および目的によっても、本ソフトウェアおよびその複製物を日本国外に輸出してはなりません。
(2) 本契約に関連または起因する紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

シャープ株式会社

〒639-1186

奈良県大和郡山市美濃庄町 492 番地

情報通信事業本部

この説明書の読み方

■ 使用している記号について

ご注意 !	この製品や周辺機器の故障の原因になる注意事項を記載しています。
ご参考	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この説明書の参照ページや、参照する他の説明書を示します。

■ 表記ルールについて

『はじめにお読みください』（別冊）	別冊の説明書を示します。（左は「はじめにお読みください」の例です。）
『活用編』（PDF）	画面で見る説明書を示します。（表示方法は『**はじめにお読みください**』（別冊）の 25 ページを参照してください。）
【 ⏎ 】	ボタンやキーボードのキーを押す操作では、ボタンやキーを【 】で囲んでいます。また、あるキーを押しながら他のキーを押すときは、「+」でつないで表記しています。 例）【Fn】＋【J】（▲☼）
［ ］	画面に表示されるボタンなどは、［ ］で囲んで表記しています。 例）［OK］をクリックします。
「 」	メニュー項目や、画面やアイコンの名称などは、「 」で囲んで表記しています。 例）「コントロールパネル」をクリックします。

■ 画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。また、操作状況やこの製品の状態によって表示が異なる項目などは「XXXXX」で表しています。

画面の背景

本書に記載している画面の背景には、Windows の壁紙を使用しています。
画面の背景は変更することができます。変更方法については「**壁紙を設定する**」(☞100 ページ) を参照してください。

■ この説明書では、タッチパッドを使用した説明をしています

クリックなどの操作は、スタイラスペン（付属）を使用することも可能です。

■ お問い合わせ先などについて

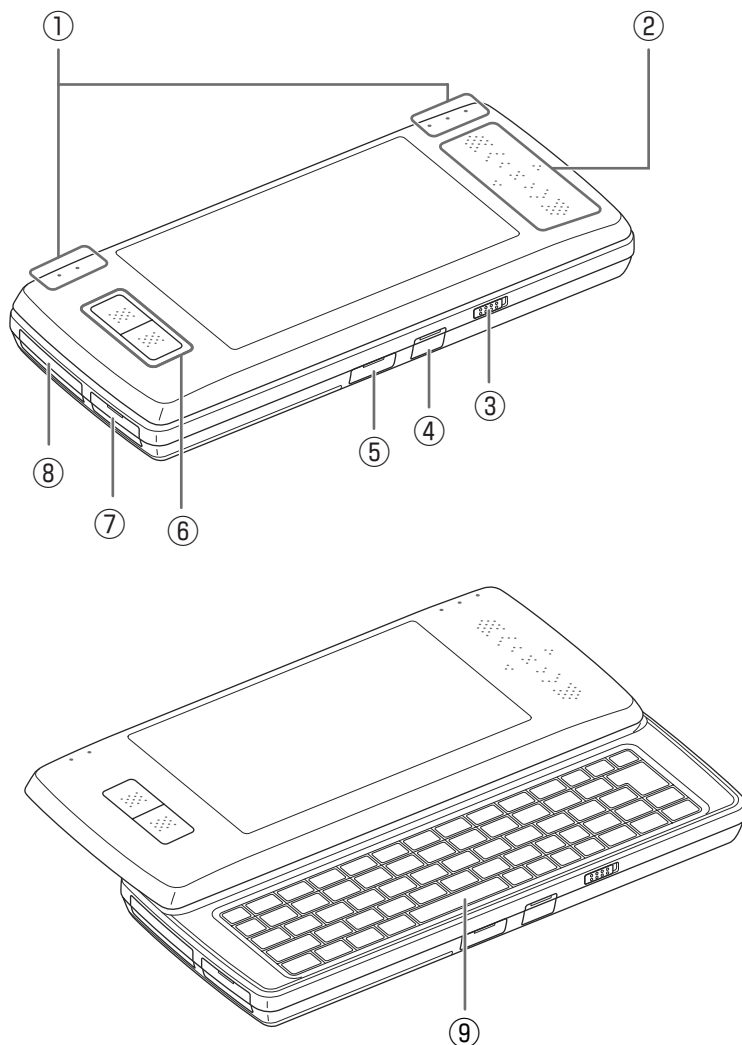
この説明書に記載しているお問い合わせ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2008 年 6 月現在のものです。

1章　基本操作

基本的な使いかた

各部のなまえとはたらき

正面・下面・左側面

① **状態表示ランプ（電源、バッテリー、ワイヤレスLAN、W-SIM、ハードディスク）**

（電源）

黄緑点灯	電源オン
黄緑点滅	スリープ
消灯	休止状態または電源オフ

（バッテリー状態）

黄緑点灯	ACアダプター接続あり	満充電
オレンジ点灯		充電中
オレンジ点滅		充電が正常に終了しなかった（☞ 33ページ）
赤点滅	ACアダプター接続なし（電源オン状態）	バッテリー残量が非常に少ない（同時に警告音が鳴る）
消灯		バッテリー残量がある
消灯	AC アダプター接続なし（電源オフ状態）	

（ワイヤレス LAN 状態）

黄緑点灯	ワイヤレス LAN の無線出力 ON
消灯	ワイヤレス LAN の無線出力 OFF

（W-SIM（PHS）の電波状態）

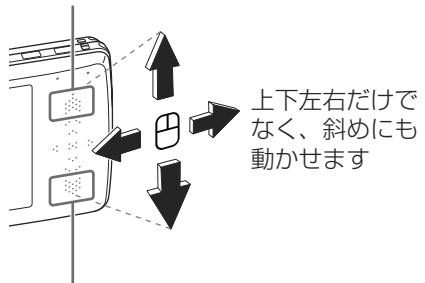
緑点灯	（強）
オレンジ点灯	（中）
赤点灯	（弱）
消灯	圏外
青点滅	メール受信中または電話着信中
青点灯	不在着信、未読ライトメール、未読メールあり

（ハードディスク）

黄緑点滅	アクセスしている
黄緑点灯	
消灯	アクセスしていない

② **タッチパッド**

イルミネーション部分が操作エリアになっているタッチパッドです。指先の動きに連動してマウスポインターが動きます。

2 回タッチする：
上方向にスクロール
2 回目をタッチしたまま：
指を離すまでオートスクロール

2 回タッチする：
下方向にスクロール
2 回目をタッチしたまま：
指を離すまでオートスクロール

③ **キーロックスイッチ（ ）**

スイッチを右側にすると、誤動作防止のキーロックがかかります。キーロックがかかっていると、ボタンやキーが押されたり、画面がタッチされても動作しません。

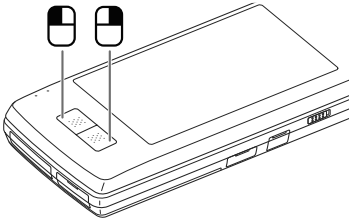
④ **USB 端子（ ）**

USB 接続時に、カバーを開いて使用します。この端子はミニプラグ（AB タイプ：クライアント機能なし）です。
標準プラグの USB 機器を接続するには、USB ミニ AB コネクターを USB A コネクターに変換するケーブル（市販品）が必要です。

ご注意

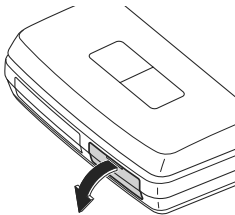
- 外付けハードディスクドライブなどの消費電力の大きい機器を接続するときは、AC アダプターを接続してください。
消費電力が大きくなると、この製品の電源が強制的に切れることがあります。

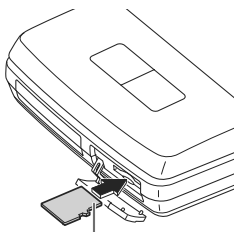
⑤ **拡張端子**
クレードル（別売：CE-CR04）やRGB/USB ケーブル（別売：CE-UD01）接続時に、カバーを取り外して使用します。

⑥ **左クリックボタン（ ）／右クリックボタン（ ）**
マウスのクリックボタンと同じ働きをします。

⑦ **microSD カードスロット（ ）**
カードの取り付け／取り出し時に、カバーを開いて使用します。

microSD カードについて

- microSD カードは、データをやり取りする相手機器でフォーマットしたものをご使用ください。（「**仕様一覧**」☞138 ページ）

カードを取り付ける

❶ カードスロットのカバーを開く。

❷ カードの表面を上にして「カチッ」と音がするまで差し込む。

❸ カバーを閉じる。

カードを取り出す

❶「**microSD カードや周辺機器の取り外し**」（☞43 ページ）の操作をする。

❷ カードスロットのカバーを開き、カードの端を「カチッ」と音がするまで押し込む。

❸ カードの両端を持ってゆっくりと引き出す。

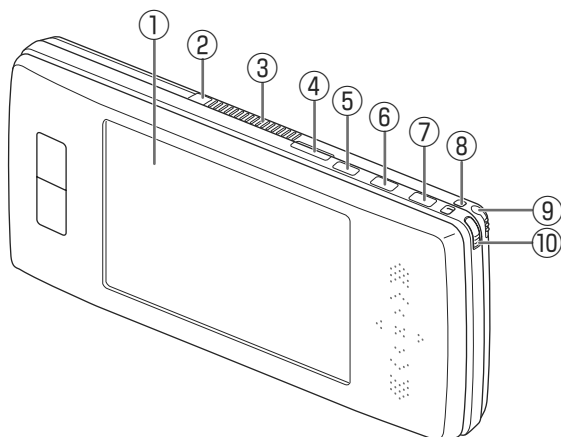
❹ カバーを閉じる。

ご注意

- カードの取り付け／取り出しは、必ず手順どおりに操作してください。間違った向きで差し込んだり、「microSD カードや周辺機器の取り外し」の操作をせずに取り外した場合、故障の原因になったり、カードやデータが破損することがあります。

⑧ **W-SIM スロット**
W-SIM 装着時に、カバーを開いて使用します。
（「**W-SIM の取り付け／取り外し**」☞110 ページ）

⑨ **キーボード**

正面・上面

① **ディスプレイ**
（「**3Way スタイルでの使い方**」☞31 ページ）

② **AC アダプタージャック（ ⎓ ）**
AC アダプター接続時に、カバーを開いて使用します。

③ **通風孔**（☞11 ページ）

④ **イヤホンマイクジャック（ 🎧 ）**
ヘッドセット接続時に、カバーを開いて使用します。

⑤ **電源ボタン（ ⏻ ）**

⑥ **画面回転ボタン（ ）**
横表示を縦表示に、または縦表示を横表示に切り替えます。
画面を回転させると、タッチパッドの操作方向（縦横）も自動的に切り替わります。

⑦ **シャッターボタン（ 📷 ）**
「カメラ」ソフトが起動します。
起動中は、カメラのシャッターが切れます。

⑧ **ハンドストラップ取り付け穴**
ハンドストラップ（市販品）を取り付けます。
ストラップは、強度的に不安のないものをお選びください。

⑨ **スタイラスペン**
（「**スタイラスペンの使い方**」☞30 ページ）

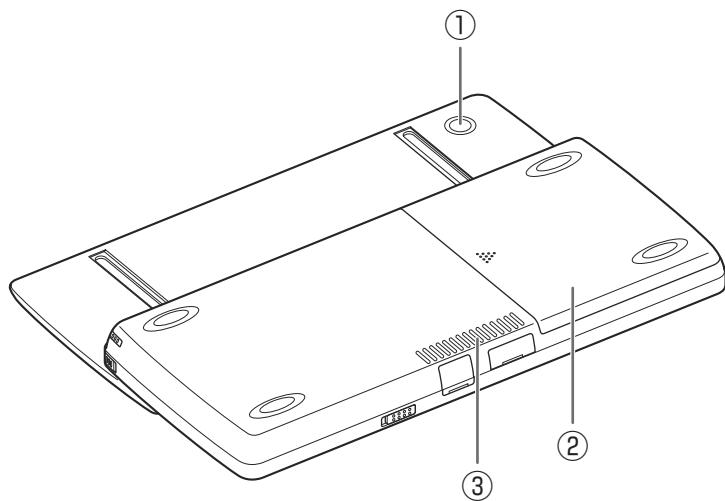
⑩ **ワンセグ用アンテナ**
ワンセグ放送受信時に伸ばして使用します。（☞88 ページ）

ご参考

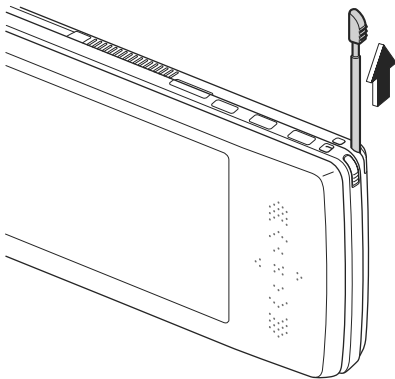
- アプリケーションソフトによっては、画面下部が表示されない（見えない）場合があります。
その場合は、画面回転ボタン（ ）を押すと表示されます。

ボタンは長押ししないでください

- 電源ボタン、画面回転ボタン、シャッターボタンなどは、長押ししないでください。
特に電源ボタンを長押しすると、強制終了機能が働き、電源が切れてしまいます。

背面

① 内蔵カメラ
② バッテリーパックカバー
③ 通風孔（☞11 ページ）

スタイラスペンの使い方

スタイラスペンの取り出し方

- スタイラスペンは伸縮します。
- なくさないように、使用しないときは本体に収納してください。

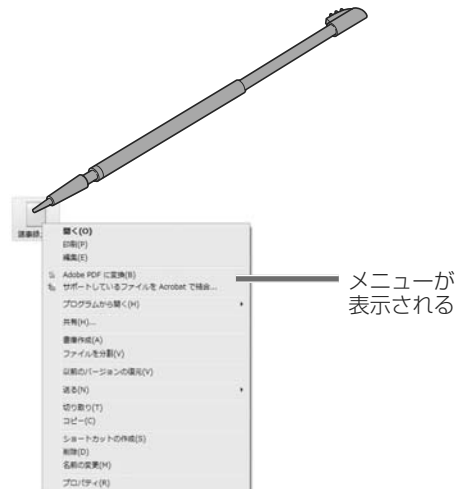
タップする

画面を軽くタッチしてすぐに離します。
この製品の左クリックボタンと同じ働きをします。

ダブルタップする

画面を軽く2回続けてタッチします。
この製品の左クリックボタンを2回押すのと同じ働きをします。

右クリックする

画面を２～３秒タッチしたままにすると、マウスカーソルのまわりに円が描かれます。その後、ペンを離すと右クリックボタンと同じ働きをします。

左クリックの長押し設定について

- スタイラスペンで左クリックの長押し設定にするには、（スタート）をクリックし、コントロールパネル－「ハードウェアとサウンド」－「ペンと入力デバイス」－「タッチ」タブの「プレスアンドホールド」を選択し、[設定] をクリックします。
  「プレスアンドホールドを右クリックとして認識する」のチェックを外し、[OK] を２回クリックし、 をクリックします。
  この設定を行った場合はスタイラスペンによる右クリック操作はできなくなります。
  右クリック操作を有効にするときは、上記手順の「プレスアンドホールドを右クリックとして認識する」にチェックを付け、[OK] をクリックします。

ドラッグする

画面をタッチしたままスタイラスペンを動かします。

タッチスクリーンの補正

スタイラスペンでタップした位置と画面のカーソル位置がずれているときは、補正する必要があります。

1 **（スタート）をタップし、「すべてのプログラム」－「タッチスクリーンの補正」の順にタップする。**
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

2 **［許可］をタップする。**
補正の画面が表示されます。

3 **画面の赤色丸印の中心を少し長くタップする。**
赤色丸印が移動するので、以降同じ操作を繰り返します。(9 回)
画面下部の青いバーが右端に達する前に、9 点のタップを終了してください。

タップが終わると元の画面に戻ります。

3Way スタイルでの使い方

気軽に画面を閲覧できる「ビュースタイル」、文字入力に適した「インプットスタイル」、落ち着いた場所での利用に適した「デスクスタイル」と、3 種類の使い方ができます。

ビュースタイル

インプットスタイル

1 **●部分を軽く押してディスプレイをスライドさせて開く。**

デスクスタイル

1 ●部分を軽く押してディスプレイをスライドさせて開く。

2 ●部分を持ってディスプレイを起こす。

ご注意

- ディスプレイを起こしたり、倒したりするときは、■部分に指やケーブルなどを挟まないようにご注意ください。
- ディスプレイを止まる位置まで起こした後は、それ以上に無理に起こさないでください。破損の原因になります。
- 持ち運ぶときは、必ずビュースタイルに戻して付属のソフトケースに入れてください。インプットスタイルやデスクスタイルで持ち運ぶと、破損の原因になります。

充電する

付属の AC アダプター（EA-UM1V） を使って充電します。他の AC アダプターは使用しないでください。

1 AC アダプタージャックカバーを開いて、AC アダプターを接続する。

ランプがオレンジ色に点灯して充電が始まります。

満充電になると、ランプが黄緑色になり、充電が完了します。
電源を切った状態で、満充電になるまでに、常温 5 ～ 35℃で約 3 時間かかります。
充電しながら使用すると、充電時間は長くなります。

2 充電が終わったら AC アダプターを AC アダプタージャックから抜き、電源コードを電源コンセントから取り外す。

3 AC アダプタージャックのカバーを閉じる。

ランプについて

■ 充電中、一時的に ランプが消えることがあります

充電しながら使用すると、電力消費が大きくなった場合に ランプ（オレンジ色）が消えることがありますが、故障ではありません。また、充電中にバッテリーパックの温度が上がり過ぎた場合にも、安全のため充電が一時中止されて ランプ（オレンジ色）が消えますが、バッテリーパックの温度が下がれば充電は再開されます。

■ ランプがオレンジ色に点滅しているときは

バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。電源を切り、いったんACアダプターとバッテリーパックを取り外し、バッテリーパックを装着し直してから、再度ACアダプターを接続してみてください。それでもランプがオレンジ点滅する場合は、バッテリーパックの寿命、劣化、故障、またはこの製品の故障が考えられます。点検を依頼してください。

ご注意

- ACアダプターを市販の電子変圧器などに接続しないでください。ACアダプターが故障することがあります。

ご参考

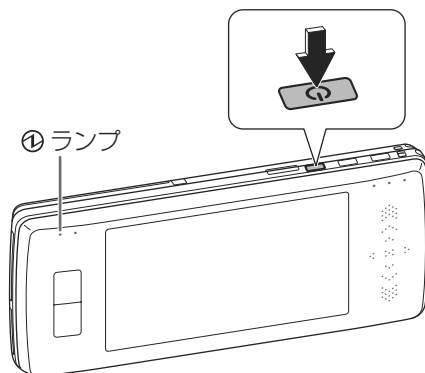
- 充電は、周囲の温度が5～35℃の場所で行ってください。温度が変わると、充電時間が長くなったり故障の原因となります。
- 長い間使用しなかったバッテリーパックの充電には、通常よりも多くの時間がかかります。
- 充電中に本体やACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる／切る

初めて電源を入れるときは『**はじめにお読みください**』（別冊）を参照してください。

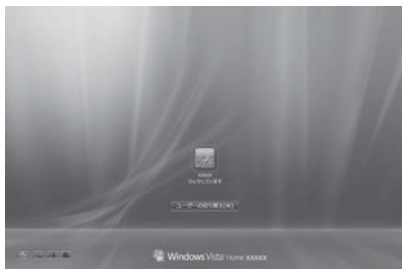
電源を入れる

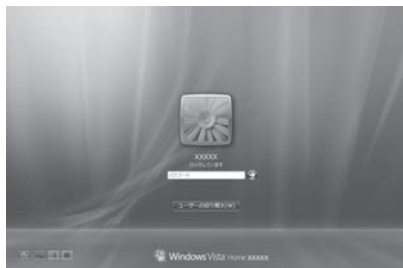
1 電源ボタンを押して電源を入れる。

⏻ ランプが点灯し、Windowsが起動します。

デスクトップが表示されて操作可能になるまで、しばらくお待ちください。

ご注意

- 電源を入れてからWindowsが起動するまでは、必要なとき以外はキーボードやタッチパッドに触らないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

2 次の画面が表示されたときは、【⏎】キーを押す。

パスワードを設定しているときは

- パスワードを入力し、【⏎】キーを押します。

電源を切る

「スリープ」または「シャットダウン」で電源を切ります。(「**スリープとシャットダウンの違いについて**」☞36 ページ)

通常は、短時間でこの製品が操作可能な状態になるスリープで電源を切ることをお勧めします。

ご注意！

- 誤動作やデータの損失を防ぐため、スリープに移行する前に、データの読み書き／通信／印刷などの作業はすべて終了してください。特にデータの書き込みをしているときは、スリープにしないでください。スリープの操作をすると、データの書き込み中であっても、何もメッセージが表示されずスリープに移行してしまうため、書き込みに失敗します。
- スリープや休止状態への移行中および復帰中は、この製品や周辺機器に触れたり、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。誤動作の原因になります。

ワンセグの録画予約を設定したときは

- スリープで電源を切ってください。シャットダウンで電源を切ると、録画予約は実行されません。

■ 電源を切る（スリープ）

1 **電源ボタンを押す。**
画面の表示が消え、しばらくすると ⏻ ランプが点滅します。

ご参考

- スリープの状態では、ほとんどの電源供給は停止していますが、完全に電源が切れているわけではありません。しばらくこの製品を使用しないときや、バッテリーパック交換などの作業をするときは、シャットダウン（☞ 下記）で電源を切ってください。

次の方法でもスリープにできます

- （スタート）をクリックし、⏻ をクリックします。
- 【Fn】＋【；】（ ▮▮ ）キーを押します。

■ 電源を切る（シャットダウン）

1 **（スタート）をクリックする。**

2 **▶ をクリックし、「シャットダウン」をクリックする。**

ご注意

- シャットダウンした後、再度電源を入れるときは、必ず 10 秒以上の間隔を置いてください。連続して電源を切／入すると、故障の原因になります。

■ スリープとシャットダウンの違いについて

電源の切り方	特徴	⏻ ランプの状態	電源を入れるには
スリープ※	現在の状態を保存し、ほとんどの電源供給を停止します。次に電源を入れると、短時間でスリープに入る前と同じ状態に戻るので、すぐに作業を再開できます。	点滅	電源ボタンまたはキーボードの任意のキーを押す
シャットダウン	現在の状態を保存せずに、電源が完全に切れます。作業中のデータは、シャットダウンの前に保存する必要があります。 バッテリーパックの交換・再インストール・ハードディスクの全データ消去などを行う場合は、スリープでなく、シャットダウンで電源を切ります。	消灯	電源ボタンを押す

※ ご購入時の設定では、バッテリー残量が非常に少なくなったとき、またはスリープに移行後 18 時間経過したときは、自動的に現在の状態をハードディスクに保存し、完全に電源が切れます。（休止状態）
次に電源を入れると、休止状態に入る前の状態に戻るので、起動後すぐに作業を再開できます。

■ この製品の電源状態と電話／通信機能についての概要

	電源「入」	スリープ／休止状態	説明ページ
電話の着信	○	△※1	56 ページ
電話の発信	○	×	54 ページ
Windows メールの自動受信	○	○	75 ページ
ライトメールの受信	○	○※2	79 ページ
データ通信	○	×	84 ページ
リモートロック※3	○	○	64 ページ

※1 着信不可。ただし、着信履歴に残る。
※2「スリープ／休止状態」の場合、ライトメールの送信は不可。
※3 電源が「切」の場合、ブートセキュリティ機能によりロック可能。ただし、消去は不可。

この表は、W-SIM ユーザー（W-SIM のユーザーとして登録されたアカウント）でログオンしている場合の動作です。非 W-SIM ユーザーの場合は動作が異なります。詳しくは、各機能の説明ページを参照してください。

■ W-SIM ユーザーと Windows アカウントについて（非 W-SIM ユーザーの機能制限）

W-SIM のユーザー登録をしていないアカウント（非 W-SIM ユーザー）でこの製品を使用する場合、電話／通信機能は一部を除いて使えません。
Windows ではアカウントを追加してこの製品を何人かで使い分けられますが、非 W-SIM ユーザーの場合には注意が必要です。

W-SIM ユーザーとは

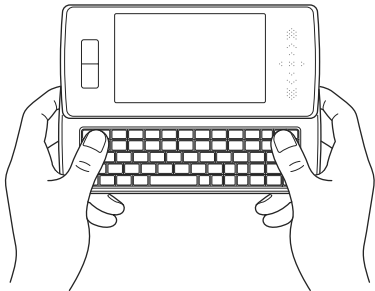
- 『**はじめにお読みください**』（別冊）の「**STEP3 セットアップ**」で、W-SIM のユーザーとして登録されたアカウントを指します。

非 W-SIM ユーザーとは

- W-SIM ユーザー以外のアカウントを指します。非 W-SIM ユーザーが Windows にログオンして使用中は、インターネットやメール、電話などでさまざまな制限があります。

キー操作について

キー操作をするときの持ち方について

下図のように、両手で下から支えるようにして持つことをお勧めします。

【Fn】キーを使って機能を実行する（ショートカット）

【Fn】キーを押したまま、別のキーを押すことで、表の機能が働きます。

キーの組み合わせ	機能
【Fn】＋【1】～【0】	F1 ～ F10
【Fn】＋【BkSp】	Delete
【Fn】＋【Tab】	Esc
【Fn】＋【Q】	F11
【Fn】＋【W】	F12
【Fn】＋【O】	^ を入力
【Fn】＋【Shift】＋【O】	～を入力
【Fn】＋【P】	¥ を入力
【Fn】＋【Shift】＋【P】	｜を入力
【Fn】＋【英数】（((Y))）	ワイヤレス LAN 出力を止める／開始する
【Fn】＋【A】（Y）	PHS 無線出力を止める／開始する
【Fn】＋【S】（Bluetooth）	Bluetooth の無線出力を止める／開始する
【Fn】＋【D】（▼🔊）	音量を小さく
【Fn】＋【F】（▲🔊）	音量を大きく
【Fn】＋【G】（🖵）	表示先の切り替え
【Fn】＋【H】（▼☼）	バックライトを暗く
【Fn】＋【J】（▲☼）	バックライトを明るく
【Fn】＋【K】（🔇）	マナーモードのオン／オフ
【Fn】＋【L】（🗔）	ディスプレイのオン／オフ
【Fn】＋【；】（❚❚）	スリープ（または休止状態）に移行
【Fn】＋【↑】	PgUp（上へスクロール）
【Fn】＋【←】	Home（一番上へスクロール）
【Fn】＋【↓】	PgDn（下へスクロール）
【Fn】＋【→】	End（一番下へスクロール）
【Fn】＋【Space】（📞）	受話／終話

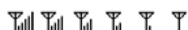
D4 Status Monitor について

D4 Status Monitor は、この製品の電波状況や電話の不在着信件数、メールの未読件数などが一目でわかる画面です。
D4 Status Monitor は、サイドバーのガジェットとして表示されるほか、主なメニューはタスクバーの通知領域にも表示されます。

ご参考

- D4 Status Monitor は、W-SIM ユーザー（W-SIM のユーザーとして登録されたアカウント）がログオンしている場合のみ表示されます。非 W-SIM ユーザーの場合は表示されません。

サイドバーのガジェットに表示されるアイコンについて

① **電波状況**
電波の強弱および圏外がアイコンで表示されます。
強 ⟷ 弱
圏外：エリア外または電波が届いていない
また、以下のアイコンが表示される場合もあります。
OFF：通信／電話機能［W-SIM（PHS)］が停止状態になっている
PIN：PIN ロックにより W-SIM がロックされている
PUK：PUK ロックにより W-SIM がロックされている
：W-SIM が装着されていない

② **通信状況**
通信状況がアイコンで表示されます。
：通話中
32PF、64BE、64GR、PT、FC：通信中（通信方式）
RL：リモートロックにより W-SIM がロックされている

③ **通話通信制限**
通話通信制限のオン／オフがアイコンの有無で表示されます。
アイコン表示中：オン
アイコン非表示：オフ

④ **不在着信件数**
不在着信の件数が表示されます。
不在着信が 0 件のときは「電話」と表示され、クリックすると、電話のダイヤル画面が表示されます。
不在着信が 1 件以上のときは、クリックすると、着信履歴が表示されます。着信中は電話アイコンが回転します。

⑤ **未読ライトメール件数**
未読ライトメールの件数が表示されます。
未読ライトメールがないときは「ライトメール」と表示され、クリックすると、「ライトメール」が起動します。

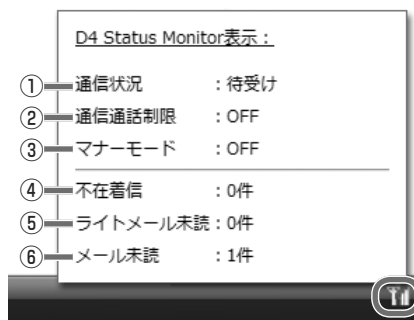
⑥ **未読メール件数**
未読メールの件数が表示されます。未読メールがないときは「電子メール」と表示され、クリックすると、「Windows メール」が起動します。

⑦ **電話**
クリックすると、電話のダイヤル画面が表示されます。

⑧ **マナー**
クリックすると、マナーモードの設定のオン／オフを切り替えられます。
マナーモードがオンのときはアイコンが青色に、オフのときはアイコンが灰色になります。

⑨ **設定**
クリックすると、「電話設定」画面が表示されます。

タスクバーの通知領域に表示される項目について

タスクバーの をクリックすると表示されます。

① **通信状況**
通信／電話機能［W-SIM（PHS)］の状態が表示されます。

② **通信通話制限**
通信通話制限状態が ON/OFF で表示されます。

③ **マナーモード**
マナーモードの状態が表示されます。

④ **不在着信**
不在着信の件数が表示されます。

⑤ **ライトメール未読**
未読ライトメールの件数が表示されます。

⑥ **メール未読**
未読メールの件数が表示されます。

ご参考

- タスクバーの は、非 W-SIM ユーザーがログオンしているときも表示されます。非 W-SIM ユーザーがログオンしたときは「通信状況」「通信通話制限」「マナーモード」のみ表示されます。

文字入力のしかた

キーボードを使って文字を入力する以外に、画面の入力パネルを使って文字を入力することもできます。ここでは、「Tablet PC 入力パネル」の操作方法を説明します。

「Tablet PC 入力パネル」を使って文字を入力する

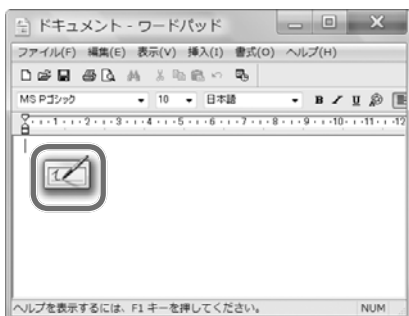
スタイラスペンを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。
入力は、「手書きパッド」画面で連続して入力する方法と「文字パッド」画面で 1 文字ずつ入力していく方法があります。

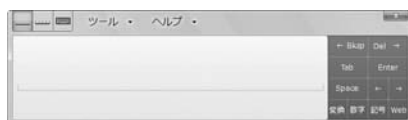
「手書きパッド」で文字を入力する

ここでは、例として「匠」と手書きして変換します。

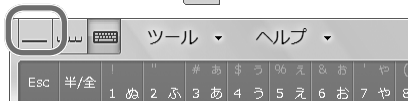
1 **ワープロソフトなど（下図では「ワードパッド」）を起動し、テキスト入力領域をタップする。**

（入力パネルアイコン）が表示されます。

2 **（入力パネルアイコン）をタップする。**

「手書きパッド」、「文字パッド」、「スクリーンキーボード」のいずれかが表示されます。

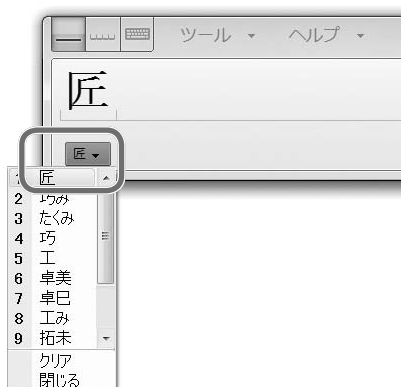
手書きパッド

文字パッド

スクリーンキーボード

3 **手書きパッドが表示されなかったときは画面左上の ＿ をタップする。**

4 **手書き入力枠に「匠」と手書き入力する。**

手書き入力枠

「匠」が入力されます。

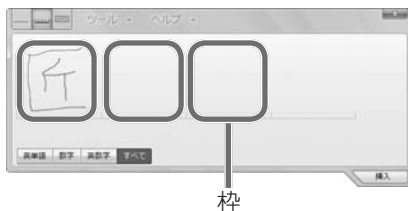
5 別の文字に変換したり、ひらがなから漢字に変換するときは、文字の下にある▼をタップし、変換候補を選ぶ。

6 ［挿入］をタップする。

「文字パッド」で文字を入力する

1 「「手書きパッド」で文字を入力する」（☞ 前ページ）の手順 1、2 と同じ操作をする。

2 文字パッドが表示されなかったときは、画面左上の をタップする。

3 認識させたい文字種をタップする。
ひらがなや漢字を認識させたい場合は［すべて］をタップします。

4 枠に 1 文字ずつ手書きする。
どの枠から書いてもかまいません。先に書いた文字から認識します。

5 別の文字に変換したり、ひらがなから漢字に変換するときは、文字の下にある▼をタップし、変換候補を選ぶ。

6 ［挿入］をタップする。

microSD カードや周辺機器の取り外し

microSD カードや周辺機器は、以下の手順に従って「取り外し」の操作をしてください。

- microSD カードスロットに挿入している microSD カード
- USB 端子に接続している記憶装置

ご注意

- 必ず以下の手順で microSD カードや周辺機器の取り外しを実行してください。正しく操作して取り外さないと、この製品が正常に動作しなくなったり、接続されている機器やカード、保存されているデータが破損したりすることがあります。
- ワイヤレス LAN デバイス「Marvell sd8686 Wireless LAN SDIO Adaptor」は取り外さないでください。取り外すと内蔵のワイヤレス LAN が使用できなくなります。取り外してしまったときは、再起動してください。

ご参考

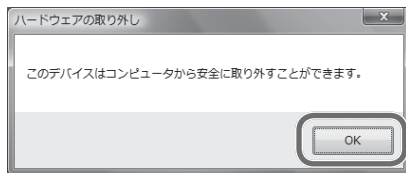
- USB 端子に接続している周辺機器の取り外し手順は、機器により異なる場合があります。周辺機器の説明書もあわせて参照してください。

1 取り外す microSD カードなどに保存されているファイルやフォルダを閉じる。

2 タスクバーの または をクリックする。

3 表示されるメニューから、「XXXXXXXX を安全に取り外します」をクリックする。

「XXXXXXXX」の箇所は、取り付けられている周辺機器によって表示が異なります。
microSD カードを取り付けているときは、「SD Memory Card - ドライブ(D:) を安全に取り外します」と表示されます。

4 [OK] をクリックする。

5 microSD カードなどを取り外す。

製品の状態とメールや通信機能

PHS 通信機能を使用してインターネットやメールを使うときは、W-SIM ユーザーとしてログオンすることをお勧めします。
非 W-SIM ユーザーは、一部の通信機能を利用できません。また、この製品が画面ロック状態のときも、一部の通信機能が制限されます。
詳しくは、**メール**（☞72 ページ）や**インターネット**（☞84 ページ）を参照してください。

ご参考

- W-SIM ユーザーと非 W-SIM ユーザーについては、「**W-SIM ユーザーと Windows アカウントについて（非 W-SIM ユーザーの機能制限）**」（☞37 ページ）を参照してください。

■ W-SIM ユーザーの場合

<table>
<tr><th></th><th>Windows メールの自動受信</th><th colspan="2">ライトメールの送受信</th><th>PHS 通信</th></tr>
<tr><td>電源「入」</td><td>○</td><td colspan="2">○※</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スリープ／休止状態</td><td rowspan="2">○</td><td>送信</td><td>受信</td><td rowspan="2">×</td></tr>
<tr><td>×</td><td>○</td></tr>
</table>

※ 画面ロック状態では受信のみ可。
画面ロック状態とは、パスワード入力待ち画面（ログオン画面）のことです。

ご参考

- スリープ／休止状態については、「**スリープとシャットダウンの違いについて**」（☞36 ページ）を参照してください。

■ 非 W-SIM ユーザーの場合

電源「入」の状態での PHS 通信のみ利用可能です。※1
「Windows メール」の自動受信と「ライトメール」の送受信※2 は、W-SIM ユーザーで再ログオンが必要です。

※ 1　インターネット接続（☞51 ページ）の設定が必要です。
※ 2　W-SIM ユーザーがログオンすると、非 W-SIM ユーザーでログオン中の受信が電話の着信履歴に表示されます。（非 W-SIM ユーザーがログオン中に着信履歴に表示されることはありません）

インターネットに接続する方法

インターネットに接続するには、以下のような方法があります。

PHS 通信機能を使って接続する

オンラインサインアップをして取得した情報を使う

オンラインサインアップがまだの場合は、『**はじめにお読みください**』（別冊）を参照してオンラインサインアップをしてください。
オンラインサインアップをすると、ウィルコムのサーバーから取得した情報をもとに、インターネットへの接続が自動的に設定され、メールの送受信やホームページの閲覧が可能になります。
この方法で接続した場合のみ、ウィルコムのメールを送受信できます。

加入しているプロバイダーの情報を使う

すでに加入しているプロバイダーを使用してインターネットに接続する場合は、「**加入しているプロバイダーの接続設定をする**」（☞51 ページ）を参照してください。

ワイヤレス LAN を使って接続する

アクセスポイントに接続するための設定などが必要です。
「**ワイヤレス LAN の接続設定をする**」（☞次ページ）を参照してください。

ネットワークに接続できないときは

- 「**故障かな？と思ったら**」(☞150 ページ) を参照して問題が解決できないかお確かめください。

接続できる機器

この製品のワイヤレス LAN 機能は、「IEEE802.11b」および「IEEE802.11g」の両方の規格に準拠しています。
IEEE802.11a の規格にのみ準拠しているアクセスポイントとは通信できません。

接続可能なアクセスポイントについて

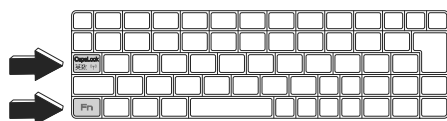
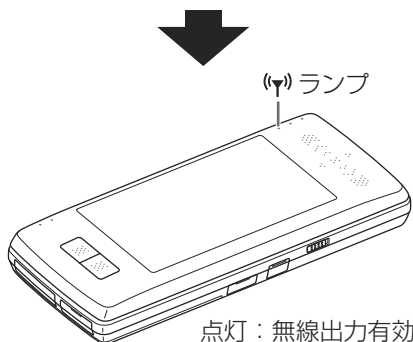
- お買いあげの販売店、またはシャープ D4 サポートページを参照してください。動作確認が取れ次第、順次ご案内します。
  http://d4support.sharp.co.jp/

ワイヤレスＬＡＮの接続設定をする

この製品のワイヤレス LAN 機能で、IEEE802.11b または IEEE802.11g 準拠のワイヤレス LAN アクセスポイントに接続できます。
この製品のワイヤレス LAN は、IEEE802.11b/g 規格に準拠しています。

内蔵ワイヤレス LAN を使えるようにする

ワイヤレスで通信するためには、ワイヤレス LAN の無線出力を有効にする必要があります。
無線出力が有効かどうかは、(ワイヤレス LAN 状態）ランプで確認します。

【Fn】＋【英数】(　) キーを押す。

【Fn】＋【英数】(　) キーを押すたびに有効、無効が切り替わります。(Windows が動作中のみ切り替え可能）
【Fn】＋【英数】(　) キーを押してもすぐに ランプが点灯（または消灯）しない場合があります。ワイヤレス LAN の有効／無効の切り替えは 6 秒以上の間隔を置いて行ってください。

ご注意

- 医療用電気機器の近くや航空機内などでは、ワイヤレス LAN の無線出力を無効にしてください。電波により各機器の動作に影響を与え、事故の原因となることがあります。

設定に必要な情報を用意する

- SSID（ネットワーク名）
- ネットワークキー（セキュリティキー）

アクセスポイントに接続する

アクセスポイントへの接続方法は、接続するアクセスポイントが SSID を通知する設定にしているか、通知しない設定にしているかで異なります。あらかじめアクセスポイントの設定を確認しておいてください。

SSID（ネットワーク名）を通知するアクセスポイントに接続する

1 ワイヤレス LAN の無線出力を有効にする。

ワイヤレス LAN の無線出力が無効から有効に切り替わると、数十秒間タスクバーに と が交互に表示されます。

ご参考

- ワイヤレス LAN の無線出力有効時に Bluetooth を有効にすると、通信速度／通信距離が低下するほか、Bluetooth 対応ヘッドセットなどを使って電話をしているときに音声が途切れることがあります。Bluetooth またはワイヤレス LAN のいずれかを有効にするときは、もう一方を無効にすることをお勧めします。

2 タスクバーの [icon] または [icon] をクリックし、「ネットワークに接続」をクリックする。

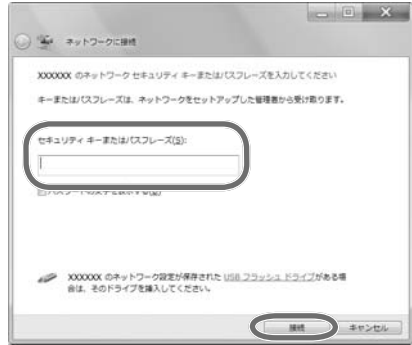
「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 接続したいネットワーク名をクリックし、[接続] をクリックする。

接続したいネットワーク名が表示されていないとき

- 画面右側の [icon] をクリックしてみてください。それでもネットワーク名が表示されないときは、アクセスポイントの電源が入っているか、アクセスポイントがSSID（ネットワーク名）を通知しないように設定されていないか確認してください。アクセスポイントがSSID非通知に設定されている場合は、次ページを参照してください。

4 「セキュリティキーまたはパスフレーズ」欄にキーを入力し、[接続] をクリックする。

アクセスポイントに設定しているセキュリティキーまたはパスフレーズを入力してください。

ネットワークへの接続が開始されます。

セキュリティが設定されていない場合

- セキュリティの設定が有効でないネットワークを選択すると、上記の画面は表示されず「セキュリティ保護されていないネットワークです」と表示されます。「接続します」をクリックするとネットワークに接続できますが、第三者にデータを盗まれたりする可能性がありますので、セキュリティの設定をすることを強くお勧めします。

5 「正しく接続しました」と表示されたら [閉じる] をクリックする。

2回目以降の接続について

- 手順5の画面で「この接続を自動的に開始します」にチェックマークを付けておくと、ワイヤレスLANの無線出力が有効になっているときは、アクセスポイント（ネットワーク）検出後、自動的に接続されます。ただし、手動で切断した場合は、手動で接続するか、この製品を再起動するまでは、自動的には接続されません。

SSID（ネットワーク名）を通知しないアクセスポイントに接続する

1 ワイヤレス LAN の無線出力を有効にする。

ワイヤレス LAN の無線出力が無効から有効に切り替わると、数十秒間タスクバーに と が交互に表示されます。

2 タスクバーの または をクリックし、「ネットワークに接続」をクリックする。

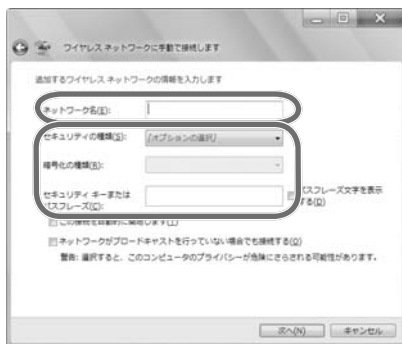
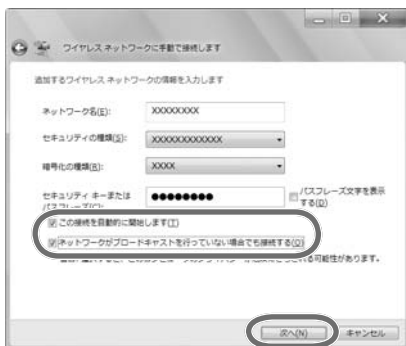
「ネットワークに接続」画面が表示されます。

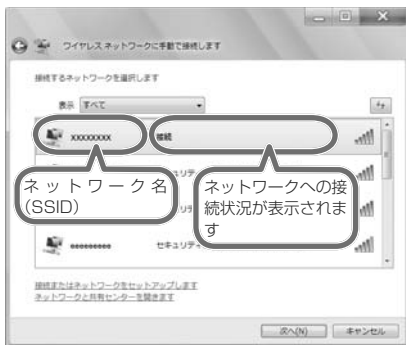
3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする。

4 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」をクリックし、[次へ] をクリックする。

5 接続するアクセスポイントの「ネットワーク名」を入力し、セキュリティを設定する。

アクセスポイントの設定と同じ設定にします。

アクセスポイントのセキュリティが設定されていない場合は、「セキュリティの種類」を「認証なし（オープンシステム）」に設定してください。

6 「この接続を自動的に開始します」と「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」をクリックしてチェックマークを付け、［次へ］をクリックする。

7 「接続します」をクリックする。

ネットワークへの接続が開始されます。ネットワークへ正しく接続されると、下記画面のように、ネットワーク名の右側に「接続」と表示されます。

追加したネットワーク名が表示されないとき

- ネットワーク名が間違っていないか、アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

接続できなかったときは

- ネットワーク名が表示されているのに、接続できなかったときは、次の手順に従って、セキュリティ設定が正しいか確認してください。
  ① ネットワーク名を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  ワイヤレスネットワークのプロパティ画面が表示されます。
  ②「セキュリティ」タブで、「セキュリティの種類」と「暗号化の種類」を確認します。
  ③「ネットワークセキュリティキー」欄をクリックし、もう一度パスワードを入力します。
  ※ このとき、「パスワードの文字を表示する」をクリックしてチェックマークを付けると、入力した文字を確認できます。
  ※「暗号化の種類」を「なし」に設定したときは、「ネットワークセキュリティキー」欄は表示されません。
  ④［OK］をクリックします。

8 ネットワークへの接続が完了したら、［キャンセル］をクリックして画面を閉じる。

2 回目以降の接続について

- 手順 6 の画面で「この接続を自動的に開始します」にチェックマークを付けておくと、ワイヤレス LAN の無線出力が有効になっているときは、アクセスポイント（ネットワーク）検出後、自動的に接続されます。ただし、いったん手動で切断した場合は、再度手動で接続するか、この製品を再起動するまでは、自動的には接続されません。

内蔵ワイヤレス LAN の接続を切断する

1 タスクバーの を右クリックし、「切断」ー「XXXXX（接続名）」の順にクリックする。

ワイヤレスLANの接続が「切断」されます。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を変更する

1 ワイヤレス LAN に接続しているときは、切断する。

2 タスクバーの または をクリックし、「ネットワークに接続」をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

3 設定を変更したい接続名を右クリックし、「プロパティ」をクリックする。

「プロパティ」画面が表示されます。

4 必要に応じてタブを切り替え、設定内容を修正する。

5 [OK] をクリックする。

加入しているプロバイダーの接続設定をする

すでに加入しているプロバイダーに、PHS 通信機能を使って接続するための設定について説明します。

設定時、各項目に文字を入力するときは

- 大文字・小文字・全角・半角は区別されるので、英数字や記号を入力する場合は注意してください。0（ゼロ）やO（オー）、1（ワン）やI（アイ）、l（エル）などの区別も確認してください。

設定に必要な情報を用意する

設定する項目は、以下のとおりです。プロバイダーからの資料をお手元に用意して各項目に設定する情報を確認してください。

- 接続先アクセスポイントの電話番号
- ユーザー名
- パスワード
- プライマリ DNS
- セカンダリ DNS

ご参考

- 設定する前に、モデムが「SHARP W-SIM Modem」になっているか確認してください。確認方法については「Windows ヘルプとサポート」（（スタート）をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックする）を参照してください。

インターネット接続設定をする

1 （スタート）をクリックし、「接続先」をクリックする。

「ネットワークに接続」画面が表示されます。

2 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリックする。

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択し、[次へ] をクリックする。

4 電話番号、ユーザー名、パスワードを入力して、[接続] をクリックする。

5 [閉じる] をクリックする。

インターネット接続設定を変更する

1 タスクバーの をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックする。

「ネットワークと共有センター」画面が表示されます。

2 「ネットワーク接続の管理」をクリックする。

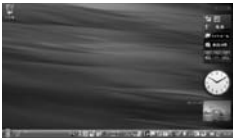
3 変更する接続名を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」を選択する。

「ダイヤルアップ接続のプロパティ」画面が表示されます。

4 設定内容を変更し、[OK] をクリックする。

3章 電話

製品の状態と利用できる電話機能

電話機能を使うときは、W-SIM ユーザーとして Windows にログオンしてください。
非 W-SIM ユーザーは、電話機能を使用できません。
また、付属のヘッドセットを接続しないと電話機能を使用できません。

ご参考

- W-SIM ユーザーと非 W-SIM ユーザーについては、「**W-SIM ユーザーと Windows アカウントについて（非 W-SIM ユーザーの機能制限）**」（☞37 ページ）を参照してください。

■ W-SIM ユーザーの場合

		電話着信	電話発信
電源「入」	デスクトップ表示	○	○
	画面ロック状態	△※1 着信を Y ランプ点滅で通知 着信音も鳴ります。	×
スリープ／休止状態		△※2	×

※ 1【Fn】＋【Space】( ) キーで電話を受けることができます。
※ 2 着信はしますが、応答はできません。（着信履歴には残ります）

ご参考

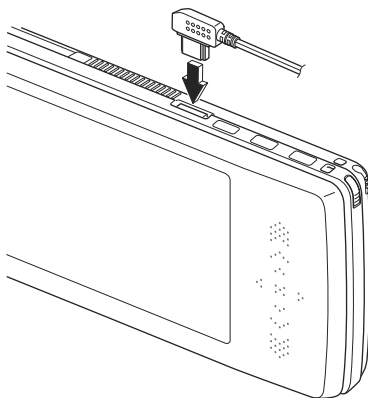
- スリープ／休止状態については、「**スリープとシャットダウンの違いについて**」（☞36 ページ）を参照してください。
- この製品は、スリープ／休止状態のときは、電話を取ることができません。電話をかけてくる相手側には、話し中と同じ音が聞こえるため、あらかじめスリープ／休止状態のときには電話を取れないことを伝えておいてください。（留守番電話サービス・着信転送サービスも使えません）

■ 非 W-SIM ユーザーの場合

電話機能を使うことはできません。
W-SIM ユーザーがログオンすると、非 W-SIM ユーザーでログオン中の W-SIM ユーザーへの着信が着信履歴に表示されます。

電話を使う

ヘッドセット（付属）を接続する

電話機能を使うには、ヘッドセットが必要です。
イヤホンマイクジャックのカバーを開き、ヘッドセットを接続します。

ご参考

- 付属のヘッドセットのボタンを押しても何も動作しません。

Bluetooth 対応ヘッドセットについて

- 「Bluetooth」（☞113 ページ）を参照し、この製品で使用できるように設定してください。

電話をかける／切る

1 ヘッドセットを装着する。

2 電話のダイヤル画面を表示する。

D4 Status Monitor のいずれかの[電話]をクリックします。

D4 Status Monitor を非表示にしているときは、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「電話」の順にクリックします。

3 電話番号を入力し、［通話］をクリックする。

「発信」画面が表示され、相手に電話がかかります。
相手が出たら、話をします。

4 通話を終えるときは、[終話] をクリックする。

① 電話番号が「Windows アドレス帳」に登録されているときは、名前／画像が表示される

電話が切れ、「終話」画面が表示されます。

ご参考

- ヘッドセットを接続していない状態では電話をかけられません。
- 入力できる番号の桁数は 32 桁までです。
- 一般電話にかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力しないと電話はかかりません。
- ご購入時は、自分の電話番号を相手に通知するように設定されています。（「**発信者番号通知を設定する**」☞59 ページ）
- 入力途中で番号を間違えたときは、[クリア] をクリックします。最後の番号（右端の番号）が削除されます。[クリア] を数秒間クリックすると、全削除されます。

通話中、保留にするには

- 「通話中」画面の [キー表示] をクリックし、[保留] をクリックします。

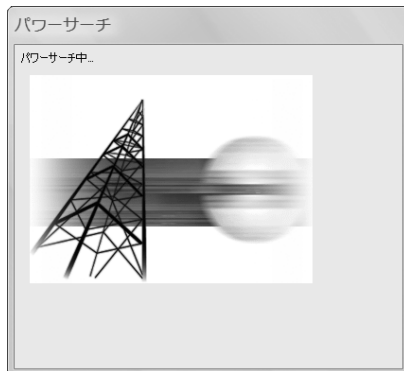
マナーモードがオンのときは

- ダイヤル画面にマナーモードアイコンが表示されます。マナーモードの設定を変更するときは、D4 Status Monitor の [マナー] をクリックします。

パワーサーチで電波の強い基地局を探す

待受中や通話中、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 電話のダイヤル画面で [メニュー] をクリックする。

2 「パワーサーチ」をクリックする。
パワーサーチが始まります。

終了すると、元の画面に戻ります。

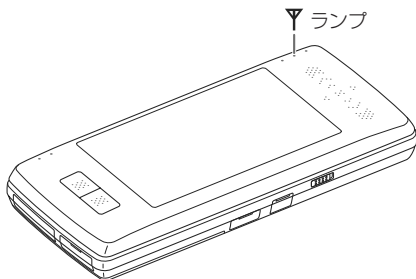
通話中、パワーサーチを使うには

- 「通話中」画面の [キー表示] をクリックし、[メニュー] ―「パワーサーチ」をクリックします。

ご参考

- パワーサーチ実行中は、必要なとき以外は、ボタンやキーを押さないでください。サーチ動作が途中で解除されます。
- 場所によっては、パワーサーチを使っても電波状態が変わらないことがあります。
- 通話中のパワーサーチの回数は、一度の通話で 3 回までです。

電話を受ける／切る

電話がかかってくると、Yランプが青色に点滅し、着信音が鳴ります。

1 ヘッドセットを装着する。

2 [通話] をクリックし、相手と話をする。

①	電話番号が「Windows アドレス帳」に登録されているときは、名前／画像も表示される
②	相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示される

3 通話を終えるときは、[終話] をクリックする。

電話が切れ、「終話」画面が表示されます。

ご参考

- ヘッドセットを接続していない状態では電話を受けられません。（着信保留にすることはできます）
- 電話に出られなかったときは、D4 Status Monitor に不在着信件数として表示されます。クリックすると、着信履歴が表示されます。

- 電話を切ると、ウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるかどうか、自動的に確認されます。メッセージがあるときは「センター留守電あり」と表示されます。（☞68 ページ）
- スリープや休止状態のときに着信した場合は、着信履歴に記録されます。

電話にすぐ出られないときは

- 「着信」画面の［着信保留］をクリックします。「着信保留」画面になり、相手には電話に出られない旨のメッセージが流れ、電話は保留になります。

通話中、保留にするには

- 「通話中」画面の［キー表示］をクリックし、[保留］をクリックします。

履歴から電話をかける

発信履歴／着信履歴から電話をかける

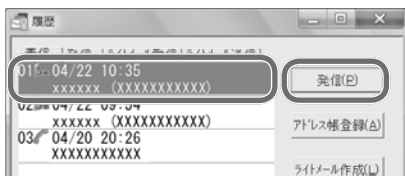
1 **電話のダイヤル画面で［発信履歴］または［着信履歴］をクリックする。**

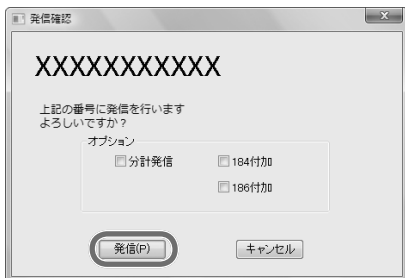
「履歴」画面が表示されます。

ご参考

- ダイヤル画面でキーボードの以下のキーを押しても表示できます。

【←】キー：着信履歴
【→】キー：発信履歴

2 **相手を選択し、［発信］をクリックする。**

「発信確認」画面が表示されます。

3 **［発信］をクリックする。**

「発信」画面が表示され、相手に電話がかかります。

ご参考

- 着信履歴は、D4 Status Monitor の不在着信件数の部分をクリックしても表示されます。
- 履歴の電話番号を「Windows アドレス帳」に登録できます。詳しくは、『**活用編**』（PDF）の「**電話**」－「**電話機能を使う**」－「**かかってきた番号／かけた番号を「Windows アドレス帳」に登録する**」を参照してください。

ライトメールの受信履歴／送信履歴から電話をかける

ライトメールを送った相手や、受け取ったライトメールの送信者に電話をかけられます。

1 **電話のダイヤル画面で［メニュー］をクリックする。**

2 **「履歴」－「ライトメール送信」または「履歴」－「ライトメール受信」をクリックする。**

「履歴」画面が表示されます。

3 **相手を選択し、［発信］をクリックする。**

「発信確認」画面が表示されます。

4 **［発信］をクリックする。**

「発信」画面が表示され、相手に電話がかかります。

ご参考

- 発信履歴、着信履歴、ライトメール送信履歴、ライトメール受信履歴は、それぞれ最大 20 件まで保存されます。20 件を超えると、古いものから自動的に削除されます。

Windows アドレス帳から電話をかける

「Windows アドレス帳」に登録している電話番号を利用して電話をかけられます。

1 **電話のダイヤル画面で［アドレス帳］をクリックする。**

「Windows アドレス帳」が起動します。

2 **電話する相手の連絡先をダブルクリックする。**

「発信確認」画面が表示されます。

3 **発信する電話番号を選択し、［発信］をクリックする。**

「発信」画面が表示され、相手に電話がかかります。

履歴画面について

① **タブ切替**
着信履歴／発信履歴／ライトメール受信履歴／ライトメール送信履歴が切り替わります。

② **発信**
選択中の相手に電話をかけるときクリックします。

③ **アドレス帳登録**
選択中の相手を「Windows アドレス帳」に登録するときクリックします。

④ **ライトメール作成**
選択中の相手にライトメールを送るときクリックします。

⑤ **番号コピー**
選択中の履歴の電話番号がコピーされます。必要な部分に貼り付けて利用してください。

⑥ **履歴削除**
履歴の一件削除または全体削除をするときにクリックします。

⑦ **キャンセル**
画面が閉じます。

1 回の通話ごとに発信者番号（電話番号）を通知／非通知にする

ご購入時は、発信者番号を「通知する」になっています。

発信者番号を通知しないとき

1 **電話のダイヤル画面で電話番号を入力し、[メニュー] をクリックする。**

2 **「通話」－「184 発信」をクリックする。**

発信者番号を通知するとき

1 **電話のダイヤル画面で電話番号を入力し、[メニュー] をクリックする。**

2 **「通話」－「186 発信」をクリックする。**

分計発信するとき

- 手順 1 の後、[メニュー] をクリックし、「通話」－「186 分計発信」をクリックします。

常に非通知にするときは

- 「**発信者番号通知を設定する**」（☞ 次ページ）を参照してください。

発信者番号通知を設定する

1 **D4 Status Monitor の［設定］をクリックする。**
「電話設定」画面が表示されます。
D4 Status Monitor を非表示にしているときは、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「電話設定」の順にクリックします。

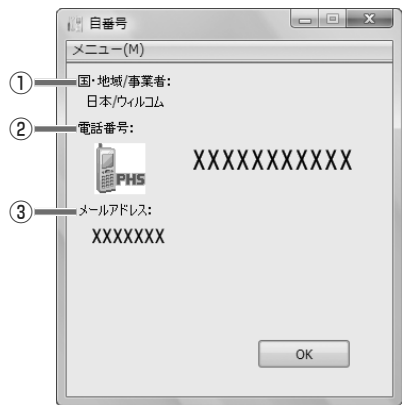
2 **「基本」タブをクリックし、「発着信／通話」の［設定］をクリックする。**
「発着信／通話」画面が表示されます。

3 **「ON」（通知）または「OFF」（非通知）をクリックし、［OK］をクリックする。**

自分の電話番号を見る

この製品に設定されている電話番号を確認します。

1 **電話のダイヤル画面で［メニュー］をクリックする。**

2 **「自局番号表示」をクリックする。**
電話番号と、オンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。

① **国・地域／事業者**

② **自分の電話番号**
オンラインサインアップをしていないときは表示されません。

③ **自分のメールアドレス**
オンラインサインアップをしていないときは表示されません。

3 **［OK］をクリックする。**

ご参考

- 通話中に自分の電話番号を見るには、「通話中」画面の［キー表示］をクリックし、［メニュー］―「自局番号表示」をクリックします。
- 自分の電話番号は、「電話設定」画面の「基本」タブをクリックし、［自番号を確認］をクリックしても表示できます。

電話のメニュー

電話のダイヤル画面で［メニュー］をクリックしたときのメニューには、下記のような項目があります。

項目	サブメニュー	動作
ライトメール作成	—	ライトメールを新規作成する。ダイヤル入力時は、入力された電話番号を宛先としたメール作成画面になる。
通話	発信	電話をかける。
	184 発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186 発信	自分の電話番号を相手に通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。
	184 分計発信	自分の電話番号を通知しないで、料金分計サービスを利用して電話をかける。
	186 分計発信	自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける。
履歴	発信履歴	履歴画面の「発信」タブが表示される。
	着信履歴	履歴画面の「着信」タブが表示される。
	ライトメール送信履歴	履歴画面の「ライトメール送信」タブが表示される。
	ライトメール受信履歴	履歴画面の「ライトメール受信」タブが表示される。
Bluetooth	子機	通話中、別売の子機（ハンドセット）側に音声を切り替える。
	本体（イヤホン）	通話中、本体（イヤホン）に音声を切り替える。
パワーサーチ	—	一番電波の強い基地局を選択する。
自局番号表示	—	自分の電話番号を確認する。

ご参考

- 待受中、ダイヤル中、通話中など、この製品の状態によっては一時的に無効になる項目があります。

セキュリティなど電話の設定をする

セキュリティの種類とその違いについて

個人情報の漏洩や悪用を防ぐために、この製品にセキュリティをかけることができます。この製品のセキュリティには、次のような種類があります。

種類	内　容	制限・禁止される事柄
通話通信制限設定	暗証番号による一部機能の制限	・電話をかける ・Windows メールの送受信 ・ライトメールの送信 ・インターネット接続
W-SIM ロック	暗証番号による PHS 通信機能の制限	・電話をかける・受ける ・Windows メールの送受信 ・ライトメールの送受信 ・インターネット接続
リモートロック	遠隔操作による起動の制限	Windows の起動
リモートロック+消去	ハードディスクの内容の全消去と起動制限	Windows の起動
ブートセキュリティ	正しい W-SIM が装着されていない場合は起動制限	Windows の起動

ご参考

- この製品の電源が切れているときは、リモートロック起動、完全消去のいずれも働きません。こうした場合に、この製品（本体）を他人が使用できないようにするには、ブートセキュリティを有効にします。

セキュリティをかける

セキュリティ関連の設定画面を表示するには、W-SIM の暗証番号を入力してロックを解除する必要があります。
ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字）になっています。この番号は変更できます。（「**W-SIM の暗証番号を変更する**」☞63 ページ）

ご注意！

暗証番号は絶対に忘れないでください

- 暗証番号を忘れると、W-SIM を使った機能（電話、Windows メール、ライトメール、インターネット接続など）が利用できなくなります。万一のために、暗証番号は控えておいてください。

通話／通信機能を制限する

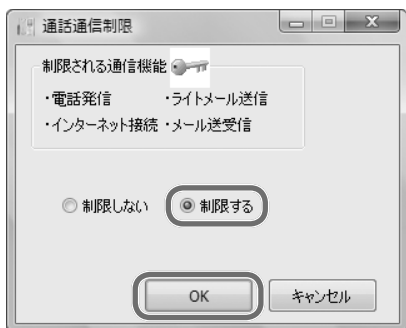
設定すると、以下のことができなくなります。

- 電話をかける
- Windows メールの送受信
- ライトメールの送信
- インターネット接続

1 **D4 Status Monitor の［設定］をクリックする。**
「電話設定」画面が表示されます。

2 **「セキュリティ」タブをクリックし、［通話通信制限設定］をクリックする。**
W-SIM の「暗証番号確認」画面が表示されます。

3 **暗証番号を入力する。**
ご購入時の暗証番号は「0000」(半角数字)です。

4 **「制限する」をクリックし、[OK] をクリックする。**

通話/通信機能の制限が有効になり、D4 Status Monitor に通話通信制限( )アイコンが表示されます。
解除するときは、「制限しない」をクリックし、[OK]をクリックします。

暗証番号を 10 回間違えると

- 次に正しい暗証番号を入力しても「暗証番号が違います。」と表示されます。このような場合は、この製品を再起動し、再度暗証番号を入力してください。

W-SIM をロックする

W-SIM をロックするための暗証番号(PIN コード※)を設定すると、次回から PIN コードを入力しないと PHS 通信機能(通話、Windows メールの送受信、ライトメールの送受信、インターネット接続)が使えなくなります。

1 **D4 Status Monitor の[設定]をクリックする。**
「電話設定」画面が表示されます。

2 **「セキュリティ」タブをクリックし、[W-SIM ロック]をクリックする。**
「暗証番号確認」画面が表示されます。

3 **暗証番号を入力する。**
ご購入時の暗証番号は「0000」(半角数字)です。

4 **PIN コードを入力する。**
「確認」欄に同じ PIN コードを再度入力し、[設定]をクリックします。

ロックを解除するとき:
PIN コードを入力し、[解除]をクリックする。

PIN コードを変更するとき:
[PIN コード変更]をクリックし、現在の PIN コードと新しい PIN コードを入力した後、[変更]をクリックする。

5 **[OK]をクリックする。**

6 **「W-SIM ロック設定」画面で、 をクリックする。**

7 **「セキュリティ設定」画面で、[OK]をクリックする。**

8 **シャットダウンして電源を切る。**
W-SIM がロックされます。

9 電源を入れる。

「PIN コード入力」画面が表示されます。

10 手順 4 と同じ PIN コードを入力し、[入力完了] をクリックする。

W-SIM ロックが一時解除され、PHS 通信機能が使えるようになります。

「PIN コード入力」画面は、この製品を起動するたびに表示されます。

ご注意

PIN コードとは

※ 盗難、紛失などによって他人にこの製品を使われないようにするための暗証番号です。PIN コードは、4 ～ 16 桁の任意の数字を設定することができます。PIN コードを設定すると、W-SIM がロックされます。
万一、PIN コードを忘れた場合、あるいは PIN コードを 10 回間違えた場合は、PUK コードを入力し、ロックを解除する必要があります。PUK コードは、W-SIM の箱に入っている説明書に記載されています。
W-SIM の箱に入っている説明書を大切に保管するとともに「PIN コード」「PUK コード」は、メモを取るなどして、忘れないようにしてください。

W-SIM の暗証番号を変更する

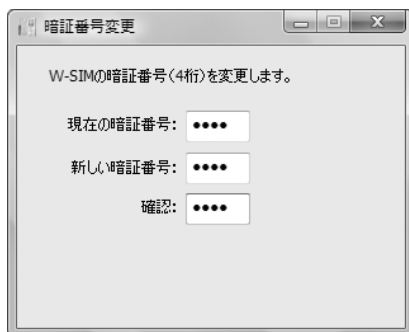
1 「電話設定」画面で「セキュリティ」タブをクリックする。

2 [暗証番号変更] をクリックする。

「暗証番号変更」画面が表示されます。

3 現在の暗証番号と、新しい暗証番号を入力する。

ご購入時の暗証番号は「0000」(半角数字)です。

「確認」欄に新しい暗証番号を再度入力します。

4 [OK] をクリックする。

W-SIM の暗証番号が変更されます。

リモートロックを利用する

この製品にリモートロックの設定をしておくと、盗難や紛失など万一の事態が起きたときでも、他の電話機（サブアドレス通知可能なPHS端末など）やパソコンから遠隔操作してこの製品を使用できないようにロックし、個人情報の漏洩や悪用を防ぐことができます。
リモートロックを起動するには、以下の3種類の方法があります。

- 他の電話機からこの製品に電話をかける
- 他の電話機からこの製品にライトメールを送る
（ライトメールは、ウィルコムの電話機間でのみやり取りできるメールです。）
- ウィルコムのホームページ
（http://www.willcom-inc.com/）
から操作する※

※「My WILLCOM」から操作します。
「My WILLCOM」を利用するには、会員登録と利用中の電話番号の登録が必要です。

利用可能な他の電話機、ウィルコムからのリモートロックなどについては、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。（☞3ページ）

リモートロックを起動するための準備

1 D4 Status Monitorの［設定］をクリックする。
「電話設定」画面が表示されます。

2 「セキュリティ」タブをクリックし、［リモートロック］をクリックする。
W-SIMの「暗証番号確認」画面が表示されます。

3 W-SIMの暗証番号を入力する。
ご購入時の暗証番号は「0000」(半角数字)です。

4 許可パスワードを入力し、［登録］をクリックする。
許可パスワードは、4～8桁の任意の数字を入力します。

5 リモートロック起動設定をする。

電話をかけてリモートロックするとき：
「サブアドレス起動設定」欄で「リモートロック起動設定」の「ON」をクリックし、許可番号リストにリモートロックするときに使う他の電話機の電話番号を入力します。

ライトメールを送信してリモートロックするとき：
「ライトメール起動設定」欄で「リモートロック起動設定」の「ON」をクリックし、許可番号リストにリモートロックするときに使う他の電話機の電話番号を入力します。

許可番号リストが空欄の場合

- どの電話番号からでもリモートロックを起動することができます。

6 microSDカードの読み書きを禁止するかどうかを設定する。
禁止するときは「microSDカードの読み書きを禁止します」をクリックしてチェックマークを付けます。
禁止した場合は、リモートロックの利用に関係なく、読み書きができなくなります。読み書きするときは、チェックマークを外してください。

7 ［OK］をクリックする。
microSDカードの読み書き設定を変更したときは、再起動の確認画面が表示されます。設定の変更は、再起動後に有効になります。

許可番号を削除するときは

- 番号リスト右側の［クリア］をクリックします。変更するときも、いったん［クリア］で削除した後、新しい番号を入力します。

リモートロックを起動する

リモートロックの許可番号リストに登録した他の電話機から、この製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを起動します。

電話をかけて起動するとき

1 他の電話機からこの製品に電話をかける。

この製品の電話番号→「＊ 01」→「許可パスワード」とダイヤルして発信します。

0 7 0 – X X X X – X X X X –
＊ 0 1 – X X X X X X X X

ライトメールを送信して起動するとき

1 他の電話機からこの製品にライトメールを送る。

ライトメール本文に、
「ソウサ 1XXXXXXXX」
（1 は数字、XXXXXXXX は許可パスワード）
と入力して送ります。

リモートロック中は

- この製品の電源を入れても、リモートロック中を示す黒い画面が表示されて、Windows は起動しません。

リモートロックを解除する

電話をかけて解除するとき

1 他の電話機からこの製品に電話をかける。

この製品の電話番号→「＊ 00」→「許可パスワード」とダイヤルして発信します。

0 7 0 – X X X X – X X X X –
＊ 0 0 – X X X X X X X X

ライトメールを送信して解除するとき

1 他の電話機からこの製品にライトメールを送る。

ライトメール本文に、
「ソウサ 0XXXXXXXX」
（0 はゼロ、XXXXXXXX は許可パスワード）
と入力して送ります。

リモートロックを起動し完全消去をする

この製品を紛失したときなどに個人情報の漏洩や悪用を防ぐため、ハードディスクの内容をすべて消去する「完全消去」機能があります。（microSD カードの内容は消去されません。）
完全消去が完了すると、リモートロック状態になります。

ご注意

完全消去ではハードディスクに保存されているすべてのデータが消えます

- 完全消去をすると、お客様が保存したデータだけでなく、Windows も消去されてしまいます。再度この製品をご使用になるには、リモートロックを解除し、「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」(☞117 ページ) を参照して再インストールしてください。また、完全消去をするときは電話番号を間違えていないか、必ず確認してください。消去したデータは、元に戻すことはできません。

ご参考

- 完全消去は、パソコン（My WILLCOM）から操作することはできません。

3 電話

電話をかけて完全消去するとき

1 **他の電話機からこの製品に電話をかける。**

この製品の電話番号→「＊ 03」→「許可パスワード」とダイヤルして発信します。

0 7 0 − X X X X − X X X X −
＊ 0 3 − X X X X X X X X

ライトメールを送信して完全消去するとき

1 **他の電話機からこの製品にライトメールを送る。**

ライトメール本文に、
「ソウサ 3XXXXXXXX」
（XXXXXXXX は許可パスワード）と入力して送ります。

ご参考

- 完全消去には時間がかかります。消去の途中でこの製品の電源が切れた場合は、次回電源が入ったときに消去処理が続きから自動的に始まります。なお、完全消去が完了しないと、リモートロックには移行しません。

ブートセキュリティを利用する

ブートセキュリティを有効にしておくと、次のような場合には、Windows が起動しません。

- W-SIM が装着されていない場合
- W-SIM の契約が解除されている場合
- ブートセキュリティ設定時とは異なる W-SIM が装着されている場合

1 **D4 Status Monitor の［設定］をクリックする。**

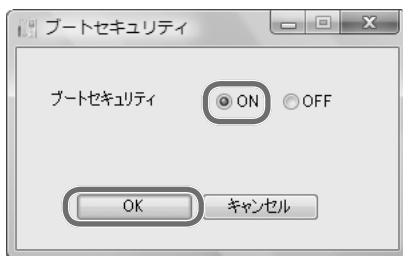
「電話設定」画面が表示されます。

2 **「セキュリティ」タブをクリックし、［ブートセキュリティ］をクリックする。**

「暗証番号確認」画面が表示されます。

3 **暗証番号を入力する。**

ご購入時の暗証番号は「0000」（半角数字）です。

4 **「ON」をクリックし、[OK] をクリックする。**

ブートセキュリティを解除するとき：
手順 4 で「OFF」をクリックし、[OK] をクリックする。

W-SIM（PHS）のオン／オフを設定する

オフにすると、電話やメールの送受信などができなくなります。

1 **D4 Status Monitor の［設定］をクリックする。**

「電話設定」画面が表示されます。

2 **「接続」タブをクリックする。**

3 **「W-SIM（PHS）」欄で「ON」または「OFF」をクリックし、［OK］をクリックする。**

ご参考

- W-SIM のオン／オフは、【Fn】＋【A】(Y)キーを押しても切り替えられます。
- ダイヤルアップ接続中は、W-SIM のオン／オフを切り替えられません。

自動受信機能のオン／オフを設定する

オフにすると、メールの自動受信機能が働かなくなります。

1 **D4 Status Monitor の［設定］をクリックする。**

「電話設定」画面が表示されます。

2 **「接続」タブをクリックする。**

3 **「自動受信」欄で「ON」または「OFF」をクリックし、[OK] をクリックする。**

W-SIM のバージョン情報を表示する

この製品に装着している W-SIM のバージョン情報を確認できます。

1 **D4 Status Monitor の［設定］をクリックする。**

「電話設定」画面が表示されます。

2 **「W-SIM 情報」タブをクリックする。**

装着している W-SIM の情報が表示されます。

3 **確認を終えたら［OK］をクリックする。**

ウィルコムのサービスを利用する

留守番電話サービス、着信転送サービス、料金分計サービスについて説明します。

■ ウィルコムのサービスについて

	留守番電話サービス	着信転送サービス
電源「入」	○	※
スリープ／休止状態	×	×
電源「切」	○	○

※電源「入」の状態でも、エリア外にいるときなどは、「着信転送サービス」が行われます。

留守番電話サービスを使う

電源を切っているときやすぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどに、ウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージをお預かりするサービスです。
利用するには、あらかじめお申し込みが必要です。
留守番電話サービスについて詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。（☞3 ページ）

- メッセージの最大録音時間：1 件につき約 60 秒
- メッセージの最大保存件数：20 件
- メッセージの保存期間：約 73 時間
- 申し込み：必要
- 月額料：有料

メッセージがあるか確認する

電話を切ると、メッセージがあるかどうか自動的に確認されます。メッセージがあるときは「センター留守電あり」と表示されます。

■メッセージを手動で確認する

1 電話のダイヤル画面で「141」と入力し、[通話] をクリックする。

2 数秒後「ツー」という音を確認し、[終話] をクリックする。

メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

1 電話のダイヤル画面で「＊ 931」と入力し、[通話] をクリックする。

留守番電話サービスにつながります。

2 音声ガイダンスに従って操作する。

ご参考

- 留守番電話サービスでは、ライトメールをお預かりできません。

プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くには

- 0077-780-931 に電話をかけ、音声ガイダンスに従って操作します。この製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。
- 「＊ 931」の代わりに「＊ 9311」を入力してもメッセージを聞くことができます。この場合は、発信者の電話機によりますが、メッセージの前に発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。

留守番電話サービスの設定を変更する

留守番電話サービスの起動や停止、電話に出られないときに留守番電話サービスに切り替わるまでの呼出し回数などを変更できます。

- 受付時間 ：5:00～24:00(年中無休)

1 **電話のダイヤル画面で「143」と入力し、[通話] をクリックする。**

留守番電話サービスにつながります。

2 **音声ガイダンスに従って操作する。**

ご参考

- プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけて設定を変更できます。

着信転送サービスを使う

電源を切っているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。

転送先には、他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話が指定できます。

通話料金などについて詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。(☞3 ページ)

- 申し込み ： 不要
- 月額料 ： 無料

ご参考

- 留守番電話サービスと同時には利用できません。
- 海外への転送には対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけて設定を変更できます。

料金分計サービスを使う

通話料金の請求先を 2 カ所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。

分計発信で電話をかけたときの通話料金は、分計先に請求されます。

それ以外の通話料金は、ご契約者（主計先）に請求されます。

このサービスは有料です。また、サービスを利用するには契約が必要です。詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。(☞3 ページ)

- 申し込み ：必要
- 月額料 ：有料

1 **電話のダイヤル画面で電話番号を入力し、[メニュー] をクリックする。**

2 **「通話」－「分計発信」の順にクリックする。**

ご参考

- パケット方式での通信では、料金分計サービスを使用できません。

「Windows アドレス帳」をバックアップする

「Windows アドレス帳」はバックアップできます。「Windows アドレス帳」をバックアップしておくと、この製品が故障したときなど万一の場合に備えるだけでなく、この製品を買い換えたときなどにも同じ方法で「Windows アドレス帳」のデータを移動することができます。
ここでは、この製品が故障したときなど万一の場合に備えて、microSD カードを保存先に選択します。あらかじめ書き込み可能な microSD カードを microSD カードスロットにセットしておいてください。

1 **（スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダをクリックする。**

（「×××××」には、設定したユーザー名が表示されています。）

ユーザーフォルダが開きます。

2 **「アドレス帳」フォルダを右クリックし、「送る」－ をクリックする。**

microSD カードに「アドレス帳」フォルダがコピーされたことを確認します。

3 **画面右上の をクリックして開いている画面を閉じる。**

ご参考

- microSD カードではなく、この製品の他のフォルダに保存するときは、「アドレス帳」フォルダを右クリックし、「コピー」をクリックします。保存場所のフォルダ内のアイコンなどが何もない場所で右クリックし、「貼り付け」をクリックします。

バックアップした「Windows アドレス帳」を復元する

バックアップした「Windows アドレス帳」の「アドレス帳」フォルダを復元します。「アドレス帳」フォルダが保存された microSD カードをあらかじめこの製品にセットしておいてください。

1 （スタート）をクリックし、ユーザー名のフォルダをクリックする。

（「×××××」には、設定したユーザー名が表示されています。）

ユーザーフォルダが開きます。

2 microSD カードの「アドレス帳」フォルダをユーザーフォルダにドラッグ＆ドロップする。

「フォルダの上書きの確認」画面が表示されます。

3 ［はい］をクリックする。

ファイルのコピーの確認画面が表示されたときは

- 以下の項目から保持するファイルを選びます。
  コピーして置き換える：
  　復元するファイルを上書きします。
  コピーしない：
  　ファイルを上書きしません。
  コピーするが両方のファイルを保持する：
  　別のファイル名でコピーします。

4 ユーザーフォルダの「アドレス帳」フォルダを開き、復元できているか確認する。

5 画面右上の をクリックして、開いている画面を順に閉じる。

ご参考

- 他のメールソフトなどの「アドレス帳」データをこの製品で使用するときは、「Windows アドレス帳」のツールバーの「インポート」をクリックし、保存されているファイル形式を指定して「アドレス帳」データを取り込み（インポート）します。

3 電話

4章 メール

製品の状態と利用できるメール機能

PHS 通信機能を使用してメールを使うときは、W-SIM ユーザーとして Windows にログオンしてください。
非 W-SIM ユーザーは、一部の通信機能を使用できません。

ご参考

- W-SIM ユーザーと非 W-SIM ユーザーについては、「**W-SIM ユーザーと Windows アカウントについて（非 W-SIM ユーザーの機能制限）**」（☞37 ページ）を参照してください。

■ W-SIM ユーザーの場合

<table>
<tr><th></th><th>Windows メールの
自動受信</th><th colspan="2">ライトメールの
送受信</th></tr>
<tr><td>電源「入」</td><td>○</td><td colspan="2">○※</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スリープ／
休止状態</td><td rowspan="2">○</td><td>送信</td><td>受信</td></tr>
<tr><td>×</td><td>○</td></tr>
</table>

※ 画面ロック状態では受信のみ可。
画面ロック状態とは、パスワード入力待ち画面（ログオン画面）のことです。

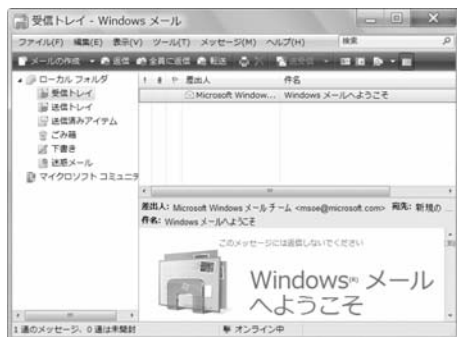
■ 非 W-SIM ユーザーの場合

「Windows メール」の自動受信、「ライトメール」の送受信とも使うことはできません。これらのメール機能は、W-SIM ユーザーがログオンした後で使用可能になります。非 W-SIM ユーザーが使用中に受信した W-SIM ユーザーあての「ライトメール」は、W-SIM ユーザーがログオンすると、電話の着信履歴に表示されます。（非 W-SIM ユーザーがログオン中に、着信履歴が表示されることはありません）

メールを使う

2 種類のメールを使用できます。用途に応じて使い分けてください。

■ Windows メール

ウィルコムにオンラインサインアップすると使えるようになります。
すでに加入しているプロバイダーを使用して「Windows メール」を送受信することもできますが、その場合はアカウントの設定が必要になります。

■ ライトメール

ウィルコムの電話機同士でのみやり取りできるメールです。
電話番号をあて先にするので、メールアドレスを知らない相手にもメールを送信できます。
また、メール本文には絵文字も使えます。
一通のメールで送信できるのは、全角 45 文字（半角 90 文字）までです。

ご参考

- この製品でメールをするときは、Windows メールまたはライトメールをお使いください。
  それ以外のメールソフトの使用時には、自動受信はできません。また、D4 Status Monitor や Windows アドレス帳を使った連携機能も使うことができません。

Windows メール

「Windows メール」の操作方法について概要を説明します。
「Windows メール」のヘルプおよび『**活用編**』(PDF)もあわせて参照してください。

「Windows メール」の起動とヘルプの表示

1 **D4 Status Monitor の電子メールの部分をクリックする。**

「Windows メール」が起動します。

ご参考

- 「電子メール」の部分が「未読：×件」表示のときも、同じように「Windows メール」が起動します。

2 **【Fn】+【1】キーを押す。**
「Windows ヘルプとサポート」画面にヘルプが表示されます。

D4 Status Monitor を非表示にしているときは

- (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「Windows メール」の順にクリックします。

アカウントによる機能の違いについて

複数のアカウントを設定して使い分けることができますが、使用するアカウントによって機能などに一部違いがあります。

■ ウィルコムのアカウント

ウィルコムにオンラインサインアップすると設定されます。

ウィルコムのアカウントを間違えて変更してしまったときは

- (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「オンラインサインアップ」の順にクリックしてオンラインサインアップの情報を削除し、再度オンラインサインアップをしてください。必要な情報を再設定できます。

■ 他のプロバイダーのアカウント

手動で設定する必要があります。(「**送受信するためのアカウントを追加する**」☞ 76 ページ)

他のプロバイダーのアカウントについて

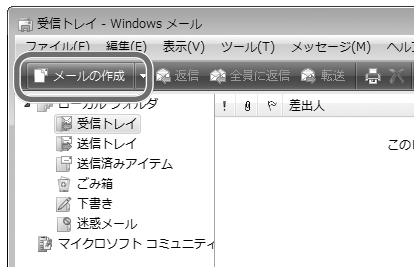
- 作成したアカウントの「プロパティ」―「全般」タブ画面で「メールの受信時および同期時にこのアカウントを含める」にチェックマークを付けると、ウィルコムのアカウントのメールを自動受信するときに、ウィルコムのアカウントとプロバイダーのアカウントの両方のメールを受信します。

	ウィルコムのアカウント	プロバイダーのアカウント
接続先	ウィルコム	ウィルコムとプロバイダー
サーバー	ウィルコム	プロバイダー
自動受信※1	○	×
ワイヤレス LAN での送受信	×	○
送受信の容量制限(添付ファイル含む)	1MB まで	プロバイダー側の設定に準じます。

※ 1 ここでの「自動受信」とは、メールソフトを起動せずにメールが受信できる機能を指します。

メールを作成して送信する

1 「Windows メール」を起動する。

2 ツールバーの「メールの作成」をクリックする。

「メッセージの作成」画面が表示されます。

3 「宛先」欄に相手のメールアドレスを入力し、「件名」、本文を入力する。

4 ツールバーの「送信」をクリックする。
「メールの送信」画面が表示されます。

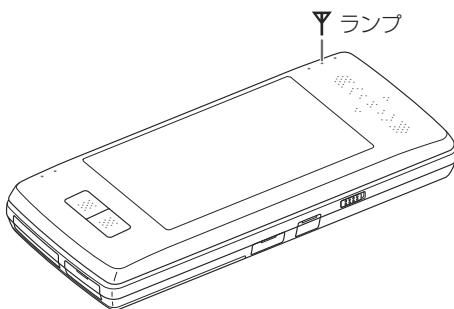
5 [OK] をクリックする。

6 ツールバーの「送受信」をクリックする。
メールが送信されます。
送信されたメールは「送信済みアイテム」に保存されます。

7 タスクバーの を右クリックし、「切断」－「XXXXX（接続名）」の順にクリックする。

メールを受信して読む

ウィルコムのアカウント使用時

メール受信中は、ランプが青色に点滅します。

受信が完了すると、点滅が点灯に変わり、D4 Status Monitor に未読メール（1 ～ 9 件のときは黄色文字、10 件以上のときは赤色文字）として表示されます。

1 D4 Status Monitor の未読 Windows メール件数の部分をクリックする。

「Windows メール」が起動します。

2 読みたいメールをクリックする。

全アカウント共通

1 **「Windows メール」を起動する。**

2 **ツールバーの「送受信」をクリックする。**
メールが受信されます。

3 **読みたいメールをクリックする。**

ご参考

- 作成したアカウントの「プロパティ」―「全般」タブ画面で「メールの受信時および同期時にこのアカウントを含める」にチェックを付けていない場合は、受信操作の前にプルダウンメニューからアカウントを選択する必要があります。

メールを返信する／転送する

1 **返信／転送するメールを選択し、ツールバーの「返信」または「転送」をクリックする。**
返信／転送用の「メッセージの作成」画面が表示されます。

2 **「宛先」欄に相手のメールアドレスを入力し（転送時のみ）、「件名」、本文を入力する。**

3 **ツールバーの「送信」をクリックする。**
「メールの送信」画面が表示されます。

4 **[OK] をクリックする。**

5 **ツールバーの「送受信」をクリックする。**
メールが送信されます。
送信されたメールは「送信済みアイテム」に保存されます。

6 **タスクバーの を右クリックし、「切断」―「XXXXX（接続名）」の順にクリックする。**

送受信するためのアカウントを追加する

オンラインサインアップをして、ウィルコムのアカウントを使ってメールを送受信する場合、この設定は必要ありません。
ここでは、すでに加入しているプロバイダーを使用してメールを送受信するためのメールソフトの設定について説明します。
プロバイダーからの資料をお手元に用意して各項目に設定する情報を確認してください。

1 **「Windows メール」を起動する。**

2 **メニューバーの「ツール」―「アカウント」をクリックする。**
「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 **[追加] をクリックする。**
「アカウントの種類の選択」画面が表示されます。

4 **「電子メールアカウント」をクリックし、[次へ] をクリックする。**

以降、画面の指示に従って操作します。

アカウントを修正／削除するには

- 『活用編』（PDF）の「**メール**」―「**Windows メール**」―「**アカウントを修正／削除する**」を参照してください。

署名を作成する

1 **メニューバーの「ツール」－「オプション」をクリックする。**

「オプション」画面が表示されます。

2 **「署名」タブをクリックし、[作成]をクリックする。**

3 **「すべての送信メッセージに署名を追加する」にチェックマークを付ける。**

4 **「テキスト」欄に名前やメールアドレスなど署名の内容を入力し、[OK]をクリックする。**

ご参考

- 画面下部が表示されない（見えない）場合は、画面回転ボタン（ ）を押すと表示されます。（☞28 ページ）

4

メール

ライトメール

「ライトメール」は、簡単なメッセージのやり取りに適しています。

ライトメールを作成して送信する

1 D4 Status Monitor のライトメールの部分をクリックする。

「ライトメール」が起動します。
D4 Status Monitor を非表示にしているときは、タスクバーの （ライトメール）をクリックします。

ご参考

- 「ライトメール」の部分が「未読：×件」表示のときも、同じように「ライトメール」が起動します。

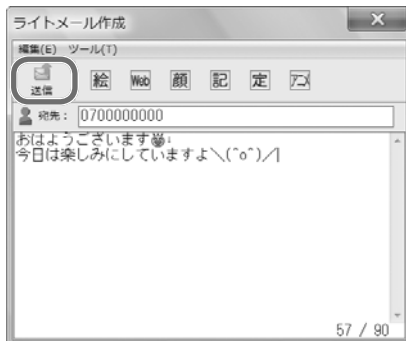
2 ツールバーの [新規] をクリックする。

「ライトメール作成」画面が表示されます。

3 「宛先」欄に相手の電話番号を入力し、本文を入力する。

本文は、全角 45 文字(半角 90 文字)まで入力できます。
また、絵文字や顔文字も入力することができます。

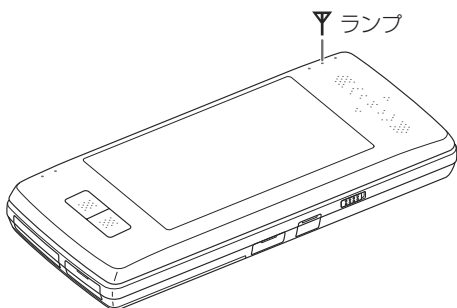
① 絵文字、顔文字などの入力ボードが表示される（ダブルクリックで入力）
② 入力した文字数（半角文字で換算）

4 ツールバーの [送信] をクリックする。

ライトメールが送信されます。
送信されたライトメールは、送信済フォルダに保存されます。

ご参考

- 入力できるあて先（電話番号）は 1 つだけです。複数のあて先は入力できません。
- 「ライトメール」では分計発信はできません。
- あて先には、「Windows アドレス帳」に登録している電話番号や電話の発信／着信履歴、「ライトメール」の送信／受信履歴を利用できます。
- ご購入時は、ライトメールを送信すると、自分の電話番号を相手に通知するように設定されています。この設定は電話と共通です。（「**発信者番号通知を設定する**」☞59 ページ）

ライトメールを受信して読む

ライトメール受信中は、Yランプが青色に点滅します。

受信が完了すると、点滅が点灯に変わり、D4 Status Monitor に未読ライトメール（1 ～ 9 件のときは黄色文字、10 件以上のときは赤色文字）として表示されます。

1 D4 Status Monitor の未読ライトメール件数の部分をクリックする。

「ライトメール」が起動します。
D4 Status Monitor を非表示にしているときは、タスクバーの （ライトメール）をクリックします。

2 読みたいライトメールをクリックする。

ライトメール本文中の文字列を活用する

文字列から直接電話をかけたり、メールを作成したりできます。「Windows アドレス帳」へも登録できます。

1 URL、メールアドレス、電話番号をクリックする。

2 メニューから実行したい項目をクリックする。

URL と認識される文字列	「http://」「https://」などで始まる半角英数字
メールアドレスと認識される文字列	「@」があり、その前後に 1 文字以上の半角英数字がある文字列 「.」が含まれていない場合は認識されません。
電話番号と認識される数字と記号	●0 から始まる 10 ～ 32 桁の半角数字 ●「tel:」「TEL:」（いずれも半角）で始まる 32 桁までの半角数字と「#」「＊」「ー」などの半角記号

■ 保存できるライトメールの件数

- 受信ライトメール：最大 200 件
- 送信ライトメール：最大 100 件
  （送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールの合計で 100 件まで）

最大件数を超えて受信すると

- 一番古い既読ライトメールから自動的に削除されます。削除したくないライトメールには保護設定をしてください。詳しくは『**活用編**』(PDF) の「**メール**」－「**ライトメール**」－「**ライトメールを保護する**／**保護を解除する**」を参照してください。

4 メール

1 回のメールごとに電話番号を通知／非通知にする

購入時は、電話番号を「通知する」になっています。

電話番号を通知しないとき

1 ライトメールを作成する。

2 メニューバーの「ツール」－「184送信」をクリックする。

ライトメールは送信されますが、電話番号は通知されません。

常に非通知にするときは

- 「発信者番号通知を設定する」(☞59 ページ)を参照してください。

電話番号を通知するとき

1 ライトメールを作成する。

2 メニューバーの「ツール」－「186送信」をクリックする。

未送信のライトメールを再送信する

相手が話し中などで送信できなかったライトメールは、未送信メールとして送信待フォルダに保存されています。
未送信メールを再送信するときは「メールを選択して送信する」、「一括送信する」のいずれかを選べます。

メールを選択して送信する

1 ツールバーのフォルダ切替ボタン（下図では［受信トレイ］）をクリックし、「送信トレイ」－「送信待フォルダ」をクリックする。

2 送信したいライトメールをクリックする。

3 メニューバーの「メニュー」－「送信」をクリックする。

一括送信する

送信待フォルダのライトメールを一括送信します。

1 ツールバーのフォルダ切替ボタンをクリックし、送信待フォルダをクリックする。

2 メニューバーの「メニュー」－「一括送信」をクリックする。

ライトメールを返信する

1 ツールバーのフォルダ切替ボタンをクリックし、受信トレイをクリックする。

2 返信したいライトメールをクリックする。

3 ツールバーの［返信］をクリックする。

メール作成画面が表示されます。

4 本文を入力する。
返信時に本文を引用するかどうかを設定することができます。(☞83ページ)

5 ツールバーの［送信］をクリックする。

宛先に、履歴や Windows アドレス帳を利用する

「ライトメール」の送受信履歴、電話の発着信履歴、「Windows アドレス帳」の連絡先を、ライトメールのあて先として利用できます。

ライトメールの送受信履歴を利用する

1 「ライトメール作成」画面を表示する。

2 ［宛先］をクリックし、「引用」－「ライトメール送信履歴」（または「ライトメール受信履歴」）の順にクリックする。
メニューバーの「ツール」－「引用」からも表示できます。

「履歴」画面が表示されます。

3 相手をクリックし、［ライトメール作成］をクリックする。
「ライトメール作成」画面に戻り、あて先が入力されます。

電話の発着信履歴を利用する

1 **「ライトメール作成」画面を表示する。**

2 **［宛先］をクリックし、「引用」－「電話発信履歴」（または「電話着信履歴」）の順にクリックする。**

メニューバーの「ツール」－「引用」からも表示できます。

「履歴」画面が表示されます。

3 **送信したい相手をクリックし、［ライトメール作成］をクリックする。**

「ライトメール作成」画面に戻り、あて先が入力されます。

Windows アドレス帳を利用する

1 **「ライトメール作成」画面を表示する。**

2 **［宛先］をクリックし、「引用」－「Windows アドレス帳」の順にクリックする。**

「Windows アドレス帳のファイル一覧」が起動します。

3 **相手の連絡先をダブルクリックする。**

「電話番号選択」画面が表示されます。

4 **電話番号を選択し、［OK］をクリックする。**

「ライトメール作成」画面に戻り、あて先が入力されます。

ライトメールを削除する

削除するときは、メールを選択して削除する、全件削除する、のいずれかを選べます。

メールを選択して削除する

1 **受信トレイ画面などで、削除したいメールを選択する。**

2 **メニューバーの「メニュー」－「削除」－「選択している項目を削除」をクリックする。**

確認画面が表示されます。

3 **［はい］をクリックする。**

選択したメールが削除されます。

全件削除する

1 **ツールバーのフォルダ切替ボタンをクリックし、メールを削除するフォルダをクリックする。**

2 **メニューバーの「メニュー」－「削除」－「全件削除」をクリックする。**

確認画面が表示されます。

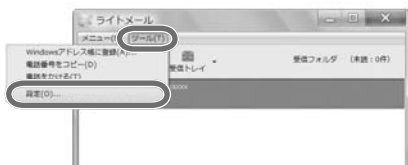
3 **［はい］をクリックする。**

再度、確認画面が表示されます。

4 **［はい］をクリックする。**

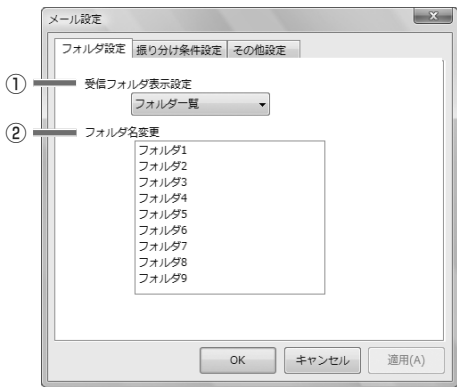
選択したフォルダ内にあるすべてのメールが削除されます。

ライトメールの設定について

1 **メニューバーの「ツール」－「設定」をクリックする。**

設定画面が表示されます。

2 **フォルダの設定などをする。**

■「フォルダ設定」タブ

フォルダの表示のしかたや受信トレイのフォルダ１～９の名前を変更します。

①	**受信フォルダ表示設定** フォルダ一覧　：フォルダリストに受信フォルダやフォルダ１～９が表示され、フォルダ単位でメールが表示される。 全受信メール　：フォルダリストに「全受信メール」と表示され、受信したメールがすべて表示される。
②	**フォルダ名変更** フォルダをクリックすると、フォルダ名変更画面が表示される。 ※ 送信トレイのフォルダ名は変更できません。

■「振り分け条件設定」タブ

受信したメールを電話番号ごとに別のフォルダに振り分けます。
詳しくは『**活用編**』（PDF）の「**メール**」－「**ライトメール**」－「**受信したライトメールを振り分ける**」を参照してください。

■「その他の設定」タブ

①	ライトメール送信時に送信の確認音を鳴らす／鳴らさないを設定する
②	受信フォルダや送信済フォルダに入っているメールを全件削除する リストからフォルダを選択し、［実行］をクリックする 初期化確認画面が表示されるので［はい］か［いいえ］のいずれかをクリックする
③	返信時にメール本文を引用する／引用しないを設定する

5章 インターネット

製品の状態と利用できる PHS 通信機能

この製品でインターネットに接続するには、「PHS 通信機能を使用する」、「ワイヤレス LAN を使用する」の 2 種類の方法があります。
PHS 通信機能を使用してインターネットを使うときは、W-SIM ユーザーとして Windows にログオンしてください。非 W-SIM ユーザーは、一部の通信機能を使用できません。

ご参考

- W-SIM ユーザーと非 W-SIM ユーザーについては、「**W-SIM ユーザーと Windows アカウントについて（非 W-SIM ユーザーの機能制限）**」（☞37 ページ）を参照してください。

■ W-SIM ユーザーの場合

	PHS 通信
電源「入」	○
スリープ／休止状態	×

■ 非 W-SIM ユーザーの場合

電源「入」の状態での PHS 通信のみ利用可能です。※

※ インターネット接続設定が必要です。（☞51 ページ）

インターネットを使う

インターネット接続の設定がまだの場合は設定をしてください。

PHS 通信機能を使って接続する

オンラインサインアップをして取得した情報を使う

オンラインサインアップがまだの場合は、『**はじめにお読みください**』（別冊）を参照してオンラインサインアップをしてください。

オンラインサインアップをすると、ウィルコムのサーバーから取得した情報をもとに、インターネットへの接続が自動的に設定され、ホームページの閲覧が可能になります。

加入しているプロバイダーの情報を使う

すでに加入しているプロバイダーを使用してインターネットに接続する場合は、「**加入しているプロバイダーの接続設定をする**」（☞51 ページ）を参照してください。

ワイヤレス LAN を使って接続する

アクセスポイントに接続するための設定などが必要です。

「**ワイヤレス LAN の接続設定をする**」（☞46 ページ）を参照してください。

ホームページを見る

ホームページを見る

1 **「Windows Internet Explorer」を起動する。**
（スタート）をクリックし、「インターネット」をクリックします。
「ダイヤルアップ接続」の画面が表示されます。
ダイヤルアップ接続する場合は[接続]をクリックします。

2 **アドレス欄にホームページのアドレス（URL）を入力する。**

3 **【 ⏎ 】キーを押す。**
ホームページが表示されます。

4 **閲覧後は、ネットワークを切断する。**
タスクバーの を右クリックし、「切断」－「XXXXX（接続名）」の順にクリックします。
「ダイヤルアップ接続」した場合はホームページを終了した後、「自動切断」の画面が表示されます。
切断する場合は[今すぐ切断する]をクリックします。

ご参考

- 通話中はPHS通信機能を使ってホームページを見ることはできません。同様に、PHS通信機能でホームページを見ているときは、電話の発信／着信やライトメールの送信／受信はできません。

ネットワークを切断する

必要のないときは、必ずネットワークを切断してください。

1 **タスクバーの を右クリックし、「切断」－「XXXXX（接続名）」の順にクリックする。**

6章　ワンセグ

ワンセグを見る

「StationMobile5」を使ってワンセグ放送を視聴または録画できます。
『**StationMobile 取扱説明書**』および『**活用編**』（PDF）もあわせて参照してください。

『StationMobile 取扱説明書』を表示するには

- （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「StationMobile5」－「StationMobile取扱説明書」の順にクリックします。

■ ワンセグ放送とは

2006 年 4 月から開始された、携帯電話やノートパソコン、カーナビなどの移動体端末向けの地上デジタル放送サービスです。ワンセグ放送が受信可能な地域については、（社）デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（**http://www.dpa.or.jp/**）でご確認ください。

ご参考

- ワンセグ放送が受信可能な地域であっても、以下のような場所では電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり、視聴できない場合があります。
  - ・放送局から遠い地域または極端に近い地域、山間部やビルの陰
  - ・移動中の電車や車の中、地下街、トンネル、建物の中など
  - ・高圧線、ネオンサイン、無線局、線路、高速道路の近くなど
  - ・その他、妨害電波が多かったり、地形や建物、壁などで電波が遮断されたりする場所
- 視聴中に、他のアプリケーションソフトを使用すると、コマ落ちすることがあります。
- 電話中や PHS 通信機能での通信中は、ワンセグ放送の音声が出ません。
- Bluetooth 対応ヘッドセット／ヘッドホンを接続中は、ワンセグ放送の音声が出ません。
- 外部ディスプレイを接続し、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイを同時に利用中は、ワンセグ放送を視聴できません。

■ 問い合わせ先

「StationMobile5」については、下記にお問い合わせください。

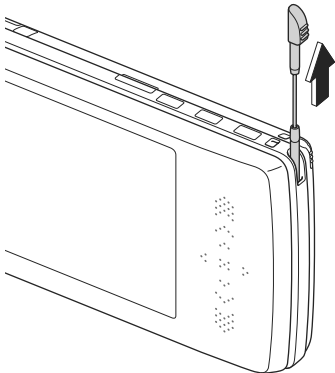
株式会社ピクセラ
ピクセラユーザーサポートセンター
ナビダイヤル　：0570-02-3500
電話番号　　　：06-6633-2990
（ナビダイヤルをご利用できない場合）
10:00 ～ 18:00
（年末年始、祝日を除く）

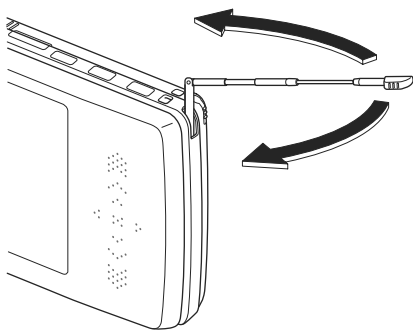
ワンセグを見るための準備

ワンセグを快適に視聴するには

- ACアダプターを接続することをお勧めします。

アンテナについて

- アンテナは、まっすぐに引き出します。

収納するときは、アンテナの下の方を持ってください。先端を押し込むと破損の原因になります。

- アンテナは360°回転します。受信してみて、感度の良い方向に向けてお使いください。

チャンネルを設定する

1 アンテナを引き出す。

2 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「ワンセグ」の順にクリックする。

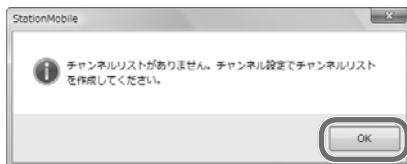
「使用許諾」画面が表示されます。

ご参考

- 「使用許諾」画面は、「StationMobile5」を起動するたびに表示されます。「次回以降表示しない」にチェックマークを付けて［承諾する］をクリックすると、次回起動時から「使用許諾」画面は表示されません。

3 内容を確認し、同意する場合は［承諾する］をクリックする。

「チャンネルリストがありません。チャンネル設定でチャンネルリストを作成してください。」と表示されます。

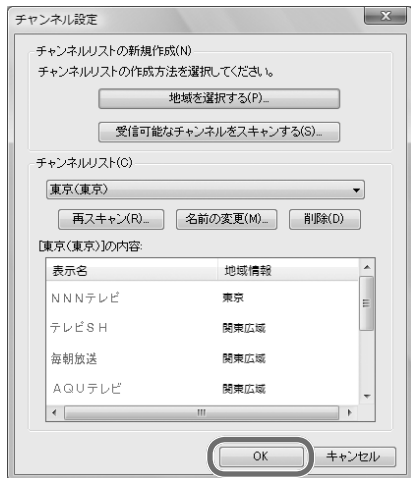
4 ［OK］をクリックする。

「チャンネル設定」画面が表示されます。

5 ［地域を選択する］をクリックする。

「地域選択」画面が表示されます。

6 視聴する地方、地域をクリックし、［OK］をクリックする。

チャンネルリストが表示されます。

7 ［OK］をクリックする。

ご参考

- ご利用の地域によっては、「地域選択」画面からチャンネル設定しても番組が受信できないことがあります。そのような場合は、「チャンネル設定」画面の［受信可能なチャンネルをスキャンする］をクリックしてチャンネルリストを作成してください。「チャンネル設定」画面は、画面左下の （メニュー）をクリックし、「設定」－「チャンネル設定」をクリックすると表示されます。
- 外出先で使用するときなど、視聴する地域が変わるとチャンネルの再設定が必要な場合があります。
- チャンネルリストは最大５つまで作成できます。

ワンセグ放送を見る

1 アンテナを引き出す。

2 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「D4 アプリケーション」－「ワンセグ」の順にクリックする。

「StationMobile5」が起動します。

3 「ワンセグ」タブの または をクリックしてチャンネルを切り替える。

ご参考

- 地形や建物などによって電波がさえぎられる場所やトンネル・地下・建物の中など電波の届かない場所では番組が受信できません。アンテナの向きを変えたり、受信できる場所へ移動したりして視聴してください。

「StationMobile5」を終了する

- **画面右上の をクリックする。**
  「StationMobile5」は「タスクトレイモード」になり、タスクバーに が表示されます。
- **タスクトレイモードのときにタスクバーの を右クリックし、「終了」をクリックする。**
  「StationMobile5」が完全に終了します。
  なお、予約録画があるときに「StationMobile5」を完全に終了してしまうと、予約録画は実行されません。

ワンセグ放送を録画する

ご参考

- microSD カードには録画できません。
- 録画番組は、この製品でのみ再生できます。

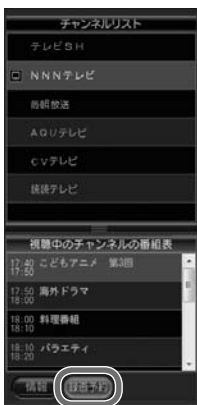
見ている番組を録画する

1 視聴中に、「ワンセグ」タブの を クリックする。

録画が始まります。
停止するには、 をクリックします。

番組表から録画予約する

1 「視聴中のチャンネルの番組表」から、録画する番組をクリックする。

2 ［録画予約］をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックする。

ご参考

- 「視聴中のチャンネルの番組表」が表示されていない場合は、「ワンセグ」タブの ▦（チャンネルリスト／番組表）をクリックします。

チャンネルや録画日時を設定して録画予約する

1 「予約」タブをクリックする。

「予約リスト」が表示されます。

2 「予約リスト」の下にある［新規］をクリックする。

「予約設定」画面が表示されます。

3 チャンネルや録画日時を設定し、［この内容で予約］をクリックする。

4 ☒ をクリックする。

「StationMobile5」は、タスクトレイモードになります。

録画した番組を見る

1 「再生」タブをクリックする。

2 「録画番組リスト」で再生する番組名をクリックし、［再生］をクリックする。

再生が始まります。

停止するには、● をクリックします。

7章　映像と音楽

内蔵カメラを使う

内蔵カメラを使って静止画（写真）や動画（ビデオ）を撮影できます。

カメラを使用する前に

■ 撮影画像サイズ・保存形式・保存先について

モード	撮影画像サイズ	保存形式	保存先
静止画モード	320 × 240 640 × 480 800 × 600 1280 × 960 1600 × 1200	JPEG または BMP	「ピクチャ」フォルダ または microSD カード
ビデオモード	320 × 240 （低レート：約 7 ～ 15fps 高レート：約 9 ～ 30fps） 640 × 480 （約 8 ～ 30fps） 800 × 600 （約 5 ～ 20fps）	WMV または AVI	「ビデオ」フォルダ または microSD カード

ご参考

- 保存場所に「DCIM」フォルダが作成され、その中に画像ファイルが保存されます。
- 「カメラ」起動中、画面は横表示固定です。画面回転ボタンを押しても、縦表示には切り替わりません。
- 電源プランは、「バランス」または「高パフォーマンス」でのご使用をお勧めします。

■ 撮影距離について

このカメラの撮影距離は、約 10cm ～∞（無限遠）です。

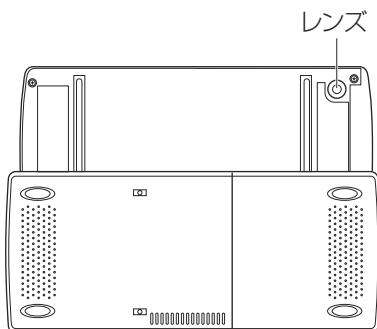
■ シャッター音（撮影音）について

写真の撮影時およびビデオの撮影開始・停止時には、システム音量に関係なく必ずシャッター音（撮影音）が鳴ります。

ご注意！

- カメラで太陽などの光源を直接見ないでください。眼を傷める原因になります。

カメラ使用時のご注意

- カメラのレンズは、柔らかい布などできれいにしてください。指紋や油脂などでレンズが汚れていると、ピントが合いにくくなります。

- 手ぶれしないように、本体を両手でしっかり持って撮影してください。
- 温かい場所にこの製品を長時間放置した後で、撮影したり、画像を保存したりすると、画質が劣化することがあります。
- カメラレンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色し、画像が変色することがあります。

静止画（写真）を撮影する

1 インプットスタイルに切り替える。
(「3Way スタイルでの使い方」☞ 31 ページ)

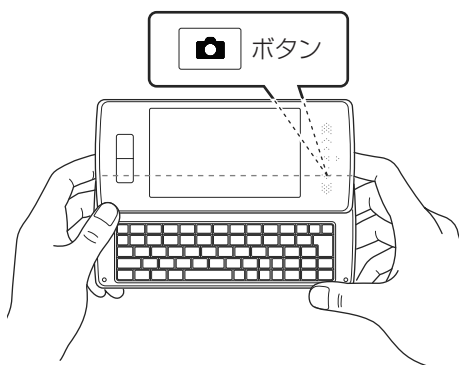
2 「カメラ」を起動する。
シャッターボタンを押し、表示された画面で[はい]をクリックします。

ご参考

•「カメラ」は、(スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」—「D4 アプリケーション」—「カメラ」の順にクリックしても起動できます。

3 モードボタンをクリックして「静止画モード」を選ぶ。

クリックするたびに、静止画モード→ビデオモード→名刺リーダー→静止画モード ... の順に切り替わります。

4 被写体にレンズを向け、シャッターボタンを押す。

[撮影]をクリックしても撮影できます。

静止画モードの設定を変更する

①	撮影シーン、保存する向き、2 倍ズーム、明るさのアイコンをクリックすると、設定が変更できる
②	設定画面（☞ 次ページ）に切り替わる
③	現在の設定内容を表示

■ 設定画面

項目	説明
① 保存先	：内蔵ハードディスクまたは挿入時の microSD カードを指定できる
② 撮影画像サイズ	：☞92 ページ
③ 保存フォーマット	：☞92 ページ（保存形式）
④ 撮影画質	：高画質／標準画質／低画質 保存フォーマットを「JPEG」にしているときのみ選択できる
⑤ 保存向き	：横長／縦長
⑥ 撮影方法	：「標準」のほかに、セルフタイマー（5 秒）または連写（5 枚）を選択できる ※保存フォーマット、保存先によっては時間がかかることがあります。
⑦ 初期値	：すべての設定を初期値に戻します。
⑧ 撮影シーン	：標準／風景／人物／パーティ／夜景
⑨ ホワイトバランス	：撮影時の光源
⑩ 2 倍ズーム	
⑪ プレビュー拡大	：撮影画像サイズが 320 × 240 の画像をプレビューするときは 640 × 480 に拡大して表示する
⑫ バージョン情報	
⑬ カメラ明るさ	
⑭ コントラスト	
⑮ 彩度	
⑯ シャープネス	：鮮明度
⑰ アンチフリッカー	：ちらつきを低減

動画（ビデオ）を撮影する

音声も記録するときは、イヤホンマイクジャックに付属のヘッドセットを接続します。（☞54 ページ）

1 **インプットスタイルに切り替える。**
（「3Way スタイルでの使い方」☞31 ページ）

2 **「カメラ」を起動する。**
シャッターボタンを押し、表示された画面で[はい]をクリックします。

ご参考

- 「カメラ」は、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」―「D4 アプリケーション」―「カメラ」の順にクリックしても起動できます。

3 **モードボタンをクリックして「ビデオモード」を選ぶ。**

クリックするたびに、静止画モード→ビデオモード→名刺リーダ→静止画モード ... の順に切り替わります。

4 被写体にレンズを向け、シャッターボタンを押す。

[撮影]をクリックしても、録画が始まります。

5 停止するときは、再度シャッターボタンを押す。

[停止]をクリックしても、録画が停止します。
ビデオの保存には、数分かかることがあります。

ビデオモードの設定を変更する

①	撮影シーン、2 倍ズーム、明るさのアイコンをクリックすると、設定が変更できる
②	設定画面（☞ 右記）に切り替わる
③	現在の設定内容を表示

■ 設定画面

① 保存先	:	内蔵ハードディスクまたは挿入時の microSD カードを指定できる
② 撮影画像サイズ	:	☞92 ページ
③ 保存フォーマット	:	☞92 ページ（保存形式）
④ 撮影画質	:	高画質／標準画質／低画質 保存フォーマットを「WMV」にしているときのみ選択できる
⑤ 録画時間制限	:	「制限なし」を選択すると、内蔵ハードディスクの空き容量が 1GB になるまで録画する
⑥ オーディオ録音設定	:	「自動」を選択すると、外部マイクの有無を自動判別して音声／無音録画する
⑦ 初期値	:	すべての設定を初期値に戻します。
⑧ 撮影シーン	:	標準／風景／人物／パーティ／夜景
⑨ ホワイトバランス	:	撮影時の光源
⑩ 2 倍ズーム		
⑪ プレビュー拡大	:	撮影画像サイズが 320 × 240 の画像をプレビューするときは 640 × 480 に拡大して表示する
⑫ バージョン情報		
⑬ カメラ明るさ		
⑭ コントラスト		
⑮ 彩度		
⑯ シャープネス	:	鮮明度
⑰ アンチフリッカー	:	ちらつきを低減

撮影した写真／ビデオを見る

1 静止画モードまたはビデオモードにする。

2 ［画像一覧］をクリックする。

保存場所に設定されているフォルダの内容が表示されます。

3 見たい写真やビデオをダブルクリックする。

写真やビデオが再生されます。

ビデオを見るとき

- この製品の使用状況によっては、ビデオの再生時の画像がコマ落ちすることがあります。

名刺リーダを使う

内蔵カメラを利用して、名刺の内容（名前、住所、電話番号など）を「Windows アドレス帳」に登録できます。

1 インプットスタイルに切り替える。
（「3Way スタイルでの使い方」☞ 31 ページ）

2 「カメラ」を起動する。
シャッターボタンを押し、表示された画面で[はい]をクリックします。

ご参考

- 「名刺リーダ」は、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」―「D4 アプリケーション」―「名刺リーダ」の順にクリックしても起動できます。

3 モードボタンをクリックして「名刺リーダ」を選ぶ。

クリックするたびに、静止画モード→ビデオモード→名刺リーダ→静止画モード ... の順に切り替わります。

4 画面の枠内に納まるように名刺を表示する。
名刺が傾いていたりすると、認識精度が悪くなります。

縦名刺のときは

- 縦名刺を横向きに置いて認識させてください。縦向きに置いて認識させると認識精度が悪くなります。

5 シャッターボタンを押す。
「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

画面左端の「部署名」「姓」などは、「Windows アドレス帳」の項目に対応しています。（☞ 次ページの表）
名前と電話番号、Eメール、携帯、PHS の項目は、文字の背景が黄色で表示されます。

6 ［アドレス帳に登録］をクリックする。

「Windows アドレス帳に登録しました」と画面に表示されます。
また、「ピクチャ」フォルダに「名刺」フォルダが作成され、その中に名刺画像が保存されます。

7 [OK]をクリックする。

「Windows アドレス帳」の「プロパティ」画面に登録結果が表示されます。

8 必要に応じて内容を修正し、[OK]をクリックする。

複数の名刺を読み取るときは、手順 4 〜 7 を繰り返します。

認識できない名刺・認識精度の低い名刺

- **認識できない名刺**
  - 黒地に白文字や、濃い色の背景に薄い色の文字の名刺
  - 手書き風のフォントを使った名刺
  - 背景に模様が付いている名刺
  - 縦書き・横書きが混在している名刺
- **認識精度の低い名刺**
  - 文字の色が薄く、全体のコントラストが低い名刺
  - 非常に小さい文字や斜体の文字がある名刺
  - 社名などにロゴやロゴ風のフォントを使った名刺
  - 光沢のある紙質の名刺、光沢加工されている名刺
  - 汚れたり、折れたりしている名刺

※英文名刺の住所は、郵便番号・都道府県・市区町村・番地などに区切られず、すべて「住所」として認識され、「Windows アドレス帳」には「勤務先」タブの番地に登録されます。

■ 認識結果の略号と「Windows アドレス帳」の項目

表示項目	アドレス帳の項目
URL※1	「勤務先」タブの Web サイト
E メール※2	「名前と電子メール」タブの電子メール
電話番号※3	「勤務先」タブの電話番号
携帯電話	「自宅」タブの携帯電話または電話番号、ファックスに 1 つずつ入り、他は「メモ」に入ります。
PHS	「自宅」タブの携帯電話または電話番号、ファックスに 1 つずつ入り、他は「メモ」に入ります。
FAX※4	「勤務先」タブのファックス
姓	「名前と電子メール」タブの姓(ふりがな※5)、名、表示名※6
名	
郵便番号※7	「勤務先」タブの郵便番号
都道府県※7	「勤務先」タブの都道府県
市区町村※7	「勤務先」タブの市区町村
番地※8	「勤務先」タブの番地
住所	英字名刺認識時には住所はすべて「住所」として認識されます。
会社名※9	「勤務先」タブの会社名
部署名※9	「勤務先」タブの部署名
役職※9	「勤務先」タブの役職
メモ※9	「メモ」タブ

※1 複数ある場合は、「勤務先」タブ、「自宅」タブに 1 つずつ入り、他は「メモ」タブに入ります。
※2 複数ある場合は、最初に認識したアドレスが「優先的に使用する電子メール」に設定されます。
※3 「勤務先」タブの電話番号またはファックス、ポケットベルに 1 つずつ入り、他は「メモ」タブに入ります。
※4 「電話番号」の項目より優先して「勤務先」タブのファックスに入ります。他は「メモ」タブに入ります。
※5 漢字から推測して自動的に入力されるため、正しくない場合があります。
※6 姓名が半角スペース区切りで入ります。
※7 複数ある場合は、認識された 1 つめが設定され、他は「メモ」に入ります。
※8 複数ある場合は、認識された 1 つめと 2 つめが「番地」に設定され、他は「メモ」に入ります。
※9 複数ある場合は、対応する項目に半角スペース区切りで入ります。

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player）

「Windows Media Player」の操作方法について概要を説明します。
「Windows Media Player」のヘルプおよび『**活用編**』（PDF）―「**映像と音楽**」―「**音楽を楽しむ**」もあわせて参照してください。

「Windows Media Player」を初めて起動したときは、セットアップ（初期設定）が必要です。

「Windows Media Player」の起動とヘルプの表示

1 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」―「Windows Media Player」の順にクリックする。
「Windows Media Player」が起動します。

2 【Fn】+【1】キーを押す。
「Windows ヘルプとサポート」画面にヘルプが表示されます。

音楽や映像を再生する

ここでは一例として、ライブラリの音楽の再生方法について説明します。

1 「Windows Media Player」を起動する。

2 「ライブラリ」タブをクリックし、「音楽」をクリックする。

3 ジャンルなどをクリックし、再生したい曲をダブルクリックする。
再生が始まります。

4 停止するときは、 をクリックする。

ご参考

- この製品に取り込んだ音楽や映像が「ライブラリ」にないときは、取り込んだ音楽（または映像）ファイルをダブルクリックすると再生します。

8章 設定

使用環境を設定する

壁紙を設定する

1 （スタート）をクリックし、「コントロールパネル」をクリックする。

2 「デスクトップのカスタマイズ」の「デスクトップの背景の変更」をクリックする。

3 壁紙を選択し、[OK] をクリックする。

他人が使えないようにロックする

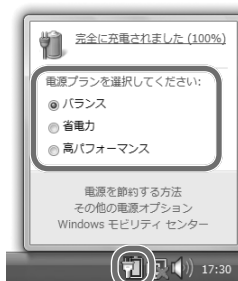
1 （スタート）をクリックし、（ロック）をクリックする。

ロックされ、Windows にログオンできなくなります。

解除するときは

パスワードを入力し、【⏎】キーを押します。

パワーマネージメントを設定する

1 タスクバーの または をクリックし、電源プランを選択する。

「その他の電源オプション」をクリックし、「電源オプション」画面で「プラン設定の変更」をクリックすると、より細かなパワーマネージメントの設定ができます。

音量を設定する

1 タスクバーの をクリックして表示された画面で、音量つまみをクリックしたまま上下に動かす。

ご参考

- 電話機能の音量設定については『**活用編**』(PDF) の「**電話**」－「**電話の各種設定をする**」を参照してください。

9章　別売品について

バッテリーパックの初期化と交換

バッテリー残量表示と実際の使用時間の差が大きくなったときや、新しいバッテリーパックと交換したときは、バッテリーパックを初期化してください。
バッテリーパックは消耗品ですので、初期化しても使用時間が短いままの場合、劣化しています。新しいバッテリーパックと交換してください。

ご参考

- 充放電を繰り返すうちにバッテリーは劣化し、使用時間が極端に短くなります（常温で約 300 回が目安です）。バッテリーの劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。

■ バッテリー残量を確認するには

タスクバーの 🔌 または 🔋 をポイントする。
バッテリー残量がパーセントで表示されます。

■ 新しいバッテリーパックを購入されるときは

ウィルコムストア（オンライン販売）でご購入いただけます。（在庫につきましては、ウィルコムストアにてご確認ください。）なお取り寄せになりますが、ウィルコム販売店でもご購入いただけます。

バッテリーパックを初期化する

1 【Fn】＋【J】（▲☼）キーを押して画面の明るさを最大にする。

2 シャットダウンで電源を切る。（「電源を切る（シャットダウン）」☞34ページ）

3 AC アダプターを接続し、満充電になるまで充電する。
➔ ランプが黄緑色に点灯します。

4 電源を入れる。

5 「<F2> to enter System Configuration Utility.」と表示されたら、すぐに【Fn】＋【2】キーを押す。
セットアップユーティリティ画面が表示されるまで数回押します。

6 AC アダプターを外し、バッテリー残量が完全になくなって電源が切れるまで放置する。
満充電の状態から完全になくなるまでに約 1 時間かかります。

7 AC アダプターを接続し、満充電になるまで充電する。
約 3 時間かかります。
➔ ランプが黄緑色に点灯するまで、電源を入れないでください。

ご参考

- バッテリーパックの初期化中は、電話／メール／通信など PHS を使ったサービスをはじめ、この製品は使用できません。

バッテリーパックを交換する

初期化しても使用時間が短いままのときは、新しい標準バッテリーパック（別売：CE-BL57）と交換します。

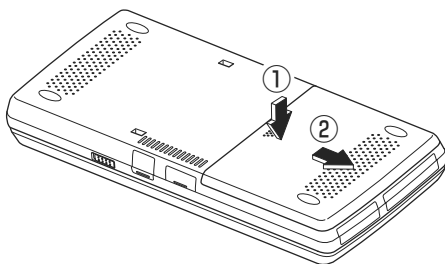
1 **この製品の電源を「シャットダウン」（☞35 ページ）で切り、AC アダプターを取り外す。**

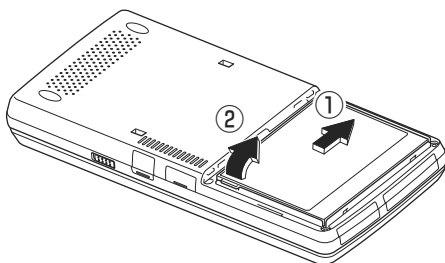
2 **この製品を裏返す。**

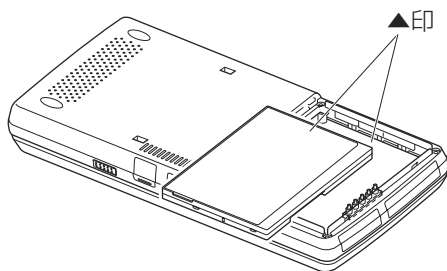
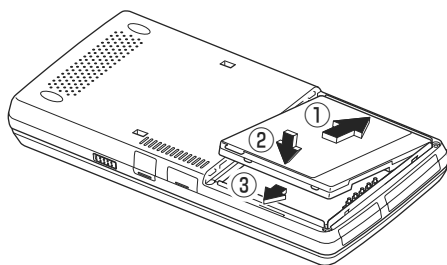
裏返して机の上などに置くときは

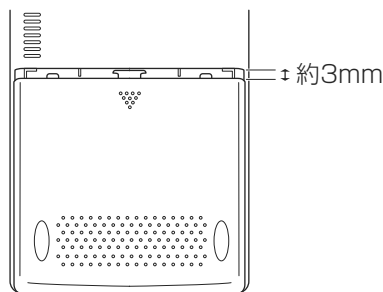
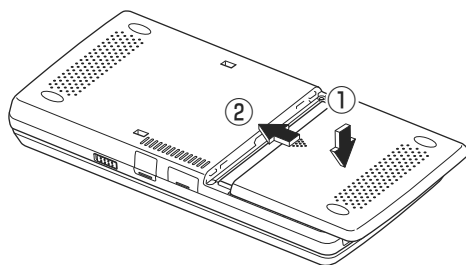
- ディスプレイが傷つかないように、柔らかい布などを敷いてください。

3 **バッテリーパックのカバーを取り外す。**

矢印の方向に押したまま(①)、スライドします(②)。

4 **バッテリーパックを取り外す。**

矢印の方向に押したまま(①)、取り外します(②)。

5 **新しい標準バッテリーパックを取り付ける。**

バッテリーパックと本体の▲印を合わせて差し込みます。

矢印の方向に押したまま(①)、はめ込みます(②、③)。

6 **バッテリーパックのカバーを取り付ける。**

バッテリーパックのカバーを、図の位置に置きます。

そのままスライドして取り付けます（①、②）。

7 **この製品を表に返す。**

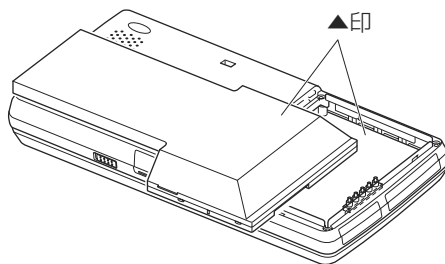
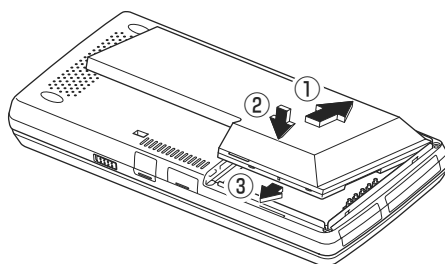
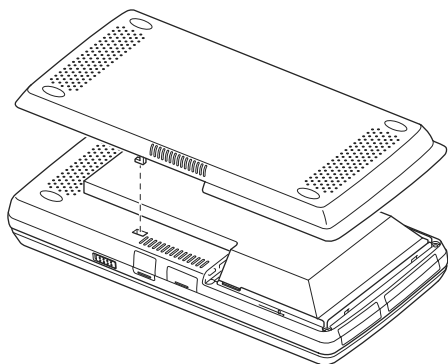
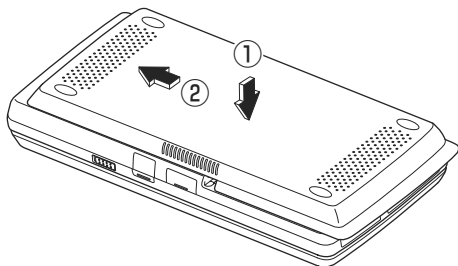
大容量バッテリーパックに交換する

モバイルで長時間使用するときは、大容量バッテリーパック（別売：CE-BL58）に交換します。

1 **標準バッテリーパックを取り外す。**

「**バッテリーパックを交換する**」（☞ 前ページ）の手順 **1** ～ **4** と同じ操作をします。

2 **大容量バッテリーパックを取り付ける。**

バッテリーパックと本体の▲印を合わせて差し込みます。

矢印の方向に押したまま（①）、はめ込みます（②、③）。

3 **大容量バッテリーパックの専用カバーを取り付ける。**
バッテリーパックのカバーを、図の位置に置きます。

そのままスライドして取り付けます(①、②)。

4 **この製品を表に返す。**

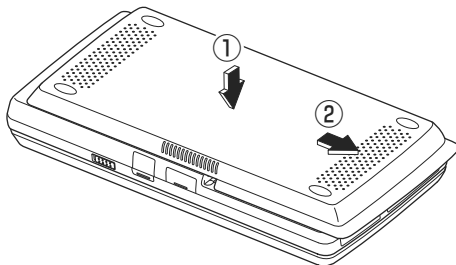
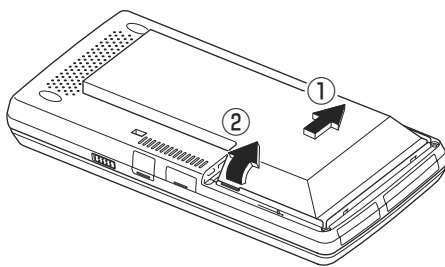
大容量バッテリーパックを取り外す

1 **この製品の電源を「シャットダウン」(☞35 ページ)で切り、AC アダプターを取り外す。**

2 **この製品を裏返す。**

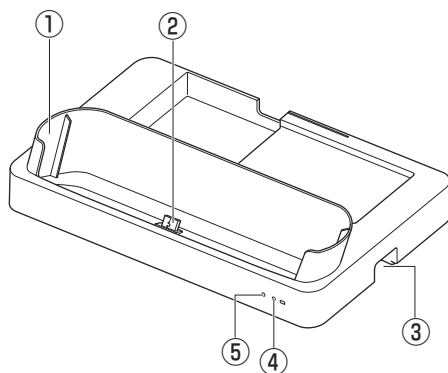
裏返して机の上などに置くときは

- ディスプレイが傷つかないように、柔らかい布などを敷いてください。

3 **大容量バッテリーパックの専用カバーを取り外す。**
矢印の方向に押したまま(①)、スライドします(②)。

4 **大容量バッテリーパックを取り外す。**
矢印の方向に押したまま(①)、取り外します(②)。

クレードルについて

クレードル（別売：CE-CR04）を使うことで、USB 機器、外部ディスプレイ、LAN、ヘッドホンなどを使用できるようになります。
また、クレードルにこの製品やバッテリーパックをセットして充電することができます。
クレードルには、AC アダプターは付属していません。この製品に付属の AC アダプター（EA-UM1V）をご使用ください。

各部のなまえとはたらき

前面／右側面

① **スタンド**
この製品を装着します。

② **拡張端子用コネクター**
この製品の拡張端子と接続します。

③ **USB 端子**
USB ケーブル（市販品：標準プラグ A タイプ）や USB メモリーを接続します。

④ **(バッテリー状態)**

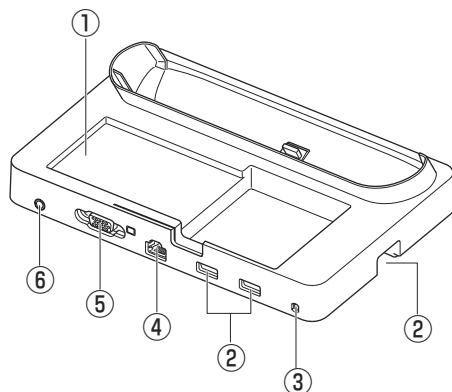
黄緑点灯	満充電
オレンジ点灯	充電中
オレンジ点滅	充電が正常に終了しなかった
消灯	充電休止中またはバッテリーパックが装着されていないとき、AC アダプターが接続されていないとき

ランプについて

- クレードルのバッテリースロットに装着したバッテリーパックの状態を表示します。
- ランプがオレンジ色に点滅しているときは、バッテリーパックが正しく装着されていない可能性があります。いったん AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、バッテリーパックを装着し直してから、再度 AC アダプターを接続してください。
- 充電しながら使用すると、電力消費が大きくなった場合に ランプが消えることがありますが故障ではありません。また、充電中にバッテリーパックの温度が上がりすぎた場合にも、安全のため充電が一時中止されて ランプが消えますが、バッテリーパックの温度が下がれば充電は再開されます。

⑤ **電源ランプ**

黄緑点灯	AC アダプターが接続されているとき
消灯	AC アダプターが接続されていないとき

後面／左側面

① **バッテリースロット**
標準バッテリーパックまたは大容量バッテリーパックを装着します。

② **USB 端子**

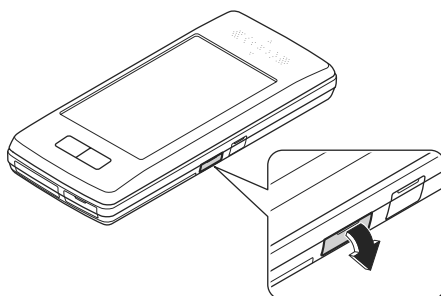
③ **AC アダプタージャック**

④ **LAN 端子**
LAN ケーブル（市販品）を接続します。

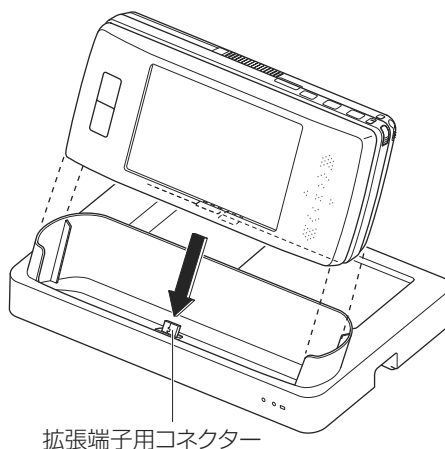
⑤ **ディスプレイ端子**
外部ディスプレイ（アナログ）やプロジェクターを接続します。

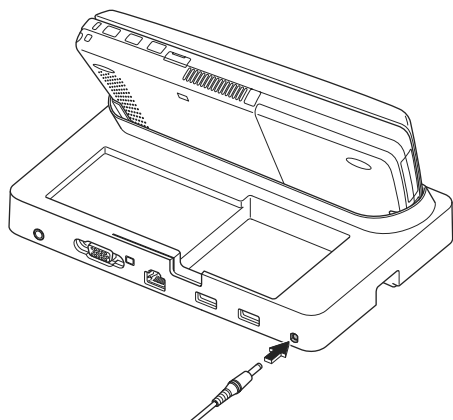
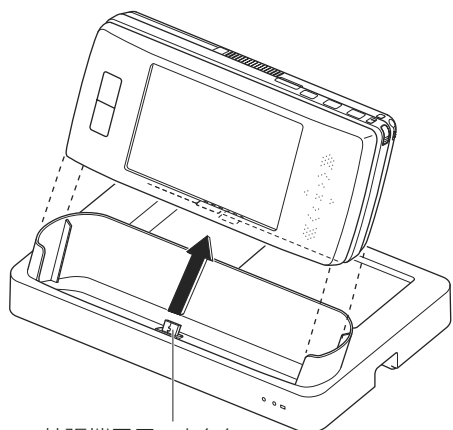
⑥ **ヘッドホン／音声出力端子**
ヘッドホン、オーディオ機器の音声入力（アナログ）端子、アンプ付きスピーカーなどと接続します。

接続のしかた

1 この製品の拡張端子のカバーを取り外す。

2 この製品をスタンドに装着する。
拡張端子用コネクターと拡張端子が接続されるように装着します。

ご注意

- 角度を調整しながら、ゆっくり装着してください。拡張端子用コネクターに強い力が加わると、変形・破損の原因になります。

3 クレードルの各端子に、ケーブルなどを接続する。

4 クレードルに AC アダプターを接続する。

取り外し方

ご注意

- ゆっくり取り外してください。拡張端子用コネクターに強い力が加わると、変形・破損の原因になります。

充電のしかた

この製品に取り付けたバッテリーパックと、バッテリーパック単体（大容量タイプまたは標準タイプ）の両方を充電することができます。

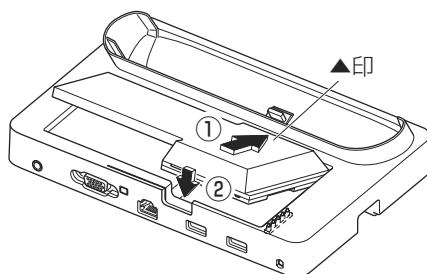
本体とバッテリーパックの両方を装着したときは

- この製品に取り付けたバッテリーパックが先に充電され、満充電になった後、バッテリースロットに装着したバッテリーパックが充電されます。

この製品に取り付けたバッテリーパックを充電する

この製品をクレードルに装着します。
詳しくは、「**接続のしかた**」（☞ 前ページ）を参照してください。
この製品に取り付けたバッテリーパックの充電状態は、この製品の ➔▭ ランプ（☞26 ページ）で確認してください。

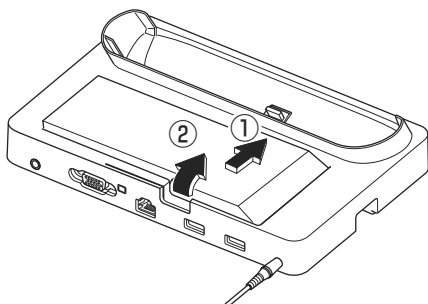
大容量バッテリーパックを充電する

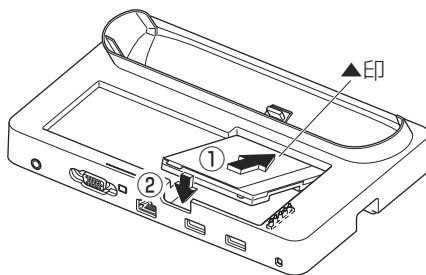
1 **大容量バッテリーパックをクレードルに装着する。**

矢印の方向に押したまま(①)、しっかりとはめ込みます(②)。

2 クレードルに AC アダプターを接続する。

クレードルの →▭ ランプがオレンジ色に点灯して充電が始まります。

3 クレードルの →▭ ランプが黄緑点灯になったら、クレードルからバッテリーパックを取り外す。

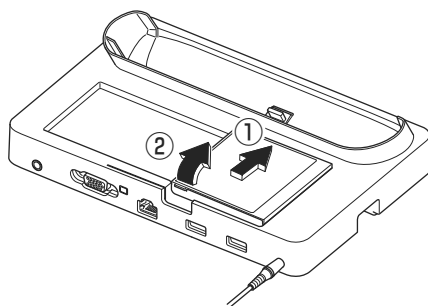
矢印の方向に押したまま(①)、取り外します(②)。

標準バッテリーパックを充電する

1 標準バッテリーパックをクレードルに装着する。

矢印の方向に押したまま(①)、しっかりとはめ込みます(②)。

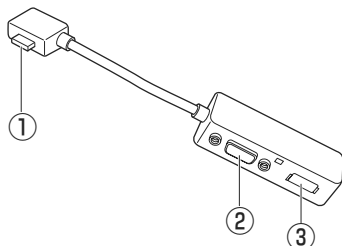
2 クレードルに AC アダプターを接続する。

クレードルの →▭ ランプがオレンジ色に点灯して充電が始まります。

3 クレードルの →▭ ランプが黄緑点灯になったら、クレードルからバッテリーパックを取り外す。

矢印の方向に押したまま(①)、取り外します(②)。

RGB/USB ケーブルについて

RGB/USB ケーブル（別売：CE-UD01）を使うことで、USB 機器や外部ディスプレイを使用できるようになります。
標準サイズ（A タイプ）の USB ケーブルや D-sub15 ピンケーブルが接続できます。

各部のなまえとはたらき

① **拡張端子用コネクター**
この製品の拡張端子と接続します。

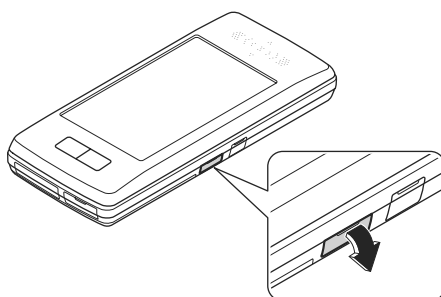
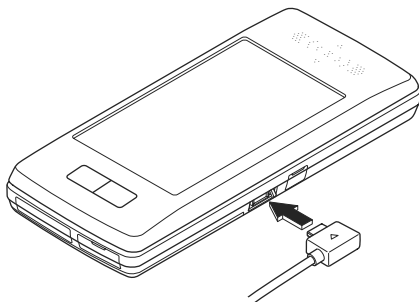
② **ディスプレイ端子**
外部ディスプレイ（アナログ RGB）やプロジェクターを接続します。

③ **USB 端子**
USB ケーブル（市販品：標準プラグ A タイプ）や USB メモリーを接続します。

ご注意

- USB 端子に外付けハードディスクドライブなどの消費電力の大きい機器を接続するときは、この製品に AC アダプターを接続してください。消費電力が大きくなると、この製品の電源が強制的に切れることがあります。

接続のしかた

1 この製品の拡張端子のカバーを取り外す。

2 拡張端子に RGB/USB ケーブルを接続する。

3 ディスプレイ端子や USB 端子に、ケーブルなどを接続する。

■ 画面の表示先を外部ディスプレイに切り替えるには

【Fn】＋【G】（ 🖵 ）キーを押します。

9 別売品について

W-SIM の取り付け／取り外し

W-SIM の箱に入っている説明書は大切に保管してください

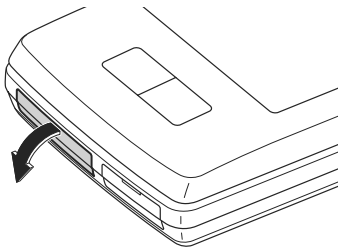
- 他人が使用できないように、W-SIM は「PIN コード」「PUK コード」という 2 種類の暗証番号で保護されます。

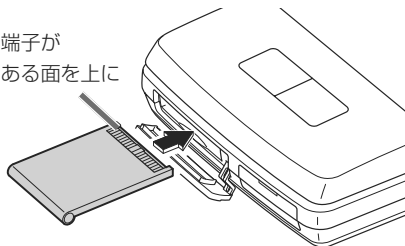
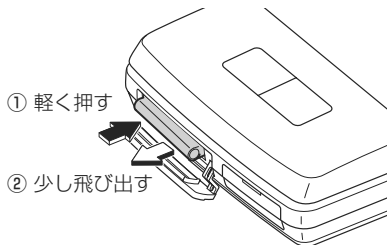
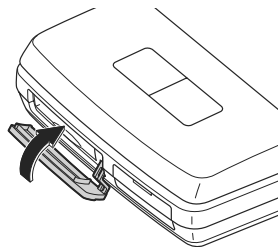
  PIN コード ：4 ～ 16 桁の任意の数字
  PUK コード：W-SIM の箱に入っている説明書に記載

  セキュリティ上、重要なものですので、説明書を大切に保管すると共に、上記のコードは控えを取るようにしてください。

1 シャットダウンでこの製品の電源を切る。（☞35 ページ）

2 microSD カードや USB ケーブルを取り付けているときは、すべて取り外す。

3 左側面のカバーを開ける。

4 W-SIM を取り付ける／取り外す。

- **取り付けるとき**
  端子側から差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- **取り外すとき**
  W-SIM の端を「カチッ」と音がするまで押し込み、両端を持ってゆっくりと引き出します。

5 カバーを閉じる。

ご注意！

- W-SIM の端子に指などが触れないようにしてください。
- W-SIM は奥まで押し込み、カバーは閉じてください。しっかりと取り付けていないと、正常に動作しないことがあります。

10章 付録

主な付属ソフトウェア一覧とお問い合わせ先

ソフト名	概　要	問い合わせ先
Adobe Reader 8	PDF ファイルを表示・印刷できます。	**シャープ株式会社** 「お客様相談センター」 詳細は※1 をご覧ください。
AQUATIC	プログラムなどをワンタッチですばやく起動できます。	
D4 Status Monitor	メールの未読件数や電話の不在着信件数、通信状況などがわかります。	
Microsoft Office Excel 2007	データの集計・分析からグラフ作成まで幅広くこなします。	**マイクロソフト株式会社** 詳細は※2 をご覧ください。
Microsoft Office Outlook 2007	メール、予定表、連絡先などの情報を一元管理できます。	
Microsoft Office PowerPoint 2007	視覚効果を活かしたプレゼンテーション資料を作成できます。	
Microsoft Office Word 2007	イラストや表の入った多彩な文書を作成できます。	
NAVITIME	目的地までの電車・飛行機・車・徒歩のルート案内をします。	**株式会社ナビタイムジャパン** **ナビタイムサポート** 電話番号：03-3526-0712 10:00 ～ 18:00 （土日祝、指定休日は除く） E-mail: willcom@navitime.co.jp
StationMobile5	ワンセグ放送を視聴・録画できます。	**株式会社ピクセラ** **ピクセラユーザーサポートセンター** 電話番号： 0570-02-3500（ナビダイヤル） 06-6633-2990 （ナビダイヤルを利用できない場合） 10:00 ～ 18:00 （年末年始、祝日除く）
Windows Internet Explorer	タブを切り替えながら、ホームページを見ることができます。	**シャープ株式会社** 「お客様相談センター」 詳細は※1 をご覧ください。
Windows Media Player	音楽や動画の再生などができます。	
Windows アドレス帳	メールアドレスや電話番号、住所などを管理できます。	
Windows メール	メールをやりとりできます。	
ウイルスバスター 2008 90日版	コンピュータウイルスやスパイウェアからこの製品を保護することができます。	**トレンドマイクロ株式会社** **ウイルスバスターサービスセンター** 電話番号：0570-01-9610 365 日　9:30 ～ 17:30

ソフト名	概　要	問い合わせ先
オンラインサインアップ	W-SIM のユーザー登録、接続先の設定、メールアドレスの取得などがまとめてできます。	シャープ株式会社 「お客様相談センター」 詳細は※1 をご覧ください。
カメラ	静止画や動画を撮影できます。また、名刺リーダモードでは、名刺を読み込んで Windows アドレス帳に登録できます。	
D4 基本設定	この製品の初期設定・メールの設定（D4 メールランチャー）がまとめてできます。	
電話	電話をかけたり、受けたりできます。	
電話設定	電話についての設定を一元管理できます。	
D4 メディアパネル	ニュースサイトやブログ、ポッドキャストの最新情報を自動受信できます。	
ライトメール	短いメッセージをやりとりできます。	

上記のリストに書かれていないソフトウェアについては、シャープ株式会社にお問い合わせください。

※1　**シャープ株式会社「お客様相談センター」**
　　電話番号：**0120-606-512**
　　受付時間／月～土曜日　9:00 ～ 18:00
　　　　（日・祝日および年末年始、シャープの休業日を除く）

※2　**マイクロソフト株式会社**
　　電話番号：**03-5354-4500（東京）　06-6347-4400（大阪）**
　　受付時間／月～金曜日　　9:30 ～ 12:00　13:00 ～ 19:00
　　　　土曜日、日曜日10:00 ～ 17:00
　　　　（祝日および年末年始、特定休業日を除く）
　　詳細は、「Microsoft Office Personal 2007 スタートガイド」または「Microsoft Office PowerPoint 2007 スタートガイド」（ともに別冊）を参照してください。

Bluetooth

Bluetoothとは、Bluetooth対応機器の間をワイヤレスでつないで通信する技術です。
ここでは対応ヘッドセット（市販品）を使って、「電話」をかける方法について説明します。

Bluetoothでできること

- 対応ヘッドセットで電話をかける
- 対応機器間でデータを送受信する
- ワイヤレスでキーボード、マウスを使う
- 離れた場所にこの製品を置いて、対応ヘッドホンで音楽を楽しむ

お使いになるBluetooth機器のヘルプもあわせて参照してください。

ご注意

- Bluetoothを利用してワイヤレスで接続するには、相手機器もBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。また、この製品と同じ通信サービス（プロファイル）に対応している必要があります。
- 良好な接続のために、次のことをお守りください。
  - ・相手機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。ただし、壁・障害物があるときや相手機器の電波状況によっては、この距離が短くなります。また、壁が鉄筋コンクリートの場合は、接続できないことがあります。できるだけ近くで接続してください。
  - ・他の機器（電気製品、AV機器、OA機器、ファックス、デジタルコードレス電話機など）から2m以上、電子レンジ使用時は電子レンジから3m以上離れて接続してください。他の機器の電源が入っているときにこの製品をその機器の近くで操作すると、正常に接続できなかったり、この製品がテレビ、ラジオの受信障害や雑音の原因になることがあります。

すべてのBluetooth機器との接続を保証するものではありません

- 接続する機器の特性や仕様によっては、接続できない、接続が途切れる、データのやりとりができない、通信速度／通信距離が低下する、などの現象が発生することがあります。
- 接続する機器や通信環境によって、音声の入出力時に雑音や音飛びが発生することがあります。
- 放送局や無線機などが近く、周囲の電波が強過ぎる場合は、正常に接続できないことがあります。

ご参考

- ワンセグの音声は、Bluetooth経由では出力されません。

対応プロファイル（サービス）

この製品は、次のプロファイルに対応しています。（基本プロファイル除く）

SPP（シリアル・ポート・プロファイル）
機器間をシリアル接続するためのプロファイル。接続時にポートの設定が必要な場合がある

OPP（オブジェクト・プッシュ・プロファイル）
Windows アドレス帳のデータなどを送受信するためのプロファイル

FTP（ファイル・トランスファー・プロファイル）
機器間でデータを転送するためのプロファイル

HID（ヒューマン・インターフェース・デバイス）
キーボード、マウスを接続するためのプロファイル

A2DP（アドバンスト・オーディオ・ディストリビューション・プロファイル）
音を転送するためのプロファイル

AVRCP（オーディオ・ビジュアル・リモート・コントロール・プロファイル）
AV 機器をリモートコントロールするためのプロファイル

HSP（ヘッド・セット・プロファイル）
ヘッドセットを接続するためのプロファイル

HFP（ハンズ・フリー・プロファイル）
ハンズフリー機器を接続するためのプロファイル

Bluetooth 対応ヘッドセットをお求めになるときは

- HFP（ハンズ・フリー・プロファイル）に対応している必要があります。

ヘッドセットで通話する

Bluetooth 対応ヘッドセット（市販品）を使って、電話することができます。

Bluetooth を有効にする

1 【Fn】＋【S】（ ）キーを押してタスクバーの を青色（有効）にする。

青色　：Bluetooth 有効

グレー：Bluetooth 無効

2 ヘッドセットの Bluetooth を有効にする。

詳しくは、ヘッドセットの説明書を参照してください。

ご参考

- Bluetooth の有効／無効は、タスクバーの をクリックし、「Bluetooth をオン／オフにする」をクリックしても切り替えられます。
- ワイヤレス LAN 有効時に Bluetooth を有効にすると、通信速度／通信距離が低下するほか、Bluetooth 対応ヘッドセットなどを使って電話をしているときに音声が途切れることがあります。Bluetooth またはワイヤレス LAN のいずれかを有効にしたいときは、もう一方を無効にすることをお勧めします。

ヘッドセットとの接続を確立する（ペアリング）

1 ヘッドセットとこの製品が 10m 以内にあることを確認する。

ペアリングのときは、相手機器をできるだけ近づけてください。

2 ヘッドセットをペアリングモードにする。

詳しくは、ヘッドセットの説明書を参照してください。

3 タスクバーの をクリックし、「Bluetooth Places を探索する」をクリックする。

「Bluetooth の場所」画面が表示され、検出された機器の一覧が表示されます。

4 接続するヘッドセットの （デバイス名）をダブルクリックする。

対応しているプロファイル（サービス）の一覧が表示されます。

ご参考

- プロファイル（サービス）の一覧が表示されないときは、（サービスの検索）をダブルクリックしてください。

5 認証のためのパスキーを求められた場合は、パスキーを入力する。

パスキーについて詳しくは、ヘッドセットの説明書を参照してください。

6 （ヘッドセットとマイク）をダブルクリックする。

これで、ヘッドセットとこの製品の接続が確立します。
接続中は、タスクバーの が緑色になります。

ヘッドセットを使って通話する

1 ヘッドセットを装着し、この製品の「電話」で通話する。

ヘッドセットの操作について詳しくは、ヘッドセットの説明書を参照してください。

2 接続を終了するときは、（ヘッドセットとマイク）を右クリックし、「接続の解除」をクリックする。

Bluetooth を使用しないときは

- バッテリーパックの消耗を防ぐために、【Fn】＋【S】（ ）キーを押してタスクバーの をグレー（無効）にします。

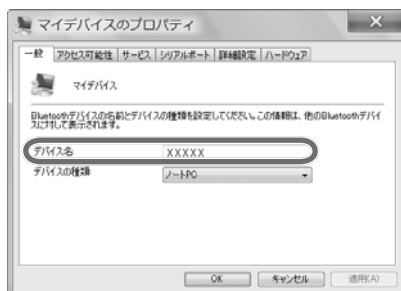
ご参考

- 電話以外で音声出力先をヘッドセットに切り替える場合は、「Bluetooth ヘッドセットとマイク」を右クリックし、「消音オフ」をクリックします。
- ヘッドセットと接続している状態では、電話の受発信があったときに音声の入出力が自動的にヘッドセットに切り替わり、通話が終わると自動的に元に戻ります。

この製品のデバイス名（機器の名前）を確認する

他の Bluetooth 対応機器に表示されるこの製品のデバイス名は、次の操作で確認できます。

1 タスクバーの を右クリックし、「マイデバイスのプロパティ」をクリックする。

「マイデバイスのプロパティ」画面の「一般」タブに、デバイス名などが表示されます。

再インストール（ご購入時の状態に戻す）

ここでは、この製品をご購入時の状態に戻す（再インストールする）方法について説明します。

再インストールするには、クレードル（別売:CE-CR04）または RGB/USB ケーブル（別売：CE-UD01）と CD/DVD ドライブ（市販品）が必要です。

この製品の拡張端子にクレードル（☞106 ページ）または RGB/USB ケーブル（☞109 ページ）を接続し、CD/DVD ドライブを接続します。

また、USB 端子に USB A コネクター変換ケーブル（市販品）を接続し、CD/DVD ドライブを接続することもできます。

ご注意

- 再インストールすると、ハードディスクの内容は消去されてしまいます。再インストールが必要かどうかよく確認してから始めてください。
- この製品は、ハードディスク内に再インストールに必要なデータが入っています。再インストール用のデータを変更したり、削除したりしないでください。再インストールができなくなります。
- 市販のハードディスクパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変えないでください。再インストール用のデータが消えて、ハードディスクからの再インストールができなくなります。
- 市販のデータリカバリソフトをインストールしている場合、再インストールする前に、必ず削除（アンインストール）してください。データリカバリソフトの中には、MBR（マスターブートレコード：ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています）を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリ DVD が作成できなかったり、リモートロック機能やブートセキュリティ機能が動作しなくなったりします。

ご参考

- 「**故障かな？と思ったら**」（☞150 ページ）および『**活用編**』（PDF）の「**故障かな？と思ったら**」に問題が起こったときの解決方法が書かれています。再インストールする前に、あてはまる項目がないか調べてみてください。

再インストールが途中で中断したときは

- 下記の手順に従って、最初から再インストールをやり直してください

① ［戻る］をクリックして再インストールの最初の画面まで戻ります。
② ［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックします。
③ 再起動しますので、最初から再インストールをやり直してください。

再インストール後はセキュリティ対策をしてください

- 再インストール完了後のこの製品は、ご購入時の状態に戻っています。ウイルスや悪意のあるプログラムからこの製品を守るために、『**はじめにお読みください**』（別冊）の「**大切なお知らせ**」を参照して Windows とセキュリティ対策ソフトを最新の状態に（アップデート）してください。

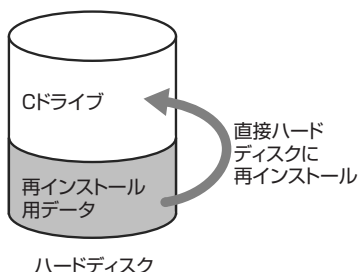
再インストールの種類

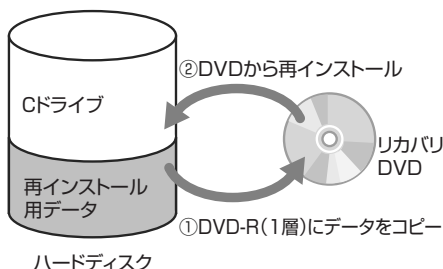
再インストールには、ハードディスクドライブから再インストールする方法と、リカバリ DVD から再インストールする方法とがあります。

ご注意

- 万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりしてしまうと、ハードディスクから再インストールすることができなくなります。万一に備えて、リカバリ DVD を作成しておくことをお勧めします。リカバリ DVD を作成する方法は「**リカバリ DVD の作成**」(☞146 ページ)を参照してください。

ハードディスクドライブから再インストールする

あらかじめハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って直接ハードディスクに再インストールする方法です。
リカバリ DVD を使って再インストールするよりも、短時間で再インストールできます。

リカバリ DVD から再インストールする

ハードディスクに保存されている再インストール用のデータを、いったん DVD-R(1 層)にコピーし、DVD からハードディスクに再インストールする方法です。
リカバリ DVD を作成する必要がありますが、万一再インストール用のデータが壊れたり削除されたりした場合でも、再インストールすることができます。

再インストールの準備をする

必要なものを準備する

- **『はじめにお読みください』**(別冊)
- **クレードル(別売:CE-CR04)または RGB/USB ケーブル(別売:CE-UD01)**
- **CD/DVD ドライブ(市販品)**
- **リカバリ DVD**(リカバリ DVD から再インストールする場合のみ)
  ハードディスクから再インストールするときは不要です。
- **Microsoft Office Personal 2007 パック**
  Office Personal 2007 の CD-ROM および「**スタートガイド**」を使用します。
- **Microsoft Office PowerPoint 2007 パック**
  Office PowerPoint 2007 の CD-ROM および「**スタートガイド**」を使用します。

大切なデータをバックアップする

再インストールすると、ご購入後にハードディスクに保存されたファイルや、インストールされたプログラムなども消えてしまいます。大切なデータは、再インストールする前に必ずバックアップしておいてください。データのバックアップ方法については、『**活用編**』（PDF）の「**バックアップする**」を参照してください。

ソフトウェア使用許諾書を読む

再インストールするには、「Shadowprotect Restore」を使用します。再インストールの前に、次の「SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書」と「MBRINST 使用許諾書」をよくお読みください。

STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION
SHADOWPROTECT RESTORE 使用許諾書

注意：本ソフトウェアを使用し、出荷時のイメージを復元すると、復元先のハードディスク上のデータは削除され、出荷時のイメージが上書きされます。復元前に、データをバックアップすることをお勧めします。

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。StorageCraft Technology Corporation (以下、「ライセンサー」) は、本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に、本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人 (以下、「ライセンシー」) に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾

本ソフトウェアと付随するドキュメント（“本ソフトウェア”と総称します）はライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：

A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーが作成し、コンピュータに添付した出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の1台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：

A. 付随するドキュメントをコピーすること
B. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること
C. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート

ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

3. 保証

本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責

ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項

本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。

StorageCraft Technology Corporation,
180 West Election Road, Suite 230, Draper, Utah 84020, U.S.A.
www.shadowstor.com、FAX:801-382-1824、
もしくは、STORAGECRAFT TECHNOLOGY CORPORATION の日本総代理店である㈱ネットジャパンにご連絡ください。

㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町８番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

株式会社 ネットジャパン
MBRINST 使用許諾書

本ソフトウェアを使用する前に、本使用許諾書記載の各条項および条件をよくお読みください。株式会社 ネットジャパン(以下､｢ライセンサー｣)は､本使用許諾書の全ての条項に同意されることを条件に､本ソフトウェアをご利用になる個人、企業または法人(以下、｢ライセンシー｣)に本ソフトウェアの使用を許諾します。これは、ライセンシーとライセンサー間で交わされる法的強制力のある契約です。本ソフトウェアをロードまたは、使用することにより、本使用許諾書のすべての条項および条件に同意したことになります。各条項および条件に同意しない場合は、本ソフトウェアを使用しないでください。

1. 使用許諾

本ソフトウェアはライセンサーもしくは第三者が所有しており、著作権法で保護されています。本使用許諾書に同意することにより本ソフトウェアを使用することを許諾します。

許諾された使用：

A. ライセンサーと別途契約を締結し許諾を受けたコンピュータメーカーのコンピュータに添付され出荷されます。本ソフトウェアは、出荷時のハードディスクイメージの復旧機能の一部を構成し、出荷時のハードディスクのイメージを、本ソフトウェアが添付された特定の1台のコンピュータ上で、復元する目的でのみ使用することができます。

使用禁止：

A. 本ソフトウェアを再使用許諾、貸与、リース、転売、譲渡すること、またリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブル、変更、翻訳、ソースコード抽出を試みること、派生的製品を開発すること

B. 本使用許諾書で許可された以外の使用

2. 技術サポート

ライセンサーおよびその代理店は技術サポートを提供しません。本ソフトウェアについてのお問い合わせは、本ソフトウェアを添付したコンピュータメーカーにおこなってください。

3. 保証

本ソフトウェアは現状のままで提供されています。ライセンサーは一切の保証をおこないません。

4. 免責

ライセンサーは、本ソフトウェアの使用もしくは使用不可に関わるいかなる直接的損害、間接的損害、特別損害および結果的損害（逸失利益、データ損失を含む）について、一切の責任を負いません。居住地域によっては、偶発的または結果的損害に対する責任の除外または制限が認められず、これらの制限または除外がライセンシーに適用されない場合があります。

5. 一般条項

本契約書に関して疑問点がある場合は、下記にご連絡ください。
㈱ネットジャパン
〒 101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 8 番地 アセンド神田紺屋町ビル
www.netjapan.co.jp FAX:03-5256-0878

再インストールの手順を確認する

再インストールは以下の手順でします。

Step1	セットアップユーティリティの設定を変更する

⇩

Step2	再インストールする

⇩

Step3	Windows をセットアップする

⇩

Step4	Office Personal 2007 と Office PowerPoint 2007 を再インストールする

⇩

これでハードディスクの内容は、ご購入時の状態に戻ります。

この製品の準備をする

1 シャットダウンでこの製品の電源を切る。(☞35 ページ)

2 周辺機器やカードが挿入されている場合は取り出す。

ご注意

- microSD カードや USB 接続のハードディスクドライブなどは必ず取り外してください。接続したまま再インストールを実行すると、データが消去される場合があります。

3 AC アダプターを接続する。

ご注意

- 必ず AC アダプターを接続してください。バッテリーで操作していると、途中でバッテリー残量がなくなったとき、再インストールが完了できなくなります。

リカバリ DVD を使用するときは

① 拡張端子にクレードルまたは RGB/USB ケーブルを接続します。
- クレードルの接続について(☞106 ページ)
- RGB/USB ケーブルの接続について(☞109 ページ)

② CD/DVD ドライブ(市販品)を接続します。接続方法について詳しくは、CD/DVD ドライブの説明書を参照してください。

再インストールする

ここでは、ハードディスクドライブに保存されている再インストール用のデータを使って、ご購入時の状態に復元する方法を中心に説明します。

ご注意

- 再インストールは、タッチスクリーンおよびスタイラスペンで操作できません。タッチパッドやキーボードで操作してください。
- リカバリ DVD を使用して再インストールすると、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも削除されます。ハードディスクからの再インストールができなくなりますので、ご注意ください。

ご参考

- ここでは、作成したリカバリ DVD を使用して再インストールする場合についても説明しています。操作手順については、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

Step1
セットアップユーティリティの設定を変更する

1 **電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility.」と表示されたらすぐに、【Fn】＋【2】キーを押す。**

セットアップユーティリティ画面が表示されるまで数回押します。

2 **設定を初期値に変更する。**

① 【→】キーで、「Exit」メニューを選択します。
② 【↓】キーで、「Load Setup Defaults」（すべての項目を初期値に戻す）を選択し、【⏎】キーを押します。
③ 「Load Setup Defaults?」（設定を初期値に変更しますか？）と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。

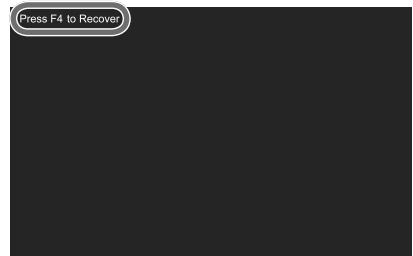
リカバリ DVD を使用するときは

- 設定を初期値に変更した後、下記の手順に従ってリカバリ DVD から起動するための設定をしてください。
  ① CD/DVD ドライブに「リカバリディスク 1」をセットします。
  ② 【→】キーで、「Boot」メニューを選択します。
  ③ 【↓】キーで、1st boot device を選択し、【⏎】キーを押します。
  ④ 【↓】キーで USB CD-ROM を選択し、【⏎】キーを押します。
  ⑤ 【↓】キーで 3rd boot device を選択し【⏎】キーを押します。
  ⑥ 【↑】キーで Hard Disk を選択し【⏎】します。

3 **設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。**

① 【→】キーで、「Exit」メニューを選択します。
② 「Exit Saving Changes」（変更内容を保存して終了）が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。
③ 「Save Configuration Changes and Exit Now?」（設定を保存して終了しますか？）と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。

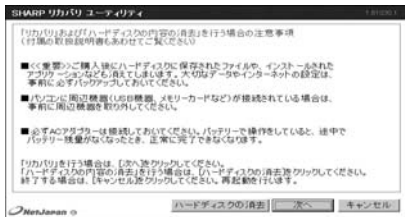
4 **再起動後、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、【Fn】＋【4】キーを押す。**

表示されている時間は約 2 秒です。

リカバリ DVD を使用するときは

- 手順 **2** でリカバリ DVD から起動するための設定をしたときは、画面左上に「Press F4 to Recover」は表示されません。次の「**Step2 再インストールする**」に進んでください。

5 **次の「Step2 再インストールする」に進む。**

Step2 再インストールする

1 **次の画面が表示されたら、内容を読んで［次へ］をクリックする。**

［キャンセル］を選択したときは

- ［キャンセル］をクリックし、確認画面で［OK］をクリックしたときは、この製品が再起動します。また、リカバリ DVD を CD/DVD ドライブにセットしているときは、確認画面で［OK］をクリックした後、リカバリ DVD を取り出してください。

2 **「ハードディスク全体をご購入時の状態に復元します。」と表示されていることを確認し、［リカバリ開始］をクリックする。**

確認画面が表示されます。

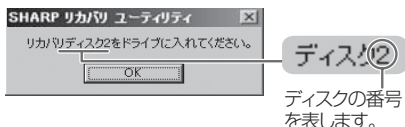
3 **［OK］をクリックする。**

ドライブのフォーマット（初期化）と内容の復元が始まります。

ご注意

- フォーマット中および復元中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

リカバリ DVD を使用するときは

- 途中、以下のようなディスクを入れ替えるメッセージが表示されますので、リカバリディスクを入れ替え、［OK］をクリックします。

4 **ハードディスクのリカバリ処理が終了し、確認画面が表示されたら［OK］をクリックする。**

この製品が再起動します。

5 **次の「Step3 Windows をセットアップする」に進む。**

Step3 Windows をセットアップする

再起動してしばらくすると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

リカバリ DVD を使用したときは

- 「Windows のセットアップ」画面が表示されたら、リカバリ DVD を CD/DVD ドライブから取り出してください。

『**はじめにお読みください**』（別冊）の「**STEP3 セットアップ**」を参照してセットアップを完了してください。
セットアップが完了したら、次の「**Step4 Office Personal 2007 と Office PowerPoint 2007 を再インストールする**」に進んでください。

Step4 Office Personal 2007 と Office PowerPoint 2007 を再インストールする

ご参考

- Office Personal 2007 をインストールすると、日本語入力システム IME 2007 も同時にインストールされます。

1 **拡張端子にクレードルまたは RGB/USB ケーブルを接続する。**

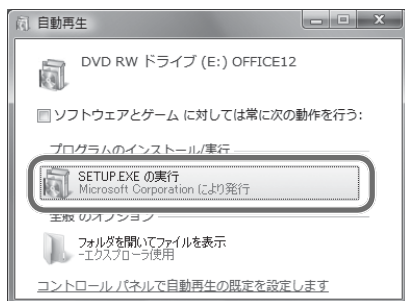
- クレードルの接続について（☞106 ページ）
- RGB/USB ケーブルの接続について（☞109 ページ）

2 CD/DVD ドライブ（市販品）を接続する。

接続方法について詳しくは、CD/DVDドライブの説明書を参照してください。

3 CD/DVD ドライブ に「Office Personal 2007」の CD-ROM をセットする。

「自動再生」画面が表示されます。

4 「SETUP.EXE の実行」をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5 ［続行］をクリックする。

「Microsoft Office Personal 2007」画面が表示されます。

6 Office Personal 2007 パックに付属している「スタートガイド」を参照してインストールする。

インストールの種類を選択する画面では

① ［ユーザー設定］をクリックします。
② 「Microsoft Office」の左の ▼ をクリックし、「マイコンピュータからすべて実行」をクリックします。
③ ［今すぐインストール］をクリックします。

7 インストールが完了したら、CD/DVD ドライブから「Office Personal 2007」の CD-ROM を取り出す。

8 Office 2007 をアップデートする。

① （スタート）をクリックします。
② 「検索の開始」欄に「C:¥」と入力し、メニューの「Office2007sp1」をクリックします。
「Office2007SP1」フォルダ画面が表示されます。
③ 「Office2007SP1-kb936982-fullfile-ja-jp」をダブルクリックします。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
④ ［続行］をクリックします。
「2007 Microsoft Office Suite Service Pack1 (SP1)」画面が表示されます。
⑤ 内容をよく読み、同意される場合は、「マイクロソフト ソフトウェアライセンス条項に同意するにはここをクリックしてください」をクリックしてチェックマークを付けます。
⑥ ［次へ］をクリックします。
Service Pack1(SP1)のインストールが開始されます。
⑦ ［はい］をクリックします。
この製品が再起動します。

9 CD/DVD ドライブに「Office PowerPoint 2007」の CD-ROM をセットする。

以降、画面の指示に従ってインストールします。

10 使用するメールソフトを「Windows メール」に設定する。

① （スタート）をクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
② 「プログラム」をクリックします。
③ 「既定のプログラム」をクリックします。
④ 「既定のプログラムの設定」をクリックします。
⑤ リストの「Windows メール」をクリックし、「このプログラムを既定として設定する」をクリックします。
⑥ ［OK］をクリックします。

これで再インストールは完了です。
リカバリ DVD を使用して再インストールしたときは、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。

ライセンス認証ウィザードについて

- 再インストール後、Office アプリケーションを起動すると、「Microsoft Office 使用許諾契約書」画面が表示されます。使用許諾契約書に同意すると、「Microsoft Office 2007 ライセンス認証ウィザード」画面が表示されますので、このウィザードを使ってライセンス認証をしてください。詳しくは、Office Personal 2007 パックに付属の「**スタートガイド**」を参照してください。

セットアップユーティリティの設定を初期値に戻す

- リカバリ DVD を使用して再インストールしたときは、下記手順に従って、セットアップユーティリティの設定を初期値に戻しておいてください。
  ① （スタート）をクリックします。
  ② マウスポインターを の上に移動し、「シャットダウン」をクリックします。
  ③ 約 10 秒待ってからこの製品の電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility.」と表示されたらすぐに、**【Fn】**＋**【2】**キーを押します。
  セットアップユーティリティの画面が表示されます。
  ④ **【→】**キーで、「Exit」メニューを選択します。
  ⑤ **【↓】**キーで、「Load Setup Defaults」を選択し、**【 ⏎ 】**キーを押します。
  ⑥ 「Load Setup Defaults?」と表示されたら、［Yes］が選択されていることを確認し、**【 ⏎ 】**キーを押します。
  ⑦ 「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、**【 ⏎ 】**キーを押します。
  ⑧ 「Save Configuration Changes and Exit Now?」と表示されたら、［Yes］が選択されていることを確認し、**【 ⏎ 】**キーを押します。
  この製品が再起動します。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、この製品の動作環境に関する設定（各種機能の有効／無効、パスワードの設定など）を変更するためのユーティリティです。

セットアップユーティリティの内容は、ご購入時に適切に設定されています。
必要なとき以外は操作しないでください。
セットアップユーティリティには、次のようなメニューがあります。

- Main メニュー
- Advanced メニュー
- Security メニュー
- Boot メニュー
- Exit メニュー

ご参考

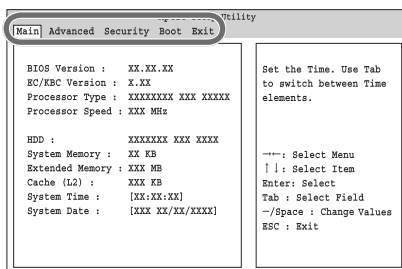
- 誤って変更してしまったときは、「**すべての設定を初期値に戻す**」（☞133 ページ）の操作をしてください。
- セットアップユーティリティは、タッチパッドおよびスタイラスペンで操作できません。キーボードで操作してください。

設定内容を変更する

1 シャットダウンしてこの製品の電源を切る。

2 約 10 秒待ってから電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility.」と表示されたらすぐに、【Fn】＋【2】キーを押す。

セットアップユーティリティ画面が表示されるまで数回押します。

3 【←】キーまたは【→】キーを押して設定したいメニューを選択する。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

4 【↓】キーまたは【↑】キーを押して設定項目を選択する。

Enabled または Disabled と表記してある項目は【−】または【Space】キーを押すたびに設定が切り替わります。また、【⏎】キーを押すと、サブメニューが表示されます。

【←】【→】
：メニュー間を移動します。

【↓】【↑】
：メニューの設定項目を移動します。サブメニューでは、設定内容を変更します。

【Fn】+【Tab】
：設定を取り消し、1ステップ前の状態に戻ります。

【⏎】
：設定を保存し、メニューに戻ります。(ただし [No] 選択時を除く。)

【0】〜【9】
：日付や時刻を入力します。

5 【→】キーを押して「Exit」メニューを選択する。

Exit メニューが表示されます。

6 「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押す。

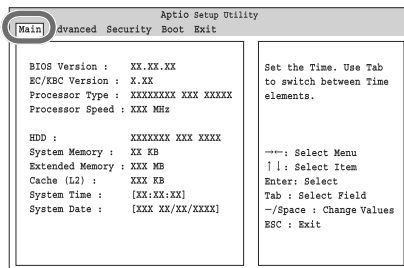
7 「Save Configuration Changes and Exit Now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押す。

変更した内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、再起動します。

ご参考

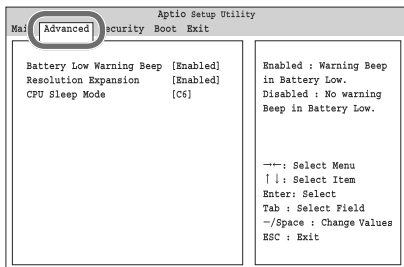
- セットアップユーティリティの操作中は、省電力機能は働きません。

Main メニュー

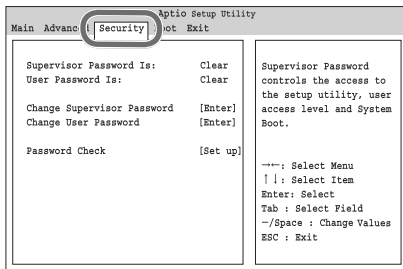
日付と時刻など、システムの基本的な設定項目があります。

- **System Time**
  時刻を設定します。
- **System Date**
  日付を設定します。

【Tab】：時刻、日付設定時、選択部分で移動します。

Advanced メニュー

動作に関する設定項目があります。

- Battery Low Warning Beep
  バッテリーパックの容量が少なくなったときに、警告音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
  Enabled ： 鳴らす
  Disabled ： 鳴らさない
- Resolution Expansion（Windows 環境では無効）
  Enabled ： 拡大する
  Disabled ： 拡大しない
- CPU Sleep Mode
  CPU の省電力モードを設定します。通常は、ご購入時のままお使いください。

Security メニュー

パスワードの登録など、この製品の安全機能に関する設定項目があります。パスワードを設定しておくと、起動時にパスワード入力画面が表示され、パスワードを知らない人の使用を防ぐことができます。

- Supervisor Password
  スーパーバイザーパスワードを設定します。8 文字までの半角英数字で設定してください。
- User Password
  ユーザーパスワードを設定します。8 文字までの半角英数字で設定してください。
- Password Check
  パスワード入力画面をいつ表示させるかを設定します。
  Set up ：セットアップユーティリティの起動時に表示
  Always ：この製品（Windows）の起動時に表示

パスワードの種類

パスワードには、「スーパーバイザーパスワード」と「ユーザーパスワード」があります。ユーザーパスワードは、スーパーバイザーパスワードを設定しているときだけ設定できます。入力するパスワードによって次の制限があります。

スーパーバイザーパスワード	● パスワードを正しく入力しないと、この製品が起動しません。 ● パスワードを正しく入力しないと、セットアップユーティリティが起動しません。 ● セットアップユーティリティのすべての項目を設定できます。 ● 8 文字までの半角英数字で設定してください。
ユーザーパスワード	● パスワードを正しく入力しないと、この製品が起動しません。 ● パスワードを正しく入力しないと、セットアップユーティリティが起動しません。 ● セットアップユーティリティの以下の項目のみ設定できます。 Main メニュー ： System Time、System Date Advanced メニュー ： Battery Low Warning Beep、Resolution Expansion Security メニュー ： User Password Exit メニュー ： Exit Saving Changes、Exit Discarding Changes、Discard Changes、Save Changes ● 8 文字までの半角英数字で設定してください。

パスワードを登録する

ここでは、スーパーバイザーパスワードを設定する場合を例に説明します。ユーザーパスワードを設定するときは「Supervisor」の箇所を「User」に読み替えてください。

なお、スーパーバイザーパスワードを設定しないと、ユーザーパスワードは設定できません。

CapsLock は解除しておくことをお勧めします

- パスワード登録時は、英字の大文字小文字は、別の文字として認識されます。パスワードを登録する前に、あらかじめ Windows 上でメモ帳（付属ソフト）などで文字を入力して CapsLock が有効になっていないか確認しておいてください。パスワード登録画面では、入力した文字が「***」で表示されるため、入力した内容を確認できません。

ご注意

- 必要のないときは、パスワードを設定しないでください。パスワードを忘れると、この製品を起動できなくなります。
- 修理を依頼されるときは、パスワードを削除しておいてください。

1 「Security」メニューで「Change Supervisor Password」を選択し、【⏎】キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

2 「Create New Password」でパスワードを入力し、【⏎】キーを押す。

パスワードは、8文字までの半角英数字で設定してください。

3 確認のため、「Confirm New Password」でもう一度同じパスワードを入力し、【⏎】キーを押す。

4 「Password Install [OK]」の「Continue」が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押す。

「Supervisor Password Is」が「Set」と表示されているときは、パスワードが正しく登録されました。

「Invalid Password」と表示されているときは、最初に入力したパスワードと確認のため入力したパスワードが一致しなかったため、パスワードは登録されませんでした。手順1からやり直してください。

5 【↓】キーで「Password Check」を選択し、【⏎】キーを押す。

6 パスワード入力画面をいつ表示させるかを選択し、【⏎】キーを押す。

Set up　：セットアップユーティリティの起動時に表示

Always　：この製品(Windows)の起動時に表示

パスワードを変更する／削除する

ここでは、スーパーバイザーパスワードを変更／削除する場合を例に説明します。ユーザーパスワードを変更／削除するときは「Supervisor」の箇所を「User」に読み替えてください。

ご参考

- スーパーバイザーパスワードを削除すると、ユーザーパスワードも削除されます。

1 「Security」メニューで「Change Supervisor Password」を選択し、【⏎】キーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

2 「Enter Current Password」で現在のパスワードを入力し、【⏎】キーを押す。

3 「Create New Password」で新しいパスワードを入力し、【⏎】キーを押す。

パスワードを削除するときは、何も入力せずに【⏎】キーを押します。

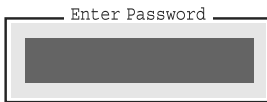
パスワードは、8文字までの半角英数字で設定してください。

4 確認のため、「Confirm New Password」でもう一度同じパスワードを入力し、【⏎】キーを押す。

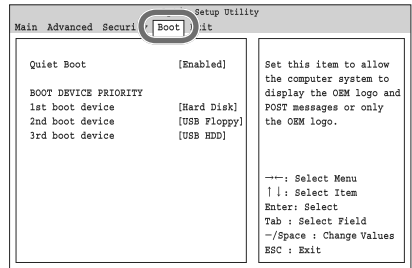
パスワードを削除するときは、何も入力せずに【⏎】キーを押します。続いて「Password Uninstalled」の「Continue」が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。

パスワードを登録したこの製品を起動する

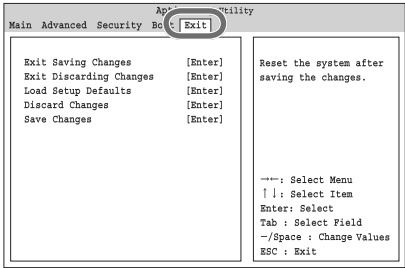
パスワードを登録しておくと、起動時にパスワード入力画面が表示されます。起動するには、表示されるパスワード入力画面（下記）にパスワードを入力します。入力しないと、次の操作に進むことができません。

パスワード入力画面

パスワードの入力を間違えると、「Invalid Password」と表示されますので、【⏎】キーを押してパスワードを再入力してください。3 回間違えると入力できなくなりますので、電源ボタンを押して電源を切ります。10 秒以上たってから、電源を入れ直してください。

Boot メニュー

システム起動時にデータを読み取りに行く場所（デバイス）を設定します。

- Quiet Boot
  システム起動の途中に、WILLCOM のロゴマークを表示させる／表示させないを設定します。
  Enabled　：表示させる
  Disabled　：表示させない
- BOOT DEVICE PRIORITY
  システム起動時に使用するデバイスの優先順位を設定します。
  1st boot device
  ：最も優先順位の高いデバイス
  2nd boot device
  ：1st boot device が見つからない場合に使用するデバイス
  3rd boot device
  ：上の 2 つの boot device がどちらも見つからない場合に使用するデバイス

Exit メニュー

セットアップユーティリティの設定を、取り消す、初期値に戻す、設定内容に変更する、などを選んで終了する画面です。

- Exit Saving Changes
  変更内容を保存して、セットアップユーティリティを終了します。
- Exit Discarding Changes
  変更内容を保存しないで、セットアップユーティリティを終了します。
- Load Setup Defaults
  セットアップユーティリティのすべての項目を初期値に戻します。
- Discard Changes
  セットアップユーティリティのすべての項目を前回保存した値に戻します。
- Save Changes
  変更内容を保存します。

すべての設定を初期値に戻す

1. **「Exit」メニューで「Load Setup Defaults」を選択し、【↵】キーを押す。**
2. **「Load Setup Default?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【↵】キーを押す。**
3. **「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、【↵】キーを押す。**
4. **「Save Configuration Changes and Exit Now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【↵】キーを押す。**
   設定内容を保存してセットアップユーティリティが終了し、Windows が起動します。

廃棄・譲渡時のデータ消去

この製品を廃棄や譲渡するときは、お客さまの重要なデータが流出するトラブルを防ぐために、次の手順に従ってハードディスクの全データを消去してください。

ハードディスクのデータは、データの削除やハードディスクの初期化をしただけでは市販のデータ回復ソフトで復元される場合があります。この製品を廃棄や譲渡するときは、重要なデータが復元され流出しないようにハードディスクの全データを消去してください。

データ消去の方法には、ハードディスクに保存されているデータ消去用のツールを使って消去する方法と、リカバリ DVD を使用して消去する方法とがあります。ここではハードディスクから消去する方法を中心に説明します。リカバリ DVD を使用して消去する場合は、手順説明内に記載している補足説明をお読みください。

ご注意

- 大切なデータは、データの消去を行う前に、microSD カード、書き込み可能な CD や DVD、または外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
- AC アダプターを接続してください。消去中にバッテリーの残量がなくなると、正常にデータの消去が完了できません。
- データ消去は、タッチスクリーンおよびスタイラスペンで操作できません。タッチパッドやキーボードで操作してください。
- リカバリ DVD からハードディスクのデータを消去すると、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータも消去されますので、ハードディスクからの再インストールやデータ消去はできなくなります。
- ハードディスクに保存されているデータ消去用のツールやリカバリ DVD を使用してデータを消去しても特殊な機器の使用によりデータを復元される可能性があります。より確実に消去するには、専用のソフトウェアあるいはサービス (共に有償) を利用するか、廃棄の場合はお客様の責任においてハードディスクを金槌で物理的に破壊したり、ハードディスク内のデータを強い磁気により破壊することを推奨します。
  データの消去について詳しくはシャープ D4 サポートページ（http://d4support.sharp.co.jp/）をご参照いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。（☞3 ページ）
  なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくこの製品を譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

ご参考

- この製品には、ワンセグのデータ放送を送受信するために設定した個人情報が保存されています。これらの個人情報データだけを削除することができます。削除方法については、『**StationMobile 取扱説明書**』の「**設定する**」－「**個人情報を消去する**」を参照してください。『**StationMobile 取扱説明書**』は、（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「PIXELA」－「StationMobile5」－「StationMobile 取扱説明書」の順にクリックすると表示されます。
- 消去後に再インストールする場合は、「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」（☞117 ページ）を参照し、 再インストールしてください。
- 市販のパーティション変更ツールを使って、ハードディスクのパーティション設定を変更すると、ハードディスクに保存されているデータ消去用のツールを使ってデータの消去ができないことがあります。その場合は、リカバリ DVD を利用してハードディスクのデータを消去してください。

1 シャットダウンでこの製品の電源を切る。(☞35 ページ)

2 周辺機器やカードが挿入されている場合は取り出す。

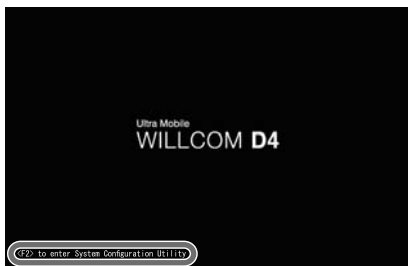
ご注意

- microSD カードや USB 接続のハードディスクドライブなどは必ず取り外してください。接続したままデータ消去を実行すると、データが消去される場合があります

3 AC アダプターを接続する。

ご注意

- 必ず AC アダプターを接続してください。バッテリーで操作していると、途中でバッテリー残量がなくなったとき、データ消去が完了できなくなります。

4 電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility.」と表示されたらすぐに、【Fn】+【2】キーを押す。

セットアップユーティリティ画面が表示されるまで数回押します。

5 設定を初期値に変更する

① 【→】キーで、「Exit」メニューを選択します。

② 【↓】キーで、「Load Setup Defaults」(すべての項目を初期値に戻す)を選択し、【⏎】キーを押します。

③ 「Load Setup Defaults?」(設定を初期値に変更しますか?)と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。

リカバリ DVD を使用するときは

- 設定を初期値に変更した後、下記の手順に従ってリカバリ DVD から起動するための設定をしてください。

① CD/DVD ドライブ(市販品)をこの製品に接続し、「リカバリディスク 1」をセットします。

② 【→】キーで、「Boot」メニューを選択します。

③ 【↓】キーで、1st boot device を選択し、【⏎】キーを押します。

④ 【↓】キーで USB CD-ROM を選択し、【⏎】キーを押します。

⑤ 【↓】キーで 3rd boot device を選択し【⏎】キーを押します。

⑥ 【↑】キーで Hard Disk を選択し【⏎】キーを押します。

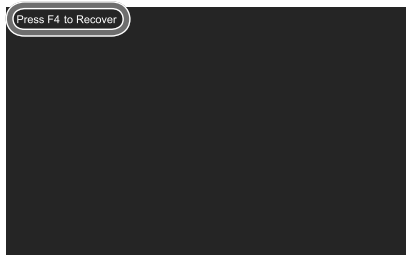
6 設定を保存してセットアップユーティリティを終了する。

① 【→】キーで、「Exit」メニューを選択します。

② 「Exit Saving Changes」(変更内容を保存して終了)が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。

③ 「Save Configuration Changes and Exit Now?」(設定を保存して終了しますか?)と表示されたら、[Yes]が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。

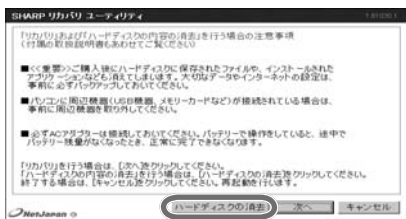
7 この製品が再起動し、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されたらすぐに、【Fn】＋【4】キーを押す。

表示されている時間は約 2 秒です。

リカバリ DVD を使用するときは

- 手順 5 でリカバリ DVD から起動するための設定をしたときは、画面左上に「Press F4 to Recover」と表示されません。手順 8 に進んでください。

「Press F4 to Recover」が表示されない場合

- ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが消去されています。リカバリ DVD を使用してハードディスクのデータを消去してください。

8 ［ハードディスクの消去］をクリックする。

9 【↓】キーで「次へ」を選択し、【⏎】キーを押す。

10 【↓】【↑】キーで消去のレベルを選択し、【⏎】キーを押す。

消去のレベルが高いほど処理時間は長くなりますが、より確実に消去され、復元されにくくなります。

11 【↓】キーで「消去します」を選択し、【⏎】キーを押す。

12 「erase」と入力し、【⏎】キーを押す。

画面には大文字で「ERASE」と表示されます。

13 【↓】キーで「はい（消去を開始します)」を選択し、【⏎】キーを押す。

ハードディスクの消去が始まります。

ご注意

- 消去中は、電源ボタンを押して電源を切らないでください。故障の原因になります。

ご参考

- 消去を中断するには【Fn】＋【Tab】キーを押します。
- 消去中、ハードディスクの読み書きができなくなった部分がある場合は、不良セクタとして画面に表示されます。不良セクタ部分は消去されません。
- 不良セクタがある場合、通常の処理時間より時間がかかります。

14 「消去処理は正常に終了しました。」と表示されたら、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切る。

リカバリ DVD を使用したときは

- この製品の電源を切った後、次の手順に従って、リカバリ DVD を CD/DVD ドライブから取り出し、セットアップユーティリティを初期値に戻してください。
  ① 約 10 秒待ってからこの製品の電源を入れ、画面の左下に「<F2> to enter System Configuration Utility.」と表示されたらすぐに、【Fn】＋【2】キーを押します。
  セットアップユーティリティの画面が表示されます。
  ② リカバリ DVD を CD/DVD ドライブから取り出します。
  ③【→】キーで、「Exit」メニューを選択します。
  ④【↓】キーで、「Load Setup Defaults」を選択し、【⏎】キーを押します。
  ⑤「Load Setup Defaults?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。
  ⑥「Exit Saving Changes」が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。
  ⑦「Save Configuration Changes and Exit Now?」と表示されたら、[Yes] が選択されていることを確認し、【⏎】キーを押します。
  この製品が再起動します。

仕様一覧

本体

形名			WS016SH
インストールOS※a			Windows Vista® Home Premium with Service Pack1（SP1）正規版
プラットフォーム			インテル® Centrino® Atom™プロセッサー・テクノロジー
	CPU		インテル® Atom™ プロセッサーZ520（1.33GHz）
		キャッシュメモリー	1次：56KB、2次：512KB内蔵
	チップセット		インテル® システム・コントローラー・ハブUS15W
システムバス(メモリーバス)			133MHz（533MHz）
メインメモリー			1GB固定（DDR2-533、PC2-4200対応）
表示機能	内蔵ディスプレイ		5型ワイドTFT液晶（WSVGA対応、LEDバックライト）
		解像度(画素)と色数	1,024×600、800×600（すべて最大262,144色）
		有効画素の割合※b	99.9995%以上
	グラフィックアクセラレーター		チップセットに内蔵
	ビデオメモリー		最大253MB※1（メインメモリーを使用）
	外部ディスプレイ表示※c	解像度(画素)と色数※d	最大1,920×1,080（最大約1,677万色）
		マルチモニター機能	対応
入力装置	キーボード		64キー（メタルドームスイッチ式、キーピッチ：約12.2mm※2）
	ポインティングデバイス		イルミネーション付タッチパッド（ホイール機能対応）、タッチパネル
記憶装置	ハードディスクドライブ※e		約40GB（1.8型、Ultra ATA/100）
		Windows®のシステムから認識できるドライブ全体の容量	約37.2GB（C ドライブ：約30.0GB、残りはリカバリ領域、WinRE領域として使用）
		フォーマット	NTFS
	フロッピーディスクドライブ		—※3
	CD/DVDドライブ		—※3
通信機能	LAN		—（別売のクレードルに搭載）
	ワイヤレスLAN		IEEE802.11b/g準拠※4
	PHS		W-SIM（W-OAM対応）対応
	Bluetooth®		Bluetooth® ワイヤレステクノロジーVer.2.0+EDR準拠※5
通話機能			対応※6
カードスロット	microSD™カード		1※7
	W-SIM		1
テレビ機能			ワンセグチューナー※8
カメラ			有効画素数約198万画素CMOSカメラ（オートフォーカス機能）
サウンド機能			チップセット内蔵+High Definition Audioコーデック、スピーカー（モノラル）内蔵
接続端子	表示／映像／サウンド		イヤホンマイク端子（平型）×1
	汎用／その他		USB端子（USB2.0準拠、miniA B コネクター）※9×1、拡張端子※10×1

形名			WS016SH
電源	バッテリー		専用標準バッテリーパック（リチウムイオン）、 専用大容量バッテリーパック（別売、リチウムイオン）
		バッテリー駆動時間※f※g	標準バッテリーパック　：約1.5時間 大容量バッテリーパック：約4.5時間
		バッテリー充電時間※g	標準バッテリーパック　：約3時間（電源オン･電源オフ時とも） 大容量バッテリーパック：約7時間（電源オン･電源オフ時とも）
	ACアダプター		AC100～240V（日本国内はAC100Vのみ）、 50/60Hz（形名：EA-UM1V）
	電源コード		AC100V専用（日本仕様）
消費電力			最大約23W
2007年度省エネルギー基準達成率※h			AA
エネルギー消費効率※i			0.00079（I区分）
温度／湿度条件			5～35℃／20～85%（非結露）
外形寸法（本体閉時、突起部除く） 幅×奥行×高さ（mm）			標準バッテリーパック装着時： 約188～192.3×約84×約25.9 大容量バッテリーパック装着時： 約188～192.3×約84×約35.3
質量			標準バッテリーパック装着時　：約460g 大容量バッテリーパック装着時：約575g
リカバリ方式			ハードディスクリカバリ※11
Office Personal 2007 Office PowerPoint 2007			付属

※a　プリインストールされているOSのみをサポートしています。

※b　本製品の液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素などの無効な画素が存在する場合があります。「有効画素の割合」とは、液晶パネルの全画素のうち、それらの無効な画素を除いた有効な画素の割合を表しています。無効な画素は液晶パネルの故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※c　外部ディスプレイを接続するには、別売のクレードルまたはRGB/USBケーブルが必要です。

※d　内蔵ディスプレイと外部ディスプレイとの同時表示も可能です。このとき、設定できる最大解像度は、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイの両方で表示できる解像度になります。接続している外部ディスプレイによっては、縦横の比率が正常に表示されないことがあります。

※e　1GB=10億バイトで計算した場合の数値です。

※f　社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」に基づいて測定した時間で、計測法a（動画連続再生）と計測法b（デスクトップ画面表示）による計測結果の平均値です。詳しい測定条件は、シャープD4ホームページの各機種仕様一覧でご覧いただけます。http://www.sharp.co.jp/d4/

※g　実際の駆動時間および充電時間は、使用環境により異なります。

※h　電気・電子機器の省エネルギー基準達成率の算出方法および表示方法(JIS C 9901)に基づく表示です。省エネルギー基準達成率が100%以上の場合は、100%以上200%未満＝A、200%以上500%未満＝AA、500%以上＝AAAで表示しています。

※i　省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

※1 Intel® Dynamic Video Memory Technology（DVMT）を使用しており、本製品の動作状況により、自動的にビデオメモリー容量が変化します。
※2 一部キーピッチが短くなっている部分があります。
※3 使用可能なフロッピーディスクドライブ、CD/DVDドライブは、動作確認が取れ次第サポートページにて順次ご案内します。http://d4support.sharp.co.jp/
※4 詳細は「**ワイヤレスLANの仕様**」を参照してください。
※5 使用可能な周辺機器は、動作確認が取れ次第サポートページにて順次ご案内します。
http://d4support.sharp.co.jp/
※6 W-SIMにより実現。付属のヘッドセットなどが必要です。内蔵スピーカーには通話音声は出力されません。Windows®ログオン中のみ利用できます。それ以外の状態（電源オフ時を除く）では着信履歴が残ります。バイブレーション機能はありません。
※7 メモリーカードはデータをやりとりする相手機器でフォーマットしたものをご使用ください。SDスピードクラスClass4以上には対応していません。著作権保護機能、高速転送機能には対応していません。Windows® ReadyBoost™には対応していません。
※8 詳細は「**ワンセグチューナーの仕様**」を参照してください。
※9 ホストモードにのみ対応。クライアントモードには対応していません。市販のUSB対応機器と接続するには、市販のUSB変換ケーブル（USB Aコネクター（メス）⇔ USB miniAコネクター（オス））が必要です。使用可能なUSB変換ケーブルは、動作確認が取れ次第サポートページにて順次ご案内します。
http://d4support.sharp.co.jp/
※10 別売のRGB/USBケーブルまたはクレードルとの接続に使用。RGB/USBケーブルおよびクレードルの詳細は、「**別売品一覧**」の「**RGB/USBケーブル**」および「**クレードル**」を参照してください。
※11 付属のRecovery Disk Creatorにより、リカバリDVDを一回限り作成できます。市販のDVD書き込み可能なドライブおよびDVD-R（1層）が必要です。

ワイヤレス LAN の仕様

日本国内仕様です。

準拠規格	IEEE802.11b/g
周波数帯域	2.4GHz帯
通信速度	規格値最大11Mbps（IEEE802.11b）、最大54Mbps（IEEE802.11g）
チャンネル	1〜13チャンネル
セキュリティ※	64/128bitWEP、WPA（TKIP/AES）、IEEE802.1X

※ 通常の手段を超える方法を取られた場合には第三者に通信内容を傍受される可能性があります。

ワンセグチューナーの仕様

受信チャンネル※1	ワンセグ 13～62ch （ステレオ／二重音声対応、データ放送／字幕放送表示対応）
録画機能※2	視聴中番組録画、予約録画、EPG予約録画
録画時間	約5.2時間／1GB（約416kbps※3）

※1　地上アナログ、地上デジタル、BS／CS放送は受信できません。
※2　編集機能はありません。
※3　転送レートは番組によって変動します。

ワンセグ放送のご利用にあたってのご注意

- ワンセグ放送とは、2006年4月1日から開始された、携帯機器向け地上デジタル放送サービスです。ワンセグ放送が受信可能な地域については、社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページでご確認ください。http://www.dpa.or.jp/
- 放送エリア内であっても、ビルの谷間や高速道路、新幹線の中など条件により受信できない場合があります。
- ワンセグ放送の映像は最大解像度が320×240、1秒間のフレーム数が15で放送されています。全画面モードなど拡大表示すると不鮮明な表示となります。また、受信状態や受信番組によっては滑らかに表示されないことがあります。
- 視聴、録画、再生には、Windows®を起動し、専用ソフトウェア「StationMobile5」をご利用ください。
- 視聴、録画、再生する際、本製品の使用状況や表示する内容によってはコマ落ちする場合があります。
- 本製品の画面を外部ディスプレイに同時表示しているときは、ワンセグ放送の映像は表示されません。
- データ放送、放送局サーバーによっては、インターネットに接続するかどうかの確認画面が表示されます。データ放送を見る（放送で情報を受信する）ときは、通信料はかかりません。ただし、データ放送サイトなど、インターネットを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。携帯電話専用のコンテンツは表示できません。
- 緊急警報放送による自動起動には対応していません。
- 音声は、内蔵スピーカーまたはイヤホンマイク端子からのみ出力されます。USBやBluetooth®で接続するスピーカー、ヘッドホンなどからは出力されません。
- PHS通話中は音声が出力されません。
- 内蔵HDDに録画されます。microSD™カードに直接録画することはできません。
- 電源を切った状態（シャットダウン）では、予約録画は実行されません。
- 録画した番組は録画した製品でのみ再生可能です。録画した番組は外付けハードディスクやmicroSD™カードなどにバックアップすることが可能です。バックアップした番組は、元の保存場所に戻すことで再生が可能です。
- 録画には高度な暗号化技術を使っているため、修理の際に故障内容によっては、修理前に録画した番組が再生できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

AC アダプター

形名	EA-UM1V
外形寸法（本体のみ） 幅×奥行×高さ（mm）	約96×約42×約28.7
質量（電源コード除く）	約172g

標準バッテリーパック

形名	CE-BL57
電池容量	7.4V／960mAh
外形寸法（突起部除く） 幅×奥行×高さ（mm）	約63.8×約70.7×約6.1
質量	約47g

ヘッドセット

プラグ形状	平型プラグ
コードの長さ	約1.65m
質量	約16g

別売品一覧

AC アダプター（EA-UM1V）

付属の AC アダプターと同じ仕様です。

標準バッテリーパック（CE-BL57）

付属の標準バッテリーパックと同じ仕様です。

大容量バッテリーパック（CE-BL58）

形名	CE-BL58
電池容量	7.4V／2880mAh
外形寸法（突起部、カバー除く） 幅×奥行×高さ（mm）	約154×約70.7×約14.8
質量（カバー除く）	約144g

クレードル（CE-CR04）

形名	CE-CR04
接続端子	外部ディスプレイ出力端子（アナログRGB、ミニD-sub15ピン）×1、 オーディオ出力端子（φ3.5mmステレオミニジャック）×1、 USB端子（USB2.0準拠）×4、 LAN端子（100BASE-TX/10BASE-T)×1、ACアダプター端子×1
充電時間※	標準バッテリーパック：約3時間、大容量バッテリーパック：約7時間
消費電力	最大約27W
外形寸法（突起部除く） 幅×奥行×高さ（mm）	約205.8×約136×約41
質量	約300g

※ 標準バッテリーパックまたは大容量バッテリーパック（別売）単体での充電時。
また、クレードルに本体を置くと、本体に装着されているバッテリーパックも充電できます。
本体とバッテリーパックの両方をクレードルに置いている場合、本体に装着されているバッテリーパックの充電完了後、クレードルに置いているバッテリーパックの充電を開始します。

RGB/USB ケーブル（CE-UD01）

形名	CE-UD01
接続端子(周辺機器側)	外部ディスプレイ出力端子（アナログRGB、ミニD-sub15ピン）×1、 USB端子（USB2.0準拠）×1
全長（mm）	約177（端子部：奥行約25.5×高さ約17）
質量	約35g

11章 万一に備えて

万一の盗難や紛失に備えて

個人情報の漏洩や悪用を防ぐため、この製品にセキュリティをかけることをお勧めします。

- 「**W-SIM をロックする**」(☞62 ページ)
- 「**リモートロックを利用する**」(☞64 ページ)
- 「**ブートセキュリティを利用する**」(☞66 ページ)

バックアップする

故障してデータが読み出せなくなるなど万一の場合に備えて、大切なデータは microSD カードや USB メモリーなどにコピーしてバックアップしておきましょう。大切なデータは、定期的にバックアップすることをお勧めします。

データをバックアップする方法については、『**活用編**』(PDF)の「**バックアップする**」の下記項目を参照してください。

- 「**microSD カードにデータを保存する**」
- 「**USB メモリーにデータを保存する**」

Windows のシステムの復元

Windows には、プログラムをインストールするなど、システム設定が変更されるときに、インストールする前のシステムの状態を自動的にバックアップしておく機能があります。周辺機器のドライバーやプログラムをインストールしてから、動作が不安定になったときは、インストールした日付を復元ポイントとしてシステムの復元を実行すると、正常に動作していた頃の状態にこの製品を戻すことができます。

ご注意

- システムの復元を実行すると、指定した日付（復元ポイント）以降にインストールしたプログラムなどは削除されます。必要に応じて再インストールしてください。
- システムの復元を実行しても、「ドキュメント」フォルダに保存されているファイルや、自分で作成したデータなどは削除されませんが、重要なデータはあらかじめバックアップをお取りください。
- 復元中はこの製品の操作をしたり、電源を切ったりしないでください。

1 起動しているプログラムがあれば終了する。

2 （スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「システムツール」－「システムの復元」の順にクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 ［続行］をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。

4 「推奨される復元」に表示されている復元ポイントを確認し、［次へ］をクリックする。

復元ポイントは、プログラムや周辺機器のドライバーをインストールしたときなどに、自動的に作成されています。

問題が発生した日が明確で、表示されている復元ポイント以外を指定したいときは、次のように操作します。

① 「別の復元ポイントを選択する」をクリックし、［次へ］をクリックします。
「復元ポイントを選択してください」と表示されます。

② 問題が発生した日より前の日時の復元ポイントをクリックし、［次へ］をクリックします。
「復元ポイントの確認」画面が表示されます。

5 復元ポイントを確認し、［完了］をクリックする。

確認画面が表示されます。

6 ［はい］をクリックする。

システムの復元が実行されます。
復元が終わると、自動的に再起動して「システムの復元は正常に完了しました」と表示されます。

7 ［閉じる］をクリックする。

リカバリ DVD の作成

この製品には、リカバリディスクは付属していません。
ハードディスクが故障したり、ハードディスクに保存されている再インストール用のデータが壊れたりしたときに備えて、リカバリ DVD を作成しておくことをお勧めします。作成したリカバリ DVD を使用した再インストール方法については「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」（☞117 ページ）を参照してください。

 ご参考

- リカバリ DVD を作成した後も、ハードディスクから再インストールできます。

必要なものを準備する

- クレードル（別売：CE-CR04）または RGB/USB ケーブル（別売：CE-UD01）
- CD/DVD ドライブ（市販品）
  使用可能な CD/DVD ドライブについては、下記のホームページを参照してください。
  http://d4support.sharp.co.jp/
- 新しい DVD-R（1 層）3 枚

  リカバリ DVD 作成には、推奨ディスクを使用してください。
  推奨ディスクについては、CD/DVD ドライブの説明書などを参照してください。
- ペン先が硬くない油性ペンなど

ソフトウェア使用許諾契約書を読む

リカバリ DVD を作成するには、「Recovery Disk Creator」を使用します。リカバリ DVD を作成する前に、「Recovery Disk Creator ソフトウェア使用許諾契約書」（☞ 次ページ）をよくお読みください。

リカバリ DVD 作成前の準備

リカバリ DVD 作成に失敗しないために次の準備をしてください。

- AC アダプターを接続する
- タスクバーの をクリックし、「高パフォーマンス」をクリックする
- 「電源オプション」の「プラン設定の編集」画面で「コンピュータをスリープ状態にする」を「なし」に設定する
- スクリーンセーバーを「なし」にする
- 関係のないソフトや、自動的に起動するソフトは終了する

Recovery Disk Creator ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアに含まれるプログラム（Recovery Disk Creator)、データおよびマニュアル（以下総称して「本製品」という）は、Enterprise Corporation International（以下「ECI」という）が権利を所有しており、下記の条項が遵守されることを条件に、お客様に対し非譲渡および非独占の、本製品の使用に関する権利を許諾します。本製品は、米国著作権法および国際著作権条約、無体財産権に関するその他の法律により保護されています。お客様には、この旨をご理解していただき、さらに下記の各条項の全てにご同意の上、ご使用していただきます。

使用目的：
本製品は、シャープ（株）が製造するコンピュータに添付され出荷されています。本製品は、本製品が添付されているコンピュータのハードディスクにプリインストールされているリカバリー用イメージファイルを、Bootable DVD として作成、保存するためにのみ使用するものとします。本製品は、本製品が添付されたコンピュータでのみ使用することができます。

次の条項を禁止します：
1. 本製品の全部または一部をインストール以外の方法で別の媒体に複製すること。
2. 本製品を 2 台以上のコンピュータにインストールし、本製品を使用可能とすること。
3. 本製品および複製の全部または一部を改変したり、第三者に譲渡、販売頒布（パソコン通信のネットワークを通じて通信により提供することを含む）すること。
4. 本製品に表示されている著作権その外権利者の表示を削除したり変更を加えること。
5. 本製品および複製の全部または一部をリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルすること。
6. 本製品および複製の全部または一部を判読可能な状態にすること。
7. 本製品および複製の全部または一部を本製品以外のプログラムから読み出して利用すること。
8. ネットワークを利用して複数ユーザーが使用すること。

本契約はお客様が本製品のパッケージを開封したときより効力を生じ、お客様が本製品およびその複製物すべてを使用不可能な状態で破棄されることにより終了します。またお客様が本契約の条項のいずれかに違反した場合は、ECI は本製品の使用を終了させることができます。

制限付き保証：
ECIは、本製品が付属するECIの資料に従ってほぼ動作することを保証します。ECIおよびシャープ(株)は他のすべての明示的、暗黙的な、いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

責任の制限：
ECI およびシャープ（株）は、本製品の使用または使用不可能な状態、その使用に起因する特別な、偶発的な、あるいは結果的な損害に責任を負いません。これには、業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の喪失、その他の金銭上の損失を含みますが、それらに限りません。これは ECI が当該損失の可能性の通知を受けている場合でもその限りではありません。いかなる保証および条件も行わないことを明言します。これには、本製品に関連した商用性の暗黙の保証、特定の目的に対する適合性、タイトル、違反がないことの保証を含みますが、それらに限りません。

リカバリ DVD を作成する

リカバリ DVD の作成には、クレードル（別売：CE-CR04）または RGB/USB ケーブル（別売：CE-UD01）と CD/DVD ドライブ（市販品）が必要です。

ご注意

- リカバリ DVD は一度しか作成できません。
- 市販のデータリカバリソフトをインストールしている場合、リカバリ DVD を作成する前に、必ず削除（アンインストール）してください。データリカバリソフトの中には、MBR（マスターブートレコード：ハードディスクの先頭にあり、パーティション情報などが書かれています）を書き換えるソフトウェアがあります。そのため、データリカバリソフトがインストールされている状態では、再インストールができなかったり、リカバリ DVD が作成できなかったりします。

1 **拡張端子にクレードルまたは RGB/USB ケーブルを接続する。**

- クレードルの接続について（☞106 ページ）
- RGB/USB ケーブルの接続について（☞109 ページ）

2 **CD/DVD ドライブを接続する。**

接続方法について詳しくは、CD/DVD ドライブの説明書を参照してください。

3 **新しい DVD-R（1 層）を CD/DVD ドライブにセットする。**

何か画面が表示されたときは、画面右上の [X] をクリックして画面を閉じてください。

4 **（スタート）をクリックし、「すべてのプログラム」－「プロダクトリカバリ DVD 作成」の順にクリックする。**

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

5 **［続行］をクリックする。**

「Recovery Disk Creator」が起動します。

6 **［リカバリディスクの作成］をクリックする。**

7 **確認画面で［OK］をクリックする。**

書き込みが始まります。

ご注意

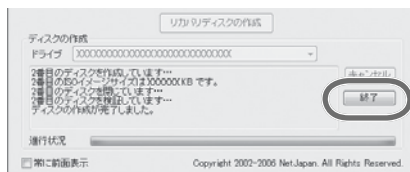
- ディスクへの書き込み中は、画面に進行状況が表示されます。次の操作案内が表示されるまで、何も操作しないでください。

8 **次の画面が表示されたら、新しいディスクと入れ替え、[OK] をクリックする。**

書き込みが完了したディスクから、ペン先が硬くない油性ペンなどで「リカバリディスク 1」、「リカバリディスク 2」、……とディスク番号を書いてください。

9 「ディスクの作成が完了しました」と表示されたら［OK］をクリックし、CD/DVD ドライブからディスクを取り出す。

取り出したディスクに、続きのディスク番号を書いてください。

［終了］をクリックする。

ご注意

- 作成したリカバリ DVD は、失わないよう大切に保管しておいてください。

11 確認画面で［はい］をクリックして「Recovery Disk Creator」画面を閉じる。

ご参考

- リカバリ DVD の作成を途中で中止しても、最初からやり直してリカバリ DVD を作成できます。

12章　故障かな？と思ったら

“故障かな？”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。
トラブルによっては、この製品の故障ではなく、Windows やソフトウェア、または周辺機器に関するトラブルの場合もあります。
修理をご依頼になる前に、ここに記載されている内容を A1 から順に参照して問題の解決方法がないか、もう一度よくお確かめください。
また、下記の説明書やヘルプも参照してください。

- 『**活用編**』（PDF）の「**故障かな？と思ったら**」
- サポートページ（http://d4support.sharp.co.jp/）
- （スタート）をクリックし、「ヘルプとサポート」をクリックして表示されるヘルプ画面
- お使いのソフトウェアや周辺機器の説明書、ヘルプ

■ それでも問題が解決しないときは

シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせてください。（☞3 ページ）

Windows 起動時（電源を入れたとき）のトラブル

Q 「MISSING OPERATING SYSTEM」、「Missing operating system」、「Error loading operating system」または「Hard disk boot sector invalid」と表示される

A① ハードディスク全体を再インストールし直してください

再インストールを中断または失敗したとき、およびハードディスクのデータを消去したときに表示されるメッセージです。電源ボタンを押して電源を切り、再インストールし直してください。

電源を入れたあと、画面の左上に「Press F4 to Recover」と表示されるときは、ハードディスクから再インストールすることができます。再インストール手順については、「**再インストール（ご購入時の状態に戻す）**」（☞117 ページ）を参照してください。

Q 電源が入らない

A① バッテリーパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください

いったん AC アダプターとバッテリーパックを取り外し、その後 10 秒以上の間隔を置いて AC アダプターとバッテリーパックを取り付けて、電源を入れ直してください。

A② キーロックスイッチのロックが解除されていることを確認してください（☞26 ページ）

Q 「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults, F2 to enter SCU」と表示される

A① セットアップユーティリティを再設定してください

セットアップユーティリティの設定が消えています。以下の手順に従って操作してください。

1. 「Press F1 to Continue, Del to Load CMOS defaults, F2 to enter SCU」と表示されているときに、【Fn】＋【BkSp】キーを押す。

   Windowsが起動します。

2. 日付と時刻を設定する。

3. セットアップユーティリティの内容を必要に応じて設定し直す。

   ご購入時の状態でお使いのときは、特に設定する必要はありません。セットアップユーティリティの設定方法については、「**セットアップユーティリティ**」（☞127ページ）を参照してください。

上記の操作をしても、繰り返しこのメッセージが表示されるときは、「**アフターサービスについて**」（☞169ページ）を参照して、点検をご依頼ください。

Q 「☆☆☆☆☆☆☆☆」と表示される

A① リモートロック（☞64 ページ）によりロックがかかっているか、ブートセキュリティ（☞66 ページ）によりロックがかかっています

Q Windows 起動時の音が途切れる

A① 故障ではありませんので、動作に影響はありません

画面表示に関するトラブル

Q 画面が表示されない

A① キーロックをかけているときは解除し、何らかのキーを押して省電力機能が働いていないか確認してください

A② 電源が入っているか確認してください

A③ バッテリーパックが正しくセットされ、充電されているか確認してください

A④ 【Fn】＋【G】（ ）キーを数回押し、表示先が外部ディスプレイになっていないか確認してください

A⑤ 【Fn】＋【L】（ ）キーを押し、ディスプレイがオフになっていないか確認してください

上記すべての操作をしてもだめなときは、「**キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない**」（☞ 次ページ）の操作をしてください。

Q 画面のボタンが表示されない／画面の下部が表示されない

A① 画面回転ボタン（ ）を押してください（☞28 ページ）

Q 画面が暗い

A① 【Fn】＋【J】（▲☼）キーを押して画面の明るさを確認してください

Q データが正常に表示されない／ボタンやキーが働かない

A① リモートロックが設定されていないか確認してください

リモートロック中は、電源入／切以外の操作は制限されます。
リモートロックを解除してください。（☞65ページ）

Q サイドバーから D4 Status Monitor が消えてしまった

A① ガジェットギャラリーから追加します

1. サイドバー上部にある [+|◀▶] の＋マークをクリックする。
   ガジェットギャラリーが表示されます。
2. D4 Status Monitorをサイドバーにドラッグアンドドロップする。

キーボード・タッチパッドに関するトラブル

Q キーボードやタッチパッドからの入力操作を受け付けない

A① キーロックスイッチのロックが解除されていることを確認してください**（☞26ページ）**

A② 動かなくなったソフトウェアを強制終了してください

1. 【Ctrl】＋【Alt】＋【Fn】＋【BkSp】キーを押す。
2. 「タスクマネージャの起動」をクリックする。
3. タスク欄から動かなくなったソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックする。
   問題が発生していると、そのソフトウェアの状態欄には「応答なし」と表示されていることがあります。

強制的に電源を切ります

ランプが点灯していないことを確認したうえで、電源ボタンを4秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。ランプが消灯したことを確認し、その後10秒以上間隔を置いて再度電源を入れてください。
上記の操作で電源が切れない場合は、ACアダプターとバッテリーパックを取り外して電源を切り、その後10秒以上の間隔を置いてACアダプターとバッテリーパックを取り付け、電源を入れてください。

ネットワーク接続に関するトラブル

Q PHS通信機能でインターネットに接続できない

A① オンラインサインアップの設定を確認してください

詳しくは、『**はじめにお読みください**』（別冊）を参照してください。

A② プロバイダー情報を正しく入力してください

ユーザーIDやパスワードの情報は、大文字・小文字・全角・半角が区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
また、数字の「0」（ゼロ）と英語の「O」（オー）、数字の「1」と英語の「I」（アイ）や「l」（エル）などの区別も確認してください。

A③ 電波状態を確認してください

詳しくは、「**電話をかけられない**」（☞158ページ）の**A2**を参照してください。

A④ 通話や通信機能が制限されていないか確認してください

詳しくは、「**セキュリティなど電話の設定をする**」（☞61ページ）を参照してください。

A⑤ W-SIMカードが正しく装着されているか確認してください

詳しくは、「**電話をかけられない**」（☞158ページ）の**A5**を参照してください。

A⑥ W-SIMユーザーでログオンしているか確認してください

非W-SIMユーザーのアカウントでログオンしていると、PHS通信機能ではインターネットに接続できません。W-SIMユーザーでログオンし直してください。

A⑦ W-SIMがロックされていないか確認してください

詳しくは、「**W-SIMをロックする**」（☞62ページ）を参照してください。

A⑧ W-SIMがオフに設定されていないか確認してください

詳しくは、「**W-SIM（PHS）のオン／オフを設定する**」（☞67ページ）を参照してください。

Q ワイヤレス LAN でインターネットに接続できない

まずは何が原因かを確かめましょう

トラブルの原因によって、対処のしかたが異なります。まず、図に従って、接続できない原因を確認してください。図では主な原因と対処法（参照先）を示しています。

スタート

この製品の設定を調べる

(ワイヤレスランプ) ランプは？

点灯していない

A2 【Fn】+【英数】キーを押す〈(ワイヤレスランプ) ランプ点灯〉

点灯している

タスクバーのネットワークアイコンをクリックし、『ネットワークに接続』をクリック

接続するネットワーク名は？

表示されている

表示されていない

わからない

再確認

お使いのアクセスポイントの設定を調べる

セキュリティ設定は？

わからない →「設定内容がわからないときは」へ

設定なし

設定あり

ステルス機能は？

わからない

設定なし → A3
- アクセスポイントの電源を入れる
- ケーブル類を接続し直す

設定あり → A5 ネットワークを手動で設定

この製品で設定する

ネットワーク名をクリックして［接続］をクリック

アクセスポイントのネットワーク名をクリックして［接続］をクリック

画面の指示にしたがって設定

A4 アクセスポイントに設定したネットワークキー（セキュリティーキー）を入力

設定内容がわからないときは
- すでに接続できているパソコンからアクセスポイントの設定内容を調べる
- アクセスポイントのメーカーに調べ方を問い合わせる
- アクセスポイントを設定してもらった販売店やプロバイダーに問い合わせる

この対処法で解決しないときは、A6 ～ A11 をお試しください。

(ワイヤレスランプ) ランプが点灯しているか確認してください

(ワイヤレスランプ) ランプが消えているときは、ワイヤレス LAN 無線出力が無効になっています。無線出力を有効にするには、**【Fn】**＋**【英数】**キーを押します。ワイヤレス LAN の無線出力が有効になると、(ワイヤレスランプ) ランプが点灯します。

(ワイヤレスランプ) ランプが点灯しない場合は、ワイヤレス LAN デバイス「Marvell sd8686 Wireless LAN SDIO Adaptor」がハードウェアの安全な取り外し操作により取り外されている可能性があります。その場合は、再起動してください。

アクセスポイントとブロードバンドモデムが正しく接続され、それぞれの機器に電源が入っているか確認してください

インターネットに接続するには、アクセスポイントやブロードバンドモデムといった機器が必要です。この製品でインターネット接続の設定をする前に、必要な機器の接続と設定ができているか確認してください。
また、それぞれの機器のランプで、機器に電源が入って正しく動作していることを確認してください。

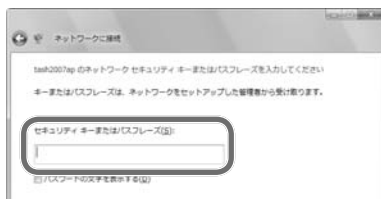
ご参考

- ワイヤレス LAN でインターネットに接続するには次の機器が必要です。

機　器	使うための接続・設定
アクセスポイント ワイヤレス LAN アクセスポイント ワイヤレスブロードバンドルーター	ブロードバンドモデム（下記）との接続・設定 セキュリティ関連の設定※ 1
ブロードバンドモデム ADSL モデム ケーブルモデムなど	各機器との接続・設定※ 2

※ 1　アクセスポイントの説明書を参照してください。
※ 2　接続するインターネット回線やプロバイダーによって使用する機器は異なります。プロバイダーの資料を参照して接続設定をします。

ネットワークキーを正しく入力してください

「ネットワークに接続」画面の「セキュリティキーまたはパスフレーズ」入力欄にネットワークキーが正しく入力されないと再入力を促すメッセージが表示され、ネットワークに接続できません。
「セキュリティキーまたはパスフレーズ」入力欄には、アクセスポイントに設定したネットワークキーと同じものを入力します。

A⑤ ネットワーク一覧にネットワーク名が表示されていない場合は、ネットワークを手動で設定してください

ネットワーク一覧にお使いのアクセスポイントの SSID（ネットワーク名）が表示されていないときは、アクセスポイントのステルス機能（SSID を外部から見えないように隠す機能）が有効になっている可能性があります。
ステルス機能が有効になっているアクセスポイントに接続する場合は、ワイヤレスネットワークを手動で設定してください。（「**SSID（ネットワーク名）を通知しないアクセスポイントに接続する**」☞48 ページ）

この製品を再起動してください

この製品を再起動することで接続できるようになる場合もあります。

A⑦ アクセスポイントのチャンネル設定を確認してください

この製品のワイヤレス LAN で使用できるチャンネルは、1 ～ 13 チャンネルです。
アクセスポイントのチャンネル設定が 14 チャンネルになっている場合は接続できません。
アクセスポイントのチャンネルを 1 ～ 13 の間に設定し直してください。設定方法については、アクセスポイントの説明書を参照してください。

アクセスポイントに MAC アドレスフィルタリングが設定されていないか確認してください

同じアクセスポイントにつながっている他のパソコンがインターネットに接続できているときは、アクセスポイントに MAC アドレスが登録されていないか確認してください。
アクセスポイントに MAC アドレスが登録されていると、登録した機器以外はアクセスポイントに接続できません。(MAC アドレスフィルタリング機能)
MAC アドレスフィルタリング機能が働いている場合は、この製品の MAC アドレスも他のパソコン同様、アクセスポイントに登録する必要があります。

この製品の MAC アドレスを確認するには

① (スタート)をクリックし、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックする。
②「ipconfig/all」と入力し、【 ⏎ 】キーを押す。
ワイヤレスネットワーク接続欄の「物理アドレス」の行に表示されている番号が MAC アドレスです。
③「exit」と入力し、【 ⏎ 】キーを押す。

A⑨ お使いのアクセスポイントが Windows Vista に対応しているか確認してください

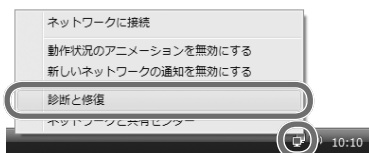
この製品には、Windows Vista が搭載されています。
アクセスポイントのメーカーのホームページなどで、お使いのアクセスポイントが Windows Vista 搭載の製品でも使えるかどうか、また Windows Vista に対応したドライバーなどが提供されていないか確認してください。

A⑩ お使いのアクセスポイントが IEEE 802.11b または IEEE 802.11g 規格に準拠しているか確認してください

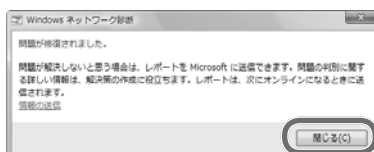
IEEE 802.11a 規格のアクセスポイントとは通信できません。

A⑪ ネットワーク接続の「診断と修復」で問題を修復します

1 タスクバーの アイコンを右クリックし、「診断と修復」をクリックする。

ネットワークの診断が開始され、結果が「Windows ネットワーク診断」画面に表示されます。

2 表示された診断結果のメッセージを確認し、画面の指示に従って操作する。

画面には、接続トラブルの原因や解決方法、ヒントなどが表示されます。

3 接続後、「Windows ネットワーク診断」画面に「問題が修復されました」と表示されたときは、[閉じる]をクリックする。

Bluetooth を無効にしてください
Bluetooth を無効にすることで接続できるようになる場合があります。(☞115 ページ)

電話に関するトラブル

電話をかけられない

A① 市外局番からダイヤルしてください
一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。

A② 電波状態を確認してください
D4 Status Monitor(☞39 ページ)で電波状態を確認してください。受信電波が弱かったり圏外になっているときは、受信電波の強くなる場所に移動してください。また、パワーサーチ(☞55 ページ)を実行してみてください。

A③ インターネットに接続中ではありませんか
PHS 通信機能でインターネットに接続しているときは、電話をかけられません。接続を切ってください。

A④ 通話や通信機能が制限されていないか確認してください
詳しくは、「**セキュリティなど電話の設定をする**」(☞61 ページ)を参照してください。

A⑤ W-SIM カードが正しく装着されているか確認してください
W-SIM カードを一度取り外して、再度取り付けてみてください。
詳しくは、「**W-SIM の取り付け/取り外し**」(☞110 ページ)を参照してください。

A⑥ W-SIM ユーザーでログオンしているか確認してください
非 W-SIM ユーザーのアカウントでログオンしていると、電話をかけられません。W-SIM ユーザーでログオンし直してください。

A⑦ W-SIM がロックされていないか確認してください
詳しくは、「**W-SIM をロックする**」(☞62 ページ)を参照してください。

A⑧ W-SIM がオフに設定されていないか確認してください
詳しくは、「**W-SIM (PHS) のオン/オフを設定する**」(☞67 ページ)を参照してください。

着信音が鳴らない

A① 着信音の音量を確認してください
操作方法については、『**活用編**』(PDF)の「**電話**」-「**電話の各種設定をする**」-「**着信音の音量を調整する**」を参照してください。

A② マナーモードになっていないか確認してください

操作方法については、『**活用編**』（PDF）の「**電話**」－「**電話の各種設定をする**」－「**マナーモードを設定する**」を参照してください。

A③ 著作権保護された音楽ファイルを着信メロディに設定していると、受信音は鳴りません

Q 電話がかかってこない

A① 電波状態を確認してください

詳しくは、「**電話をかけられない**」（☞ 前ページ）の **A2** を参照してください。

A② 着信拒否の設定をしていませんか

解除方法については、『**活用編**』（PDF）の「**電話**」－「**電話の各種設定をする**」－「**着信制限をする**」を参照してください。

A③ インターネットに接続中ではありませんか

PHS 通信機能でインターネットに接続しているときは、電話を受けられません。接続を切ってください。

A④ 着信転送サービスを利用していませんか

詳しくは、「**ウィルコムのサービスを利用する**」（☞68 ページ）を参照してください。

A⑤ W-SIM ユーザーでログオンしているか確認してください

非 W-SIM ユーザーのアカウントでログオンしていると、電話を受けられません。W-SIM ユーザーでログオンし直してください。

A⑥ スリープまたは休止状態になっていないか確認してください

スリープまたは休止状態では、電話の応答はできません。

Q 通話中、相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る

A① 電波状態を確認してください

詳しくは、「**電話をかけられない**」（☞ 前ページ）の **A2** を参照してください。

A② パワーサーチを実行してください

詳しくは、「**パワーサーチで電波の強い基地局を探す**」（☞55 ページ）を参照してください。

A③ 周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか

見通しのよい場所に移動してください。

A④ 受話音量を調節してください

確認方法については、『**活用編**』（PDF）の「**電話**」－「**電話の各種設定をする**」－「**相手の声の大きさ（受話音量）を調整する**」を参照してください。

メールに関するトラブル

Q メールを受信できない

A① 再度オンラインサインアップをしてください

必要な情報を再設定できます。(☞74 ページ)

(☞74 ページ)

A② 「Windows メール」の設定を確認してください

プロバイダーから送られてきた設定案内を参照して、以下の設定を確認してください。

・ユーザー名
・パスワード
・送受信メールサーバーのアドレス

1 「Windows メール」を起動後、メニューバーの「ツール」をクリックし、「アカウント」をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

2 確認したいアカウントをクリックし、[プロパティ] をクリックする。

3 「サーバー」タブをクリックし、プロバイダーから送られてきた設定案内を参照して、メールサーバーやユーザー名、パスワードなどが正しく入力されているか確認し、間違っている場合は修正する。

4 [OK] をクリックしてプロパティ画面を閉じる。

5 [閉じる] をクリックして「インターネットアカウント」画面を閉じる。

A③ プロバイダーのメールサーバーの状態によって、一時的にメールを送受信できないことがあります

メールサーバーの障害や保守点検のため、メールを一時的に送受信できないことがあります。時間をおいて接続してみてください。
メールサーバーの障害やメンテナンスの情報は、プロバイダーのホームページで確認できます。詳しくは、プロバイダーの資料を参照してください。

A④ サーバーのタイムアウト時間を長くしてください

ダイヤルアップ接続でメールを送受信する場合は、インターネットに接続されるまでにメールソフト側のタイムアウト設定が働き、「受信（POP）サーバーからの応答を待機中に操作がタイムアウトになりました」のようなエラーメッセージが表示されることがあります。このような場合は、お使いのメールソフトで、サーバーのタイムアウトの時間設定を2分以上に変更してください。

A⑤ W-SIM ユーザーでログオンしているか確認してください

非 W-SIM ユーザーのアカウントでログオンしていると、ウィルコムのアカウントのメールを受信できません。W-SIM ユーザーでログオンし直してください。

A⑥ **通話／通信が制限されていないか確認してください**

詳しくは、「**セキュリティなど電話の設定をする**」（☞61 ページ）を参照してください。

A⑦ **W-SIM がロックされていないか確認してください**

詳しくは、「**W-SIM をロックする**」（☞62 ページ）を参照してください。

A⑧ **W-SIM がオフに設定されていないか確認してください**

詳しくは、「**W-SIM（PHS）のオン／オフを設定する**」（☞67 ページ）を参照してください。

Q メールを送信できない

A① **「Windows メール」の設定を確認してください**

詳しくは、「**メールを受信できない**」の **A1** と **A2** を参照してください。

A② **プロバイダーのメールサーバーの状態によって、一時的にメールを送受信できないことがあります**

メールサーバーの障害や保守点検のため、メールを一時的に送受信できないことがあります。時間をおいて接続してみてください。
メールサーバーの障害やメンテナンスの情報は、プロバイダーのホームページで確認できます。詳しくは、プロバイダーの資料を参照してください。

A③ **メールを送信する前に、メールを受信する操作を行わなければならないプロバイダーもあります**

プロバイダーや無料メールサービスによっては、メールの悪用を防ぐため、メールを送信する前にメールを受信しなければならない場合があります。
送信したいメールを書き終わったら、一度メールを受信してからメールを送信するようにしてください。

A④ **通話／通信が制限されていないか確認してください**

詳しくは、「**セキュリティなど電話の設定をする**」（☞61 ページ）を参照してください。

A⑤ **W-SIM がロックされていないか確認してください**

詳しくは、「**W-SIM をロックする**」（☞62 ページ）を参照してください。

A⑥ **W-SIM がオフに設定されていないか確認してください**

詳しくは、「**W-SIM（PHS）のオン／オフを設定する**」（☞67 ページ）を参照してください。

ワンセグ放送に関するトラブル

Q ワンセグ放送が映らない

A① お使いの地域でワンセグ放送が受信できるかどうか確認してください

お使いの地域でワンセグ放送が受信できるかどうかは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページでご確認ください。

（社）デジタル放送推進協会（Dpa）ホームページ
http://www.dpa.or.jp/

A② 受信状況の良い場所に移動してください

ワンセグ放送は、受信可能なエリア内であっても、地形や建物、壁などの遮へい物によって電波がさえぎられる場所や電波の弱い場所、トンネルや地下、建物の中など電波の届きにくい場所では、受信できないことがあります。
受信状況の良い場所へ移動するなどして、ワンセグ放送を視聴してください。

A③ 移動などでチャンネルの再設定が必要な場合があります

移動などで、受信するワンセグの放送エリアが変わった場合は、受信するチャンネルも変わります。このような場合は、再度チャンネルスキャンをして、チャンネルを再設定してください。

A④ 外部ディスプレイと内蔵ディスプレイに同時に表示している場合、映像は表示されません

Q ワンセグ放送の音声が出ない

A① Bluetooth 対応ヘッドホンや USB 接続のスピーカーから音声を出力している場合は、ワンセグ放送の音声が出ません

A② 電話中は、ワンセグ放送の音声が出ません

A③ Windows や「StationMobile5」の音量が､最小またはミュート（消音）になっていないか確認してください

A④ マナーモードになっていないか確認してください

操作方法については、『**活用編**』（PDF）の「**電話**」－「**電話の各種設定をする**」－「**マナーモードを設定する**」を参照してください。

周辺機器に関するトラブル

Q microSD カードを認識しない

A① 正しく挿入されているか確認してください

奥まで差し込まれているか、差し込み方向に誤りがないかなどを確認してください。
microSD カードスロットの位置、microSD カードの差し込み方法などについては、27 ページを参照してください。

A② この製品で使用可能な microSD カードか確認してください

詳しくは、「**仕様一覧**」（☞138 ページ）を参照してください。

A③ 「電話設定」の「リモートロック」で microSD カードを使用できないように設定していないか確認してください（☞64 ページ）

その他のトラブル

Q スタイラスペンでタップした位置が画面の位置とずれている

A① タッチスクリーンを補正してください

タッチスクリーンの補正方法について詳しくは、「**タッチスクリーンの補正**」（☞31 ページ）を参照してください。

A② タッチパッドに触れないようにしてください

タッチパッドに指や手が触れていると、スタイラスペンでタップしたときに位置がずれることがあります。

A③ セーフモードでは、タッチスクリーンの調整機能が無効になっています。そのため、タップの位置が画面の位置とずれますので、セーフモードでの操作はタッチパッドとクリックボタンで行ってください（☞26 ～ 27 ページ）

電源が切れない

動かなくなったソフトウェアを強制終了してください

1 【Ctrl】+【Alt】+【Fn】+【BkSp】キーを押す。

2 「タスクマネージャの起動」をクリックする。

3 タスク欄から動かなくなったソフトウェアを選択し、[タスクの終了] をクリックする。
問題が発生していると、そのソフトウェアの状態欄には「応答なし」と表示されていることがあります。

A② 強制的に電源を切ります

ランプが点灯していないことを確認したうえで、電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的に電源を切ります。 ランプが消灯したことを確認し、その後 10 秒以上間隔を置いて再度電源を入れてください。
上記の操作で電源が切れない場合は、AC アダプターとバッテリーパックを取り外して電源を切り、その後 10 秒以上の間隔を置いて AC アダプターとバッテリーパックを取り付け、電源を入れてください。

バッテリーパックが認識されない／充電できない

バッテリーパックが正しく装着されているか確認してください

ランプを確認してください

長時間充電をしていない状態（過放電状態）で使用したときに、Windows 上でバッテリーパックが認識されない場合があります。そのときは、 ランプがオレンジ色に点灯していることを確認してください。AC アダプターを接続した状態で約 30 分経過後にオレンジ色の点灯が続く場合は正常に充電されています。 ランプがオレンジ色で点滅を開始したときは「シャットダウン」で電源を切り、AC アダプターを取り外し、再度 AC アダプターを接続してバッテリーパックを充電してください。オレンジ色の点滅が続くときは、バッテリーパックの寿命、劣化、故障またはこの製品の故障が考えられます。点検を依頼してください。

A③ 故障ではありませんので、動作に影響はありません

充電しながらこの製品を使用中、CPU が多くの処理をしているときや周辺機器を使ったために電力消費が大きくなった場合に、 ランプが消えることがありますが、故障ではありません。また、充電中にバッテリーパックの温度が上がり過ぎた場合にも、安全のため充電が一時中止され、 ランプが消えます。バッテリーパックの温度が下がると充電が再開されます。

Q バッテリーパックの消耗がとても早い

A① 使用していないプログラムを終了してください

A② 【Fn】＋【H】（▼☼）キーを押して画面の明るさを下げてください

A③ 使用していないときは、スリープまたは休止状態にしてください

A④ ワイヤレス LAN のワイヤレス出力がオン（有効）になっているときはオフ（無効）にしてください

【Fn】＋【**英数**】キーを押して ((T)) ランプを消します。

A⑤ Bluetooth がオン（有効）になっているときはオフ（無効）にしてください

【Fn】＋【S】キーを押してタスクバーの をグレー（無効）にします。

A⑥ 初期化しても使用時間が短いときはバッテリーパックが劣化しています

詳しくは「**バッテリーパックの初期化と交換**」（☞101 ページ）を参照してください。

A⑦ 電話／メール着信時の画面の点灯をオフにしてください

詳しくは『**活用編**』（PDF）の「**電話**」－「**電話の各種設定をする**」を参照してください。

12

故障かな？と思ったら

さくいん

■ 記号・アルファベット

■ ア行

■ カ行

■ サ行

■ タ行

■ ナ行

■ ハ行

■ マ行

■ ヤ行

■ ラ行

■ ワ

リサイクルについて

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要になりました電話機端末（この製品）や電池（バッテリーパックを含む）・充電器を回収し、リサイクルを行っています。
ウィルコムプラザ、または右記マークのあるお店へご持参ください。

ご注意

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

消耗品と有寿命部品について

この製品には、消耗品と有寿命部品が含まれています。ご使用環境や使用時間の経過等により、劣化／磨耗が進行し、部品の交換が必要となります。

		主な部品一覧
消耗品	使用頻度や使用環境により消耗の進行は異なります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。	バッテリーパックなど
有寿命部品	使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品です。ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要になる場合があります。	キーボード、タッチパッド、ハードディスクドライブ、バックライト、AC アダプター、ファン、コネクタ／ケーブル類

※部品によっては、ユニット単位の交換になる場合があります。

アフターサービスについて

保証について

①この製品には保証書が付いています。

- 保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

②保証期間は、お買いあげの日から 1 年間です。

- 保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③保証期間後の修理は…

- 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後 5 年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

① 「**故障かな？と思ったら**」(☞150 ページ) をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

② それでも異常があるときは使用をやめて、次ページのシャープドキュメントシステム株式会社、またはウィルコムサービスセンターにお申し付けください。ご自分での修理はしないでください。

③ 故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。
修理に出すときは、付属の「修理診断シート」に必要事項を記入したものを一緒にお渡しください。

- **ハードディスクの初期化**

修理のときにハードディスクを初期化することがあります。ハードディスクを初期化すると、ハードディスク内のプログラムやデータ（お客様が作成したファイル、インターネットの設定、お客様が追加したソフトウェアや「Windows アドレス帳」のデータなど）が消去され、ご購入時の状態（工場出荷時）に戻ります。修理の前にプログラムやデータは、お客様にて別の媒体にバックアップしてください。
また、「Windows アドレス帳」のデータもバックアップすることをお勧めします。
「Windows アドレス帳」のバックアップについては「**「Windows アドレス帳」をバックアップする**」(☞70 ページ) を参照してください。

- **パスワード**

修理に出す前にパスワードを解除してください。パスワードが設定されていると、修理できません。
パスワードを設定されている場合は、パスワードをご記入ください。
ユーザーアカウントを設定している場合は、ユーザーアカウントもご記入ください。修理完了後は、パスワードの変更をお勧めします。

ハードディスク上のデータについて

1. 修理の際に当社にて交換したハードディスクについては、第三者が不当に触れることのないように厳重に管理し、保管・処分を行います。その目的のため、当社は事業協力会社に作業を委託する場合がありますが、厳重な管理を遵守させます。
2. 症状等の確認のために、修理作業に必要な範囲でハードディスク内のファイルを開いたりプログラムを実行することがありますが、あらかじめご了承ください。
3. 修理品の返却時に、スタートメニューの中の「最近使った項目」の中から項目（ショートカット）を削除させていただく場合がありますが、あらかじめご了承ください。ただし、ファイルやプログラムの実体を削除・複製することはありません。

修理に関するお問い合わせ先

- シャープドキュメントシステム株式会社
  大阪フィールドサポートセンター
  住所　　　　　：大阪市平野区加美南３丁目７番19号
  ナビダイヤル.....**0570-081010**
  受付時間 ....月曜～金曜（9:00 ～ 17:40）
  ※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
  ※IP電話･PHSからはご利用いただけません。06-6794-9708へおかけください。

- ウィルコムサービスセンター
  この製品やウィルコムの電話から............(局番なしの）116
  一般加入電話・携帯電話から....................**0120-921-156**
  受付時間　9：00 ～ 19：00（日・祝日を除く）